Kodak Alaris

Kodak S5000シリーズスキャナー

KODAK S5160スキャナー　KODAK S5180スキャナー　KODAK S5210スキャナー

ユーザーズガイド



Confidential

サードパーティーライセンス

本ソフトウェアは、Independent JPEG Group Copyright (C)2009-2013 D. R. Commander の著作物の一部に基づいています。All Rights Reserved.

ソースおよびバイナリ形式での再配布および使用は、変更の有無にかかわらず、次の条件を満たす場合に許可されます。

- ソースコードの再配布時に、上記の著作権表示、この条件リスト、次の免責事項を使用すること。
- バイナリ形式での再配布時に、配布物とともに提供されるマニュアルおよび/または他の資料に、上記の著作権表示、この条件リスト、次の免責事項をそのまま記載すること。
- 事前に書面によって特別な許可を得ない限り、本ソフトウェアから生成される製品を宣伝または販促するために、libjpeg-turbo プロジェクトまたはその提供元の名前を使用しないこと。

本ソフトウェアは、著作権保持者および提供元によって「現状有姿」の形で提供されており、明示的または黙示的なあらゆる保証（商品性および特定目的への適合性についての黙示保証を含みますが、これに限定されません）を放棄します。いかなる場合でも、著作権保持者または提供元は、本ソフトウェアの使用によって発生する直接的、間接的、偶発的、特別、懲罰的、または結果的な損害（代替商品またはサービスの入手、使用機会、データ、収益の損失、業務の中断を含みますが、これらに限りません）について、当該損害の可能性に関する助言を受けていた場合でも、その原因にかかわらず、また契約、厳重責任、または不当行為（過失またはその他を含む）のいかなる責任に基づく場合も、一切責任を負わないものとします。

目次

安全性について vii

ユーザーへの注意事項 vii

電池に関する情報 viii

警告ラベル ix

騒音 ix

プライバシー Cookie の開示 ix

1 概要 1

補足資料 2

アクセサリ 2

同梱品一覧 3

スキャナーのコンポーネント 4

前部： すべてのモデル 4

前面部：S5210 スキャナー 7

前部プリンタアクセス部： すべてのモデル 8

後部プリンタアクセス部 8

内部： すべてのモデル 9

後部：S5160/S5180 スキャナー 11

後部：S5210 スキャナー 12

2 インストール 13

スキャナーのイ ンストール 13

Kodak ドライバソフトウェアのインストール 13

出力トレイの取り付け：S5000 スキャナー 14

電源コードと USB ケーブルの接続：S5160/S5180 スキャナー 14

電源コードと USB ケーブルの接続：S5210 スキャナー 15

スキャナーの電源をオンにする 16

セットアップウィザードを実行 17

電源モード 23

3 スキャン中 24
スキャナーの準備 24
入力エレベータの調整 24
出力トレイの調整 26
ダングラーエクステンションの交換 28
ショートドキュメント用アダプタの取り付け 29
スキャナーの高さ調節（S5210 スキャナーのみ） 29
後部排紙口の使用 30
後部排紙トレイア クセサリの取り付け 31
原稿の準備 33
原稿のスキャン 34
スキャンの停止と再開 35
オペレータコントロールパネルのタッチスクリーンの使用 36
[準備完了] 画面 36
搬送路のクリア 38
エレベータを下げる 38
バッチカウンタ 38
スキャンアプリケーションでインデクシングが有効な場合の [準備完了] 画面 39
重送原稿の確認 40
原稿詰まりの対処方法 42
[設定]画面 42
情報 44
メンテナンス 45
メンテナンスメーターの表示 45
ネットワーク 47
診断 47
オペレータログの表示 47
スキャン履歴の表示 48
印字テストの実行 48
カウントのみ 50
カウントのみ - ソートオプション 50
カウントのみ - 簡易ソート 51

カウントのみ - パッチソート 52
カウントのみ - 重送 52
パッチテストの実行 53
パッチリーダテストの実行 54
変更 55
言語 55
電源 56
EasySetup 56
FADGI 57
自動エレベータ 57
プリンタ 57
ユーザカウンタ 58
アラーム音量の変更 58
音声の選択 59
優先処理 60
アプリケーションの優先処理 61
印字 63
最長サイズ検知 63
ミスフィード検出 64
ホチキス/金属防護 64
自動的にスキャンを開始 65
排紙方法 65
スキャン方法 66
スキャン後に回転 66
速度 67
後部排紙口 68
パスワードを変更 69
すべての設定をリセット 69

4 印字 71
プリンタの仕様 73

インクカートリッジの取り付け/交換 ... 74
前部プリンタへのアクセス ... 74
後部プリンタへのアクセス (S5210) ... 75
後部プリンタへのアクセス (S5160/S5180) ... 75
インク カートリッジの取り付け ... 76
印字位置の変更 ... 77
インクブロッタストリップの取り付け/交換（前部プリンタのみ） ... 78

5 FADGI スキャン ... 81

6 ソートとスタッキング ... 82
出力トレイの調整 ... 82
後部排紙トレイのサイドガイドの調整 ... 83
後部排紙トレイの取り外し ... 83
ダングラーの使用方法 ... 84

7 パッチ読み込み ... 85
パッチページとは ... 85
パッチページの読み込み場所 ... 86
パッチコード要件 ... 88
カラー切替パッチ ... 89
パッチ パターンの詳細 ... 89
バーパターンの詳細 ... 92
パッチの位置決定 ... 95
用紙の詳細 ... 96

8 メンテナンス ... 98
クリーニング 頻度チャート ... 98
クリーニング用品 ... 99
スキャナーカバ ーの開け方 ... 99
清掃手順 ... 101
出力トレイと入力エ レベータの掃除 ... 102
ローラの清掃 ... 102
セパレーション ローラタイヤの清掃 ... 103

フィードモジュー ルタイヤの清掃 104
切替式ホワイトバックグラウンドストリップの清掃方法 104
イメージングガイドの清掃 105
原稿検出センサーの清掃 105
搬送路クリーニングシートによる清掃 106
清掃の最終手順 106
交換手順 106
フィードモジュール、フィードモジュールタイヤの交換手順 107
セパレーションローラ、セパレーションローラタイヤの交換手順 111
プリセパレーションパッドの交換手順 112
イメージングガイドの交換手順 113
切替式ホワイトバックグラウンドストリップの交換方法 113

9 トラブルシューティング 115
問題を自身で解決する 115
ソフトウェアのアップグレード 115
サービスセンターへの問い合わせ 116

付録 A 規制に関する情報 117
注 117
環境に関する情報 117
欧州連合（EU） 117
EMC 声明 - Kodak S5210 スキャナー 122

付録 B 保証 - 米国、カナダ限定 124
KODAK スキャナーの限定保証 124
保証の除外 124
設置に関する警告と免責事項 125
限定保証によるサービスを受けるには 125
梱包と輸送のガイドライン 125
返送の手順 125
お客様の責任 126
保証サービスの説明 126
AUR（アドバンスユニット交換） 126

Confidential

デポサービス 126
重要な制限 127
Kodak Alaris へのお問い合わせ 128

安全性について

ユーザーへの注意事項

- デスクトップスキャナー (モデル S5160/S5180) は 61.2 kg の重量に耐えられる安定した水平な場所に置き、スキャナーの周囲には充分なスペースを確保してください。床置きスキャナー（モデル S5210）の重量は 204 kg です。
- デスクトップスキャナーを移動する場合、少なくとも 2 名でスキャナーを持ち上げて、安全な方法で運んでください。
- ほこりの多い場所や、湿気や蒸気のある場所にスキャナーを設置しないでください。感電または出火の危険があります。スキャナーは必ず室内の湿気のない場所で使用してください。
- 電源コンセントがスキャナーから 1.52m 以内にあり、簡単に接続できることを確認してください。
- 機器の電源ソケットを外すときは、コードではなくプラグを持ってください。
- 電源コードがコンセントにしっかり接続されていることを確認してください。しっかり接続されていないと、感電または出火の危険があります。
- 電源コードを破損しないよう注意してください（結ぶ、切る、改造するなどの行為を含む）。また、破損した電源コードは使用しないでください。感電または出火の危険があります。
- スキャナーは壁のコンセントに直接接続し、適切に接地してください。スキャナーに延長ケーブルまたは電源タップを使用しないでください。
- 電源コンセントの周辺には十分なスペースを設け、緊急時にすぐにプラグを外せるようにしてください。
- 『ユーザーズガイド』に記載された場合を除き、スキャナーを解体、修理または改造しないでください。
- 電源コードとインターフェースケーブルを接続したままで、スキャナーを移動しないでください。電源コードとケーブルが破損する場合があります。スキャナーを移動する前に、電源コードをコンセントから抜いてください。
- Kodak Alaris が推奨するクリーニング手順に従ってください。エアー、液体、ガススプレークリーナを使用しないでください。これらのクリーナは、ほこり、汚れ、ゴミをスキャナー内の別の場所に移動させ、スキャナーの故障の原因となる可能性があります。
- 化学製品の安全データシート（SDS）は、Kodak Alaris のウェブサイト（www.KodakAlaris.com/go/ehsa）の安全データシートが必要な消耗品で入手できます。
- このデバイスは、ビジュアルディスプレイのある作業環境において、直接的な視界内での使用を対象としていません。ビジュアルディスプレイのある作業環境において妨げとなる反射を避けるため、このデバイスを直接視界に入る場所に置かないでください。
- この機器は、お子様のいる場所での使用は適していません。

ユーザーやその管理者は、機械を操作するにあたり、常識的な注意を払う必要があります。注意事項として以下のものがあります（ただし、これに限りません）。

- 過度にゆったりした服装を避け、袖口のボタンは外さないようにしてください。
- 外れやすいアクセサリ、ブレスレット、大きな指輪、長いネックレスなどは身に付けないようにしてください。

- 髪の毛は、必要に応じてヘアネットを使用するか、長い髪は束ねるなどして、短くまとめます。
- 機械の周辺にある、引き込まれそうな物はすべて取り除きます。
- 時折十分な休憩を取って、集中力を保つようにします。
- **推奨するクリーニング用品以外は使用しないでください。**

業務監督者は、スキャナーまたはその他の機械の操作に関するルールに、上記のような予防措置を含めるようお願いします。

電池に関する情報

本製品にはアルカリ乾電池が使用されています。資格を持ったサービス担当の技術者のみが、この電池の取り外しや交換を行うことができます。

注意：

- 電池の種類を間違えて交換すると、破裂する危険性があります。
- 使用済み電池は指示どおりに廃棄してください。

警告ラベル



注意：可動部品。触らないでください。



注意：高温。触らないでください。

騒音

Maschinenlärminformationsverordnung – 3, GSG**V**

Der arbeitsplatzbezogene Emissionswert beträgt <70 dB(A).

[騒音規制 — 3、GSGV

操作者位置の騒音は **70 dB（A）未満。]**

プライバシー

Cookie の開示

S5000 スキャナーを設定するため*に使用されるブラウザ対****応****デバイスには、以下の* ***Cookie が展****開される可能性があります。*

名前： **loginId**

ホスト： **<スキャナーの IP アドレス>**

所要時間： **セッション**

タイプ： **ファーストパーティ Cookie**

カテゴリ： **厳密**に必要な **Cookie**

説明： **スキャナーがパスワードで保護されている場合、**この **Cookie はログイン成功**後に作成され、**暗号化**されたアクセストークンを含みます。**アクセストークンは、セキュリティー保護されているスキャナー上のすべてのウェブページにアクセスするため**に必要です。

名前： **langId**

ホスト： **<スキャナーの IP アドレス>**

所要時間： **365 日**

タイプ： **ファーストパーティ Cookie**

カテゴリ： **厳密**に必要な **Cookie**

説明：ウェブサイトの言語が変更されると、この **Cookie** が作成され、現在選択されている言語の略語（**en**、fr、**it**、**ko** など）が含まれます。ユーザーがブラウザを閉じて戻ってくると、ウェブサイトは最後に選択した言語ですべての言語コンテンツを表示します。

1 概要



***Kodak* S5000 スキャナーには、以下のモデルが用意されています。**

***Kodak* S5160 スキャナー ― A4 サイズ原稿を毎分 160 枚（200/300 dpi、白黒/カラー/グレースケール、A4 横送り）処理し、Kodak パーフェクトページテクノロジーを搭載したデスクトップ用両面カラースキャナーです。**

***Kodak* S5180 スキャナー ― A4 サイズ原稿を毎分 180 枚（200/300 dpi、白黒/カラー/グレースケール、A4 横送り）処理し、*Kodak* パーフェクトページテクノロジーを搭載したデスクトップ用両面カラースキャナーです。**



***Kodak* S5210 スキャナー ― A4 サイズ原稿を毎分 210 枚（200/300 dpi、白黒/カラー/グレースケール、A4 横送り）処理し、*Kodak* パーフェクトページテクノロジーを搭載したフロアスタンド型両面カラースキャナーです。**

この『ユーザーズガイド』では、***Kodak* S5000 スキャナーの使用および保守**手順について説明します。特に指定がない限り、本ガイドに**記載**されている情報は全モデルに**該当**します。

注記：

- **本ガイドに記載の図では *Kodak* S5160/S5180 スキャナーを使用しています。**

Confidential

補足資料

この『ユーザーズガイド』のほか、下記の資料も用意されています。

- **インストールガイド** — **スキャナーの設置を手順ごとに説明します。**
- **TWAIN スキャン セットアップガイド - *Kodak* S5000 スキャナーには、TWAIN データソースが組み込まれています。スキャンセットアップ ガイドでは、基本的なイメージ処理機能の方法を説明します。Kodak Alaris の Web サイト（https://www.kodakalaris.com/support）からダウンロードできます。**
- **リファレンスガイド - スキャナーをクリーニングする手順を図解で示します。このガイドはスキャナーのそばに置いて、いつでも参照できるようにしてください。**

アクセサリ

以下のアクセサリーのカタログ番号については、サポートウェブサイトで入手**可能な**「消耗品カタログ」を**参照**してください：

Kodak プリンタアクセサリ（前部および後部）— スキャンした原稿に情報を効果的に印字できます。プリンタは、スキャナーの最高速度で印字可能で**す。プリンタは、日付、時刻**、ドキュメント順次カウンタ、固定文字**列**を**追加**することができます。詳細については、**第 4 章**の「***印字***」を**参照**してください。

Kodak マニュアルフィードシェルフ — 原稿を手動給紙する場合、マニュア**ルフィードシェルフを使用すると、作業面が**平滑になり、**1 枚ずつ給**紙できます。**マニュアルフィードシェルフは簡単**に取り付けたり、取り外すことができます。***Kodak* マニュアルフィードシェルフには、シェルフと 2 つのサイドガイドがあり、適**切な位置に調整することで**正**しくスキャンができます。

Kodak 薄紙専用フィーダキット - 用紙重量 25 g/m²～80 g/m²（7～ 20 ポンド）の軽量紙を給紙できます。***Kodak* **薄紙専用フィーダキットには、フィードモジュールとセパレーションローラがあり、スキャナー搬送路に薄紙を給紙できるよう**に特別に設計されています。

Kodak A3 フラットベッドアクセサリ — *Kodak* A3 フラットベッドにより、Kodak S5000 スキャナーモデルを使って、 **11** x 17 **インチ（A3）までの規格外の原稿をスキャンできるよう**になります。

同梱品一覧

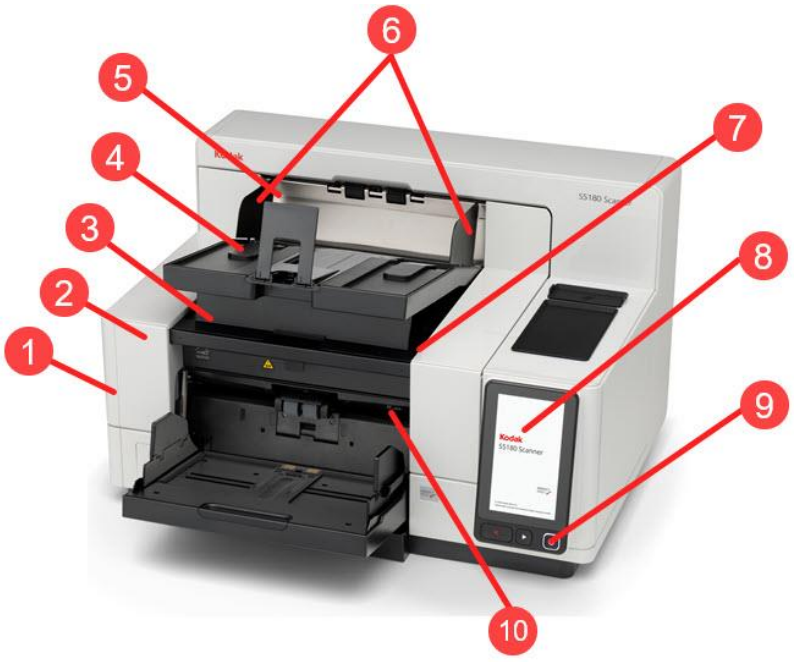
梱包品内容の確認：

- ***Kodak*** **S5160、S5180、S5210 スキャナー**
- **出力トレイ**
- **ショートドキュメント用アダプタ**
- **USB ケーブル**
- **AC 電源コードセット**
- **交換タイヤとプレセパレーションパッド**
- **後部排紙トレイ**
- **次の物品が入**ったフォルダ：
  - **ダングラーエクステンション**
  - **リファレンスガイド**（各国語）
  - **インストールガイド**
  - **クリーニングキットのサンプル**
  - その他のパンフレット

注記： ***Kodak*** **S5210 スキャナーの**ご購入には、フィールドサービス担当者**による開梱と設置サービスが含まれています。お客様**側での ***Kodak*** **S5210 スキャナーの開梱/設置は**ご遠慮ください。
S5160/S5180/S5210 スキャナーの設置については、
www.kodakalaris.com/go/contact-us **をご**覧ください。

スキャナーのコンポーネント

前部： すべてのモデル



1 **スキャナーカバーリリースラッチ（図に記載なし、「*スキャナーカバーの開け方*」を参照）— スキャナーの左側にあります。レバーを手前に引くとスキャナーのカバーが開きます。**

2 **スキャナーカバー - このカバーを開いて内部コンポーネントにアクセスします。**

3 **出力トレイの高さ調節タブ — スキャンするときに、このタブを使用して出力トレイの前を持ち上げると、スムーズに排紙できます。出力トレイを持ち上げると、このタブは自動的に外れてプリンタアクセスカバーに収まります。**

4 **出力トレイ — スキャンされた原稿を集めます。**

5 **原稿ストッパー — 原稿をまとめやすくなります。このストッパーはスキャンする原稿のサイズに合わせて前後に動かしたり、出力トレイで折りたたむことができます。**

6 **出力トレイのサイドガイド — 原稿のサイズに合わせて内側や外側に動かしたり、出力トレイで折りたたむことができます。**

7 **前部プリンタアクセスカバー — （出力トレイの下にある）このカバーを開くと、フィードモジュールリリースノブの使用や、プリンタの位置の変更とメンテナンスが行えます。スキャナーのシリアル番号と K ナンバーもその付近に記載されています。**

8 **タッチスクリーン/オペレータコントロールパネル** — **タッチスクリーンで、さまざまな機能を実行できます。これらの機能の使用方法については、セクション 3** ***スキャン*****を参照してください。**

9 **電源ボタン** — **押すとスキャナーの電源が入ります。2 秒間押すと、スキャナーは省電力モードになります。**

10 **フィードモジュールリリースレバー - フィードモジュールを清掃、交換する場合、このレバーを右に押してモジュールを取り外します。このリリースレバーを使用する場合、スキャナーのカバーを開ける必要があります。**

11 **[スタート/再開] ボタン** — **このボタンを押すと、スキャンを開始または再開します。**

12 **[停止/一時停止] ボタン** — **1 回押すとスキャンを一時停止します（[スタート/再開] ボタンを押すと、スキャンを再開します）。2 回押すと、スキャンが終了します。**

13 **入力エレベータのサイドガイド - スキャンする原稿のサイズに合わせて、ガイドを内側または外側にスライドします。サイドガイドは、原稿の幅に合わせて、左側、中央、右側に調整できます。サイドガイドを最適な位置でロックすることもできます。**

スキャナーを使用していないときに入力エレベータを閉じる場合は、サイドガイドを折りたたみます。



14 **入力エレベータ — 最大 750 枚までの原稿をセットできます（20 ポンド /80 g/m2 紙換算）**。入力エレベータにセットする原稿の枚数は、**25 枚、100 枚、250 枚、500 枚、750 枚から選択できます。使用していないときは**折りたたむことができます。

15 **入力エレベータエクステンション** — このエクステンションを引き出すと、**35.6cm 以上の長さの原稿をセットできます。**

16 **前部印字位置インジケータ — プリンタアクセサリを使用する場合、入力エレベータの端の目印で原稿の印字位置を確認します。**

17 **ギャップリリース切り替えスイッチ** — **特別**な処理を必要とする原稿をスキャンする場合、**[+]ボタンを押**して、フィードモジュールとセパレーションローラ間のギャップを調節します。

すべてのスキャナーモデルで追加調整が可能です。詳細については、「***出力トレイの調整***」を参照してください。

前面部：S5210 スキャナー

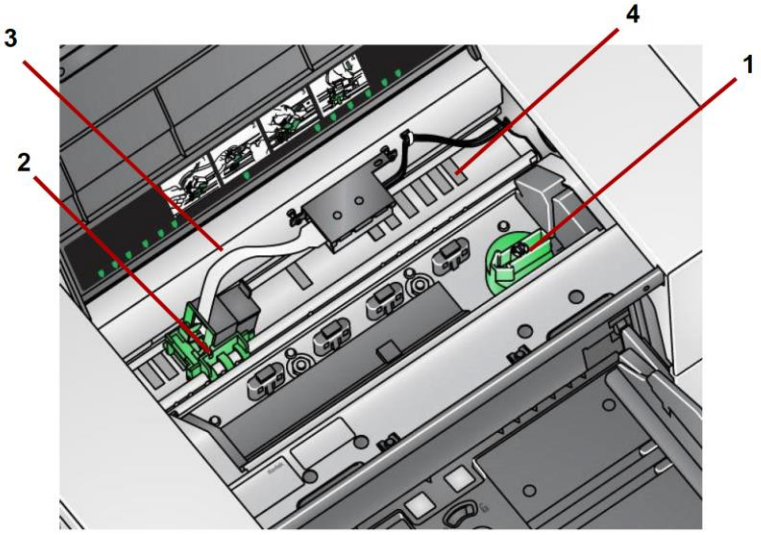
前述のコンポーネントに加え、***Kodak* S5210 スキャナーにはスキャナーの作業テーブルの高さを調節する作業テーブル高さ調節スイッチがあります。作業テーブルは、およそ 10 インチ上下に移動することができます。**



スキャナー下部には 4 つのキャスターと高さ調整脚があります。スキャナーを移設する場合は、これらの調整脚を上げる必要があります。スキャナーを移動して別の場所に配置する場合は、あらかじめテクニカルサポートまでお問い合わせください。

前部プリンタアクセス部：すべてのモデル

***Kodak*プリンタアクセサリを使用していない場合でも、アクセスすることがあります。フィードモジュールリリースノブはこの内部にあります。**



1 **フィードモジュールリリースノブ** — このノブを回すと、フィードモジュールを取り外してクリーニングや交換ができます。矢印を右側に回して、フィードモジュールを取り外します。

以下のコンポーネントは表面印字用であり、プリンタアクセサリが取り付けられている場合に限り、カバー内部にあります。

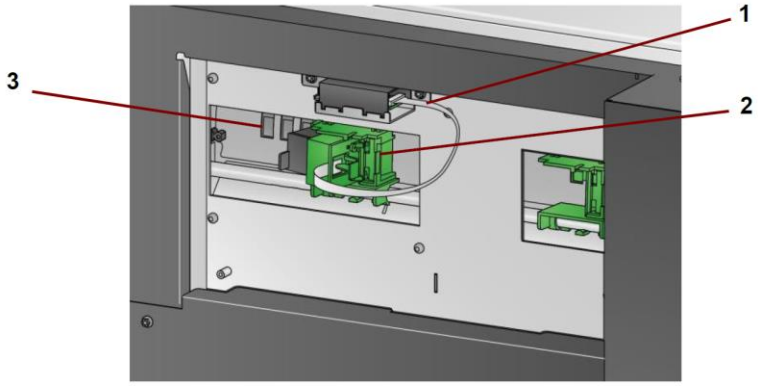
2 **インクカートリッジホルダ/カートリッジ — 原稿に印字する場合に使用します。**

3 **プリンタケーブル** — このケーブルをインクカートリッジホルダに直接接続すると、プリンタと通信が行えます。

4 **印字位置 - S5000 スキャナーでは原稿の表面に印字する**ことができます。**前部プリンタを使用する場合は、最大 39 の位置が使用できます。**

後部プリンタアクセス部

以下のコンポーネントは裏面印字用であり、プリンタアクセサリが取り付けられている場合に限り、カバー内部にあります。



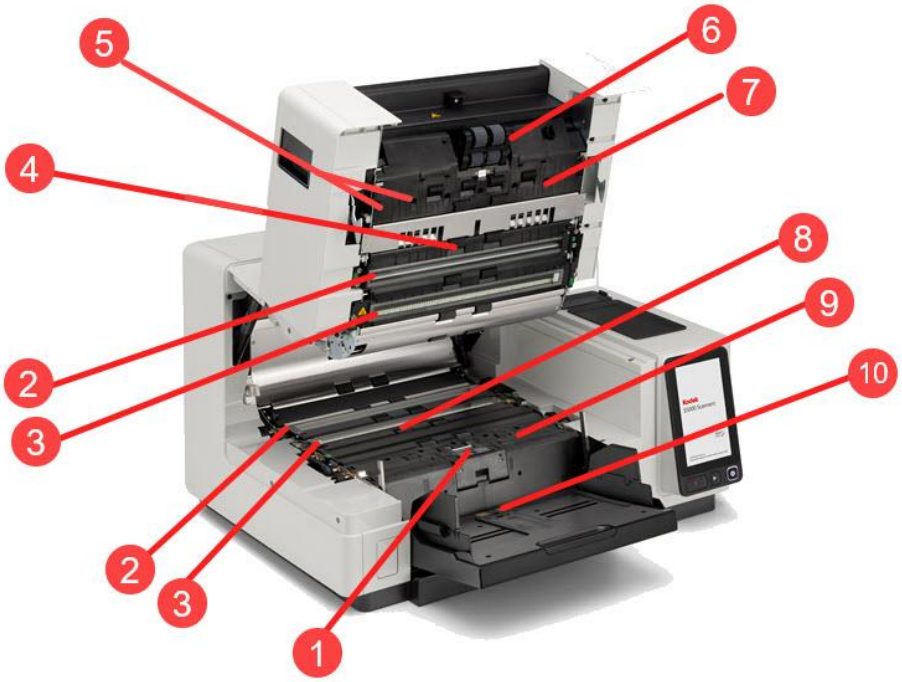
1 **プリンタケーブル** — このケーブルをインクカートリッジホルダに直接接続すると、**プリンタと通信**が行えます。

2 **インクカートリッジホルダ/カートリッジ** — **原稿に印字する場合に使用します。**

3 **印字位置 (*レールの下側にある*)** — **S5000 スキャナーでは表面**や裏面に印字します。**後部プリンタを使用する場合は、最大 24 の位置が使用できます。一度に 1 つのプリンタ（前部または後部）のみ使用できます。**

内部： すべてのモデル

スキャナーカバーのリリースラッチを手前に引いてスキャナーカバーを開くと、**以下の内部コンポーネントが**見えます。



1 **セパレーションローラとプリセパレーションパッド** — **さまざ**まなサイズ、**厚さ、素材**の原稿をスムーズに**給**紙します。

2 **ブラック/ホワイトバックグラウンド — スキャンアプリケーションを使用して、背景を白または黒に変更できます。通常のスキャンの設定では、ブラックバックグラウンドが使用されます。片面の薄い用紙をスキャンする場合、より良い画質でスキャンするには、ホワイトバックグラウンドを使用することをお薦めします。詳細については、「*TWAIN および ISIS のスキャンセットアップガイド*」を参照してください。**

3 **イメージングガイド - 原稿を見るためのカメラで使用され、最適な画質を得るためには、清潔に保つ必要があるため、埃などの汚染物質からカメラを保護します。**

4 **ローラ — スキャナー内で原稿をスムーズに搬送する役割を果たします。**

5 **インテリジェントドキュメントプロテクションセンサ - スキャナーに正しく入っていない原稿を、センサが検出します。**

6 **フィードモジュール — さまざまなサイズ、厚さ、素材の原稿をスムーズに給紙します。**

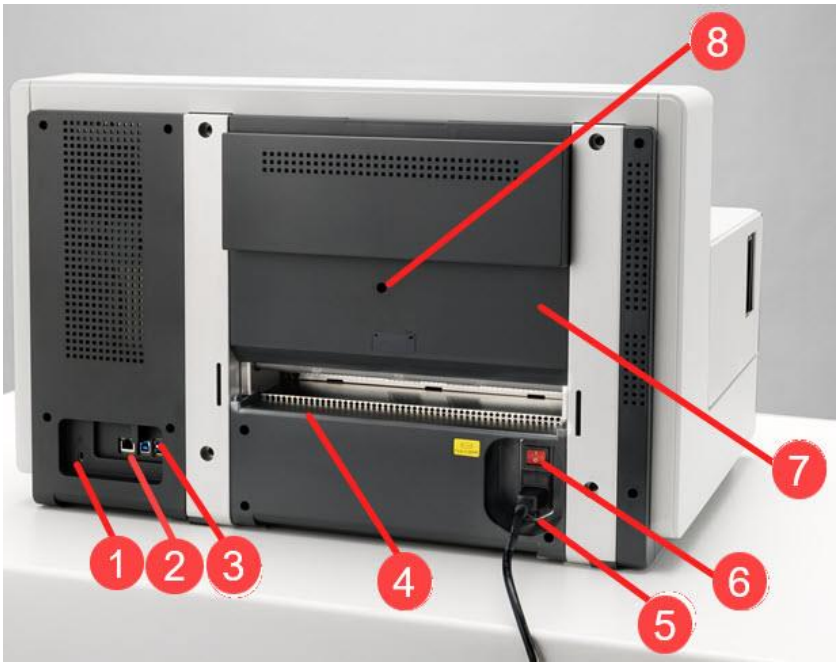
7 **センサ — 5 ヶ所の超音波センサは搬送路の幅をカバーし、原稿の重送を検出します。**

8 **インクブロッタチャネルとインクブロッタ（インク用ストリップの下）— オプションのプリンタアクセサリから漏れたインクは、インクブロッタに吸収されます。**

9 **金属検出部 — スキャナーに入る前に金属（ホッチキスなど）を検知します。**

10 **用紙センサ — 入力エレベータにセットした原稿を検知します。このセンサの上に原稿をセットすると、スキャンを開始します。**

後部：S5160/S5180 スキャナー



1 **セキュリティロックポート ― セキュリティロックをスキャナーに接続します。標準的なセキュリティロックは、事務用品**店などでご購入ください。**取り付け手順は、セキュリティロックに付属の手順書**を参照してください。

2 **RJ45 ネットワークポート ― スキャナーをローカルネットワークに接続します。**

3 **USB ポート ― スキャナーを PC へ接続します。**

4 **後部排紙口** ― **特別**な処理を必要とする原稿をスキャナーの後部から排紙**します。**

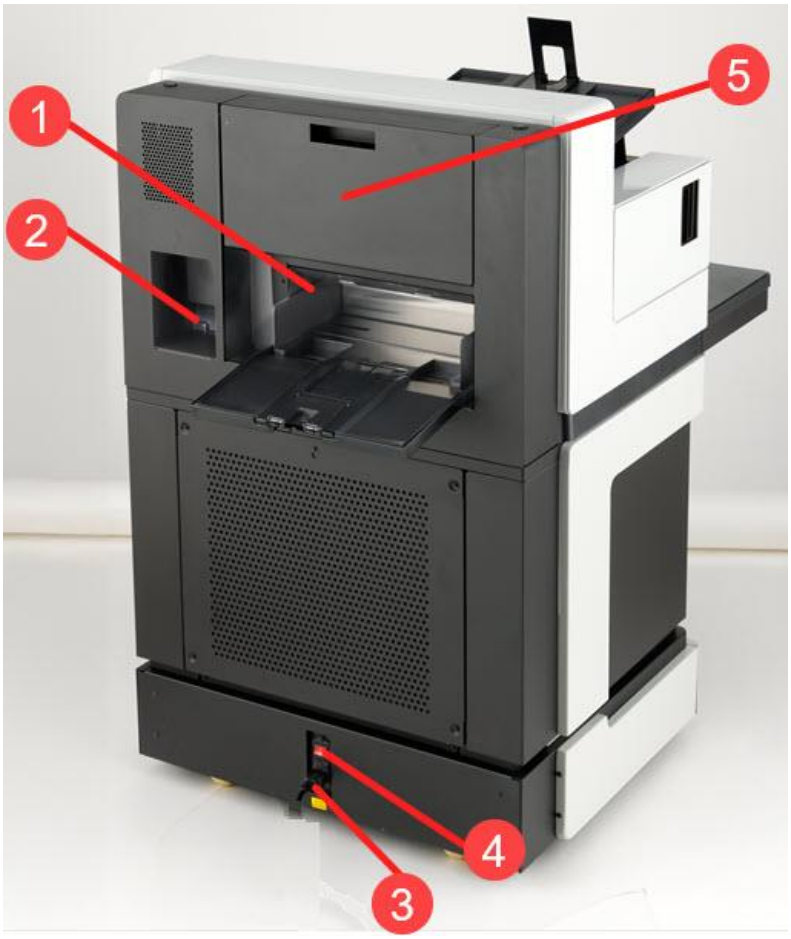
5 **電源ポート ― 電源コードをスキャナーに接続します。**

6 **主電源スイッチ ― スキャナーに電源を**供給するには、**この**スイッチを**オン（I）にします。**

7 **後部プリンタアクセスドア ― 後部プリンタへのアクセスができます。**

8 **ねじ** ― 平頭ネジ用ドライバーを使用して**この**ねじを**緩め**、後部プリンタ**へアクセスする後部カバーを取り外します。**

後部：S5210 スキャナー



1 **後部排紙口** — **特別**な処理を必要とする原稿をスキャナーの**背**面から排紙**します。**

2 **USB ポート — スキャナーを PC へ接続します。**

3 **電源ポート — 電源コードをスキャナーに接続します。**

4 **主電源スイッチ — スキャナーに電源を**供給するには、**こ**のスイッチを**オン（I）にします。**

5 **後部プリンタアクセスドア — 後部プリンタへのアクセスができます。**

2 インストール

必要に応じて、Kodak Alaris プロフェッショナル サービスが設置とユーザトレーニングを実施します。詳細については、https://www.kodakalaris.com/support のテクニカルサポートまでお問い合わせください。

次のインストール手順は *Kodak* S5160 および S5180 スキャナーに対応しています。*Kodak* S5210 スキャナーのご購入には、フィールドサービス担当者による設置サービスが含まれています。

スキャナーのインストール

このセクションでは、スキャナーに付属の『インストールガイド』の詳細について説明します。手順を順番に実行して、スキャナーをインストールしてください。

注記：

- 開始する前に、ホスト PC がサポート Web サイトに記載されているシステム要件を満たしているか確認します。
- 『インストールガイド』のすべての手順を実行済みの場合、このセクションを省略してください。

www.kodakalaris.com/scanners に最新のドライバが提供されています。

Kodak ドライバソフトウェアのインストール

ドライバソフトウェアをインストールする前に、USB ケーブルを接続しないでください。

1. *Kodak* S5000 スキャナードライバアプリケーションをダウンロードし、手動でインストーラーを起動します。
2. インストールが完了するまで表示される指示に従います。

注記：インターネットにアクセスできない場合は、製品に同梱されている CD を使用してスキャナードライバをインストールすることができます。

Confidential

出力トレイの取り付け：S5000 スキャナー

Kodak S5000 スキャナーの梱包箱には、出力トレイが入った箱が同梱されています。

- スキャナーにある出力トレイスロットの位置を確認します。出力トレイを傾けて出力トレイと溝を合わせ、スライドさせて所定の位置まで下げます。

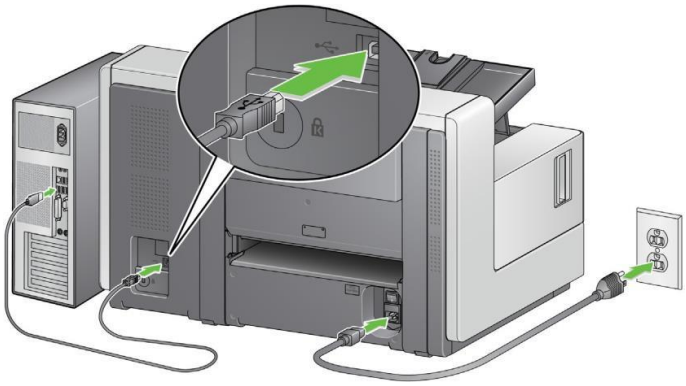


注記： 原稿を給紙する前に、出力トレイを必ずスキャン位置まで持ち上げます。「*出力トレイの調整*」を参照してください。

電源コードと USB ケーブルの接続：S5160/S5180 スキャナー

ドライバをインストールしたら、電源コードと USB ケーブルをスキャナーに接続します。以下の図を参照して、正しく接続します。電源コンセントがスキャナーから 1.52m 以内にあり、簡単に接続できることを確認してください。

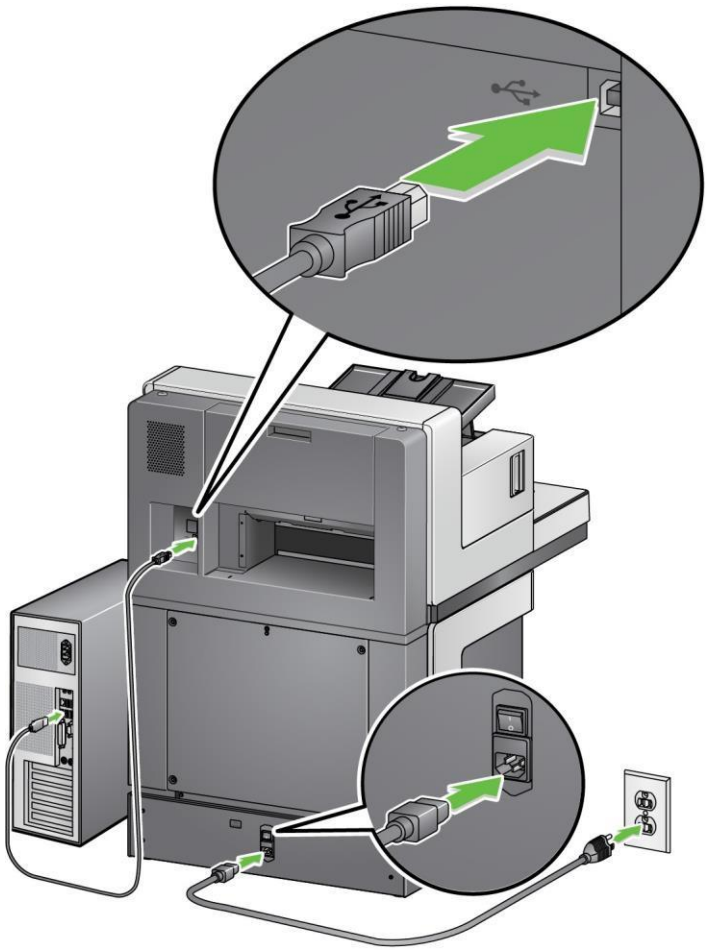
1. スキャナーに同梱されている電源コードから、お住まいの地域に適した AC 電源コードを選択します。
2. 電源コードをスキャナーの電源ポートに接続します。しっかりと接続していることを確認してください。
3. 電源コードのもう一方の端をコンセントに接続します。
4. USB ケーブルをスキャナーの USB ポートに接続します。
5. USB ケーブルのもう一方の端を PC の USB ポートに接続します。



電源コードと USB ケーブルの接続：S5210 スキャナー

S5210 スキャナーを電源に接続する際は、下記の図を参照して適切に接続してください。電源コンセントがスキャナーから 1.52m 以内にあり、簡単に接続できることを確認してください。

1. スキャナーに同梱されている電源コードから、お住まいの地域に適した AC 電源コードを選択します。
2. 電源コードをスキャナーの電源ポートに接続します。しっかりと接続していることを確認してください。



Confidential

3. **電源コードのもう**一方の端をコンセントに接続します。
4. **USB ケーブルをスキャナーの USB ポートに接続します。**
5. **USB ケーブルの**もう一方の端を **PC の USB ポートに接続します。**

スキャナーの電源をオンにする

1. **スキャナーの後部にある主電源スイッチをオン（I）側**に**押**します。スキャナー**前面の電源ボタン LED が点滅**し始め、オペレータコントロールパネル**には何も**表示されません（低電力モード）。



S5160/S5180 スキャナー



S5210 スキャナー

注記：

- **長期間スキャナーを使用しない場合、メンテナンスを実施**する場合、スキャナー**を移**動する場合、またはフィールドサービス**担当**者から電源を切る

ように指示された場合を除き、主電源スイッチをオフにする必要はありません。

- *Kodak* S5210 スキャナーのみ： スキャナー下部には 4 つの高さ調整脚があります。スキャナーを移動する場合は、これらの調整脚を上げる必要があります。スキャナーを移動して別の場所に配置する場合は、あらかじめフィールドサービス担当までお問い合わせください。
- スキャナーを移動する際に発生した損傷は保守契約での保証の対象外になります。Kodak Alaris の専門家サービスがスキャナーの移設サービスを提供します。詳細については https://www.kodakalaris.com/support を参照してください。

2. スキャナーの前面の[電源] ボタンを押します。[電源]ボタンの LED が素早く点滅し、オペレータコントロールパネルには何も表示されません。



初期化プロセス中にスキャナー入力エレベータが閉じている場合は、自動的に開きます。

セットアップウィザードを実行

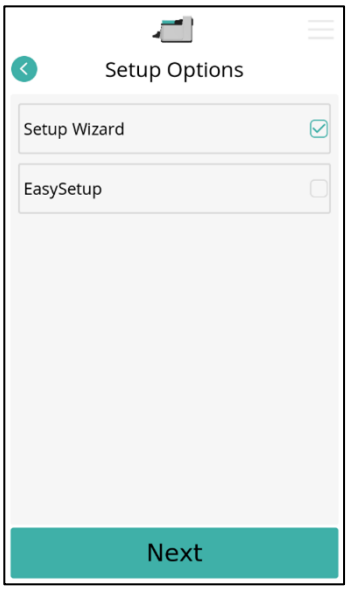
セットアップウィザードは、以下のようにスキャナーの初期起動のために実行されます：

Confidential

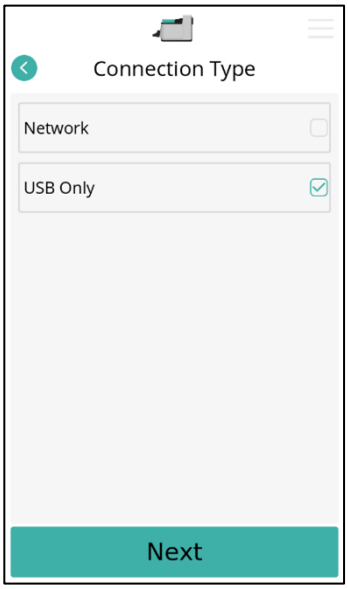
1. **言語名の右側**にあるボックスをクリックして、**希望**の言語を選択します。



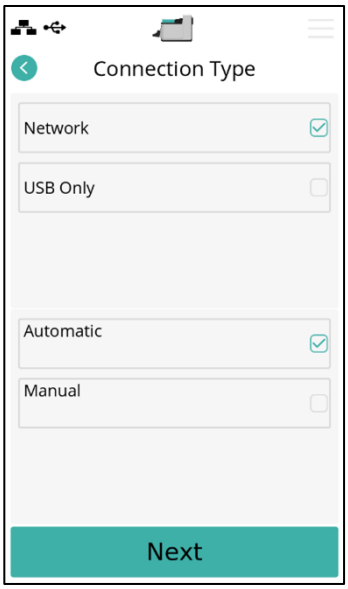
2. **[次へ]をクリックして [セットアップオプション]ウィンドウを開き、チェックボックスをクリックしてスキャナーと PC の接続を設定するための [セットアップウィザード]を選択し、[次へ] をクリックします。**



3. **[接続タイプ]ウィンドウが開きます。チェックボックスをクリックして、スキャナーをネットワーク（イーサネット）または USB 経由**で接続され**ているか**どうかを選択します。



a. **ネットワークを選択すると、自動または手動のネットワーク接続の選択が開きます。**

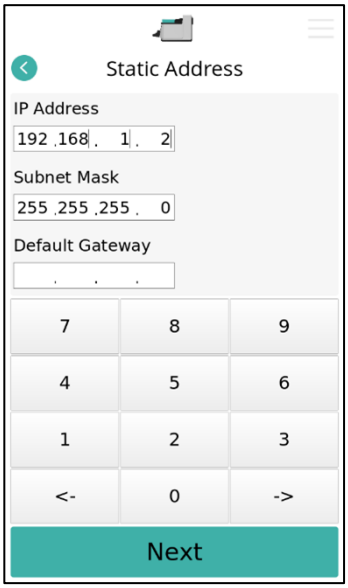


i. **自動を選択すると、イーサネットアドレスの DHCP 形式が選択されます。[次へ]をクリックします。ステップ 5 に**進みます。

ii. **手動を選択すると、イーサネット IP アドレスの**静的 **IP 形式が選択されます。[次へ]をクリックします。ステップ 4 に**進みます。

b. **USB のみが選択されている場合、[次へ]をクリックします。ステップ 6 に**進みます。

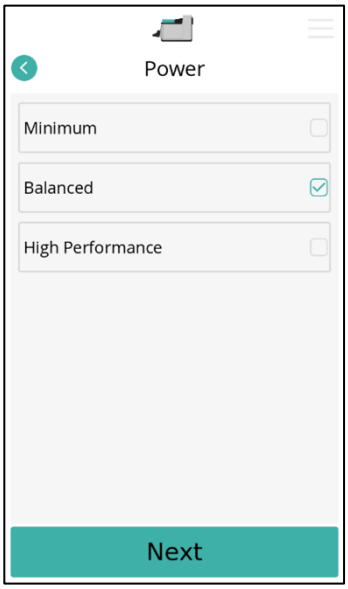
4. **[静的アドレス]ウィンドウが開きます。IP アドレスとサブネットマスクの両方を入力する必要があります（デフォルトのサブネットマスクアドレスは 255.255.255.0）。[次へ]をクリックします。**



5. **有線ネットワークメニューが表示されます。スキャナーとネットワークポートをネットワークケーブルで接続します。[次へ]をクリックします。**

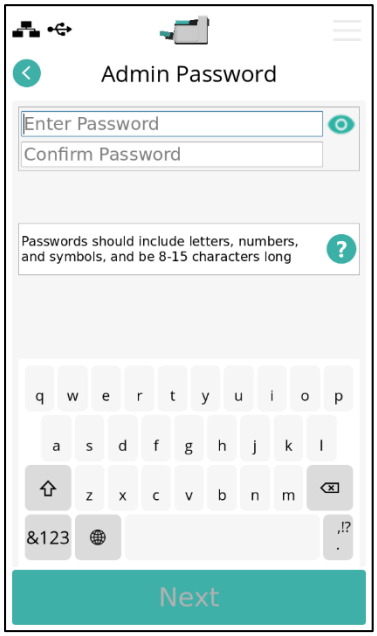


6. **電源画面が開きます。下の表に従って、電力レベルを選択します。[次へ]をクリックします。**



電力レベル	省電力になるまでのアイドル時間（分）	電源がオフになるまでの省電力持続時間（分）
最小	5	60
バランス	15	60
高パフォーマンス	120	無効

7. **[管理者パスワード入力]画面が開きます。画面に表示される要件に**従って**新しいパスワードを設定し、[次へ]をクリックしてパスワードを保**存し、**セットアップウィザードを終了します。**



8. **[準備完了] 画面が表示されます。**



電源モード

以下の表ではスキャナーの電源モード、LED ステータス、自動または手動による電源モードの移行方法を説明しています。

モード	LED	電力消費	動作
電源オフ	消灯	0.3 W 未満	スキャナー後部の電源スイッチをオフの位置（O）にします。
スタンバイ時	白で長い周期で点滅	0.5 W 未満	最初に電源を入れた（スキャナー後部の電源スイッチがオンの位置(I)にある）際のモードです。 ［電源］ボタンを 3 秒以上押すと、スキャナーは［低電力］モードから［スタンバイ］モードに切り替わります。
低電力	白で点滅	23.7 W 未満	[電源］ボタンを 3 秒以上押すと、スキャナーは［準備完了］モードから［低電力］モードに切り替わります。
準備完了	白で点灯	100 W 未満（アイドル時）	スキャナーは以下の操作で［スタンバイ］モードから［準備完了］モードに切り替わります。 ・［電源］ボタンを押す。
		240 W 未満（スキャン中）	スキャナーは以下の操作で［低電力］モードから［準備完了］モードに切り替わります。 ・[電源]ボタンを押す、または ・入力エレベータに用紙をセットする、または ・[中断/停止]ボタンを押す、または ・[スタート/再開]ボタンを押す、または ・ホストコマンドを受信する。

3 スキャン中

スキャナーの準備

1. **スキャナーの電源が入**っており、[**準備完了**]モード（電源ボタン **LED が白色に点灯**）であることを確認します。
2. **スキャン要件に合わせて入力エレベータを調整します。**「入力エレベータ**の調整**」を参照してください。
3. **スキャン要件に合わせて出力トレイを調整します。**「出力トレイの調整」**を**参照してください。
4. **お使いのスキャンアプリケーションを選択します。**

注記： この章の図は **S5160 スキャナーを表します。特に**指示のない限り、**すべての調節は S5180 スキャナーに対して**も同じです。

入力エレベータの調整

サイドガイドと入力エレベータの高さは、スキャン要件に合わせて調整できます。スキャナーを使用していない場合、入力エレベータは折り畳むことが**できます。**

注記： **入力エレベータを下げ、エレベータのサイドガイドを**折りたたんで**から閉**じてください。



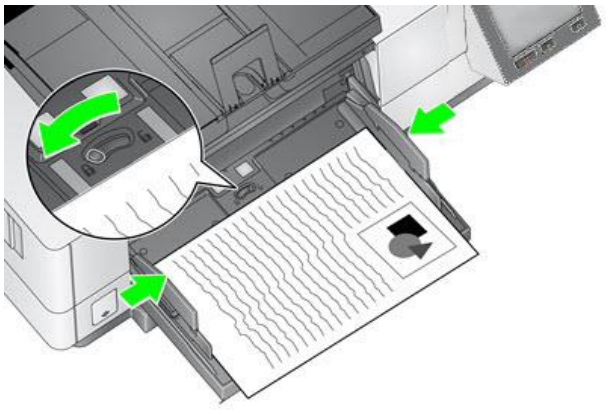
- **サイドガイドの調整 ― サイドガイドは右側**、左**側**、中央に調整して**給**紙で**きます。両**方のサイドガイドを**移**動して中央から**給**紙する**ことも、どちら**か**片**方を動かして右端または左端からオフセット**給**紙する**ことも**可能です。サ

イドガイドを移動する前に、スイッチがロック位置にないことを確認してください（下図参照）。

注記： オプションのプリンタを使用する場合、印字文字列が正しい位置に配置されるように原稿を入力エレベータにセットする必要があります。詳細については、第 4 章の「*印字*」を参照してください。

- サイドガイドのロック — サイドガイドは調整後に位置をロックできます。ガイドのロックは印字位置を固定したい場合に便利です。

サイドガイドをロックするには、入力エレベータから原稿を取り除き、ロックのスイッチを左側に切り替えます（ロック位置）。

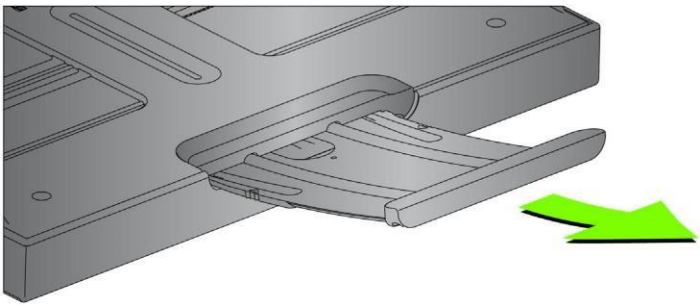


- 入力エレベータの高さの調整 — 入力エレベータは 20 lb./80 g/m2 のボンド紙を 25 枚以下、100 枚、250 枚、500 枚、750 枚セットするように設定できます。入力エレベータは、スキャンアプリケーションソフトウェア（TWAIN データソースまたは ISIS ドライバ）で設定します。

  入力エレベータは（TWAIN データソースまたは ISIS ドライバを使用して）ADF モードに設定されているか、*給紙*が手動に設定されている場合、入力エレベータは最上段（25 枚以下）にセットされます。25 枚以上に設定した場合、指定された枚数の原稿を給紙するために入力エレベータが自動的に上がり、最後の原稿が給紙されると自動的に下がります。

- 入力エレベータの調整

  - 長さ 35.6cm までの原稿 — 調整は不要です。
  - 長さ 35.6cm から 43.2cm の原稿 — エクステンションをゆっくりと引き出します。



- **エクステンションを元の位置に押**し戻すには、エクステンションの**側面（矢**印部分）に**指**を**添**えて、元の位置にスライドします。

注記：

- **43.2cm 以上の原稿をスキャンする場合、オペレータによる補助**が必**要になる場合があります。**
- **43.2 cm 以上の原稿をスキャンする場合、**その長さに対**応**するよう**にスキャン アプリケーションの設定を必ず変更してください。[デバイス ― 搬送]タブの最大原稿サイズオプション（TWAIN データソース）または[スキャナー]タブの最長原稿サイズオプション（ISIS ドライバ）が、スキャンする原稿より**若干長く設定されていることを確認してください。必要以上の長さを設定すると処理速度が低下する場合があります。**
- 延長トレイは **43.2cm 以上の原稿をスキャンするときに使用します。**

- **用紙の重さ ― 入力エレベータに**収容できる用紙の最大枚数は、**A3 用紙で**約 **500 枚、または A4 用紙で**約 **750 枚です。A3 より大きな原稿をスキャンする場合、推奨重量は 4.5 kg 以下でなければ**なりません。スキャンする原**稿の長さが A3 用紙を**超える場合、**100 枚以上の原稿を同時にスキャンしないでください。**

出力トレイの調整

排紙方法の設定によって原稿を出力トレイに排紙する（**TWAIN データソース、ISIS ドライバを使用して）方法を調整できます。標準モードの排紙方法では、出力トレイのサイドガイドとエンドストップを使用して同じサイズの原稿をスキャンすると、最大の処理速度が**得られます。

他の排紙方法のオプションはサイズ**や**厚さが**異**なる原稿をスキャンする**際**に使**用します。**

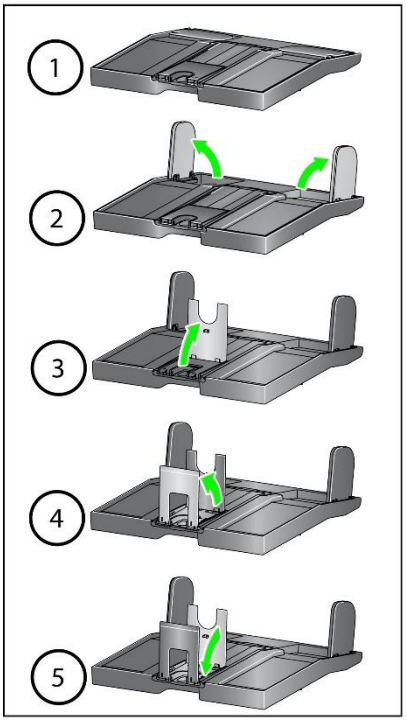
- **出力トレイの角度の調整 — スキャンした原稿が最適**に排紙されるよう、出**力トレイの角度を**「高い」位置にすることをお**勧め**します。出力トレイの**前部を持ち**上げると、その下から高さの調節タブが出てきます。



出力トレイを下げる場合は、出力トレイの下の高さ調節タブをゆっくり押して**から、出力トレイを前部プリンタアクセスカバーの方に下げます。**

- **サイドガイドと原稿ストッパーの調整 — サイドガイドと原稿ストッパーは、いくつかの方法で調整できます。出力トレイのサイドガイドを開いて、入力エレベータのサイドガイドの位置と合わせます。サイドガイドは出力トレイに対して**折りたたむことができます。

  給紙する一番長い原稿より少し長くなるように、出力トレイの原稿ストッ**パーを調整します。出力トレイよりも**長い原稿をスキャンする場合、出力**トレイの原稿ストッパーを**折りたたみます。

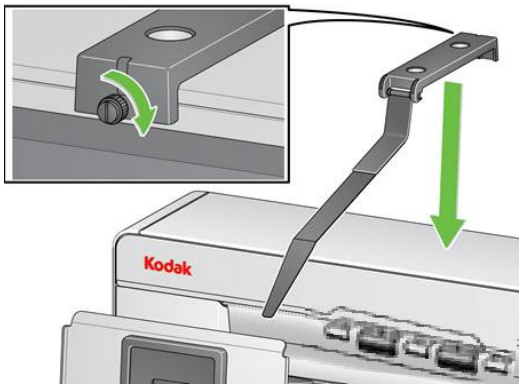




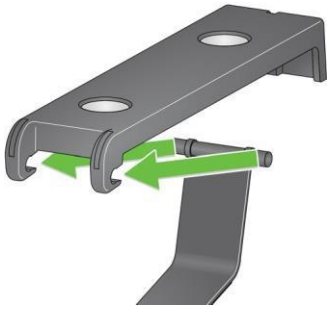
ダングラーエクステンションの交換

スキャナーにはマウントとダングラーが付属し、スキャンする原稿セットに応じて簡**単**に交換できます。

必要に応じ、マウントをスキャナー上部に取り付けます。ダングラーは出力ト**レイに積**み重なる原稿を合わせるのに**役立ち**ます。ダングラーは **3 つのサイズが使用できます。スキャンする原稿セットに応**じ、最**適**なサイズのダングラー**を取り付けます。**



注記：　ダングラーを交換するにはマウントを取り外し、ダングラーを外して図のよ**う**に新しいダングラーを**溝**にはめ込みます。

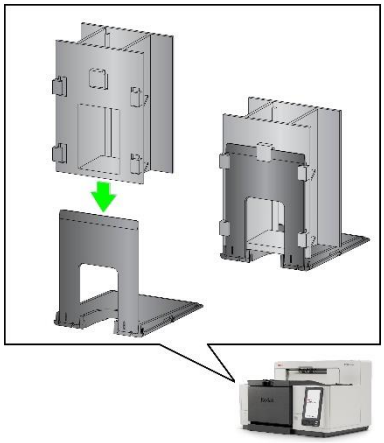


「*ダングラーの使用方法*」を参照してください。

ショートドキュメント用アダプタの取り付け

小さい原稿（小切手など）をスキャンする場合は、ショートドキュメント用アダプタを使用できます。このアダプタを使用すると原稿がまとめやすくなります。

1. 図の様に、出力トレイの原稿ストッパーを開きます。
2. 原稿ストッパーの上にショートドキュメント用アダプタを取り付けて、一番下まで押し下げます。



3. 必要に応じてサイドガイドを調整します。

スキャナーの高さ調節（S5210 スキャナーのみ）

作業テーブルは、一番下の位置から約 25.4cm 上まで上げることができます。スキャナーの作業を座って行うか、または立って行うかなど、作業状況に応じて適切な高さに調整してください。作業テーブルを上下に移動する場合、移動範囲内に障害物（椅子、テーブルなど）がないことを確認してください。

- 作業テーブルを上げる場合は、スキャナー側部にあるボタンの上側を押します。



- **作業テーブルを下げる場合は、スキャナー側**部にあるボタンの下**側**を**押**します。

作業テーブルが上または下に移動しない場合は、以下の事**柄**を確認してください。

- **作業テーブルが、すでに一番**上または一**番**下の位置に**移**動していないか。
- **スキャナーの電源がオンで、**[省電力] モードになっていない。
- **スキャン中はスキャナーの高さを調整できないため**、スキャンが非アクティ**ブであるこ**とを確認してください。

後部排紙口の使用

特別な処理を必要とする原稿（**破損しや**すい原稿、梱包**材**料な**ど**）は後部排**紙口から出力できます。こ**の排紙口は、ストレートパス搬送オプションによって、**特別**な処理を必要とする原稿には**この**搬送路が使用されます。**これ**により**紙詰まりを防止できます。 後部排紙トレイに収**まる最大枚数は、**S5160/S5180 モデルで 50 枚、S5210 モデルで 300 枚（20#重量）です。**

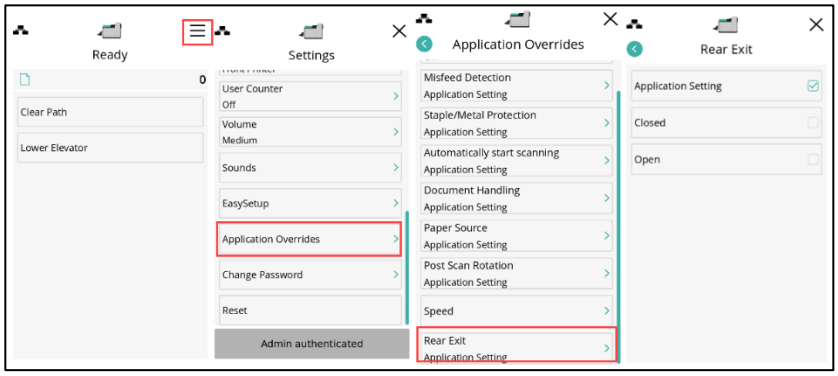
後部排紙口は、以下の場合に使用します。

- **原稿が非常**に堅い（**例えば、曲**げにくい）**ため**搬送路で向きを変えられ**ず、紙詰まりする。**
- **原稿が破損しや**すいため、**曲**げずにスキャンする必要がある。
- **排紙後の原稿の順番**が重要ではない。
- **スキャン後に原稿が不**要になるため、直接リサイクル分**別箱**に入れる。
- **写真**をスキャンする。

注記：

- **後部排紙口は、ドライバーの設定またはオペレータコントロールパネルから選択できます。**
- **右上隅**の**[アクション]アイコンをクリックし、設定にアクセスします（OCPの選択はドライバーの設定に優先します）。管理者パスワードで認証します。**
- **設定項目を下にスクロールし、アプリケーションの優先処理を選択します。**
- **優先処理オプションを下にスクロールし、後部排紙口を選択します。**

- **開くを選択し、スキャンした原稿を後部排紙トレイから直接取り出します。**
- **後部排紙口コントロールは、スキャン中に一時停止画面からアクセスする**こともできます。詳細については、「***優先処理***」を参照してください。



- このオプションを使用する場合、スキャナーの後部に原稿を排紙するのに十分なスペースを確保してください。
- **複**数枚の原稿のスキャンに後部排紙口を使用する場合、**給**紙とは**逆**の順**番で排紙されます。**
- **後部排紙トレイアクセサリが取り付けられている**ことを確認してください。**詳細については、**「***アクセサリ***」を参照してください。

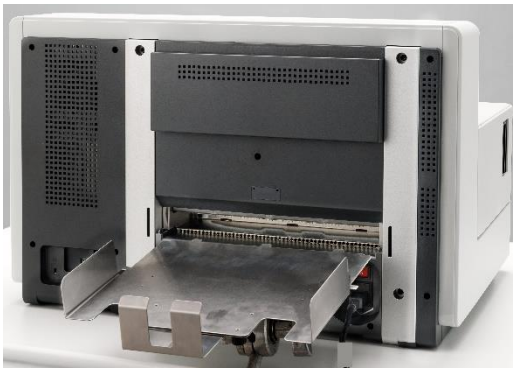
後部排紙トレイアクセサリの取り付け

後部排紙トレイアクセサリを取り付けてスキャンした原稿を後部排紙口から収集することができます。

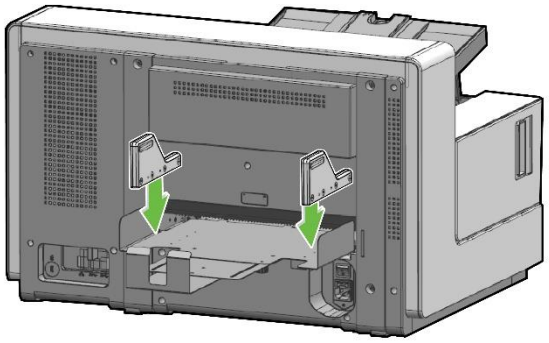
- **すべてのモデルで後部排紙トレイは最大 43.2 cm の原稿をスキャンできます。**

基本的に排紙トレイの取り付けはすべてのスキャナーで同じです。

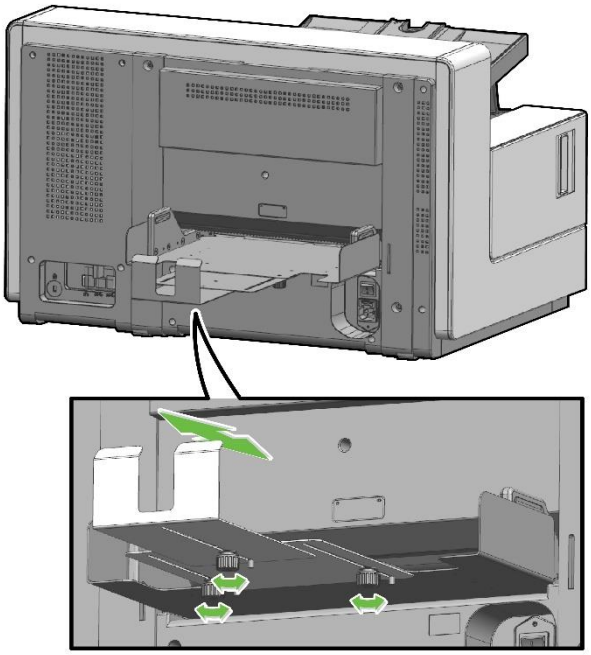
1. **トレイを**やや**傾**けて後部排紙トレイの**溝**をスキャナー内の**溝**に合わせ、**静**かにトレイを置きます。
2. **サイドガイドを排紙トレイ上のスキャンのニーズに応**じた**希望**する位置に**置きます。**







注記： **排紙トレイ底**部のロックノブを**緩め**てトレイを前後にスライドさ**せ、スキャンする原稿のサイズに合わせるこ**とができます。



原稿の準備

- **標準 用紙サイズの原稿は、スキャナーへ簡単**に給紙できます。スキャンする**原稿は、先端を**揃えて入力エレベータの中央に**積**み重ねます。**こ**れにより、**原稿は 1 枚ずつスキャナーに給**紙されます。
- **ホチキス**やクリップは、スキャン前にすべて取り除いてください。原稿が**ホチキス**やクリップで**留め**られていると、スキャナー**や**原稿が**破損**する場**合があります。**
- **スキャン前に、原稿上のすべてのインク**や**修正液**が**乾**いている**こ**とを確認**してください。**
- **破**れたりしわになっているページがある原稿で**も、こ**のスキャナーでは問**題なくスキャンするこ**とができます。ただし、原稿の**破損状態**によっては例外**も**あります。**破損**した原稿をスキャナーに搬送できるか**どう**か**不**確か**な場合は、原稿を保護用クリアシートに入れてください。シートは 1 枚ずつ手動で給**紙する必要があります。ギャップリリース切り替えスイッチを**使用しながら、閉**じ**代**から**給**紙してください。
- **あまりにも**厚い原稿**や硬**い原稿（梱包**材**料な**ど**）の場合は、以下の設定が**必要になる場合も**あります。
  - **ギャップリリース切り替えスイッチの使用。**
  - **プリセパレーションパッドの取り外し。**

- **排紙方法から［デリケート］、［厚紙］、［薄紙］ 設定を使用します。搬送速度が低下します。**
- **後部排紙トレイの使用。**

原稿のスキャン

スキャナーは、スキャンアプリケーションで原稿をスキャンできるようにする必要があります。**スキャナーを有効にしたら、スキャナーの設定内容によって、自動的にスキャンを開始するか（オートスタート）、スキャナーの[スタート/再開]ボタンを押**してスキャンを開始します。詳細は、スキャンアプリケーション**に対応**したマニュアル**を参照**してください。

1. **前のセクションのガイドラインに従って**原稿を準備したら、スキャンア**プリケーションでスキャンジョブが目的に応**じて設定されている**こと**を確**認します。**
2. **スキャンする原稿を入力エレベータにセットします。**
3. **スキャンアプリケーションを使用してスキャンを開始します。**

   スキャナーの設定方法に応じて、タッチスクリーンには［スキャン中］**画面または**［停止中］画面が表示されます。

   オートスタートオプション：

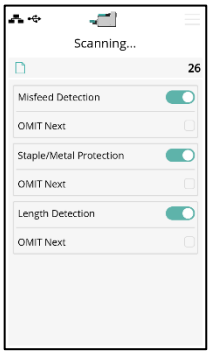
   TWAIN：自動的にスキャンを開始

   ISIS： 自動的に転送を開始

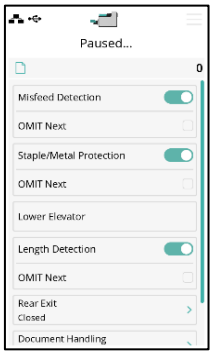
   詳細については、*TWAIN の『スキャンセットアップガイド』* を参照してください。

スキャンアプリケーションでオートスタートオプションが有効の場合はこの**画面が表示されます。**

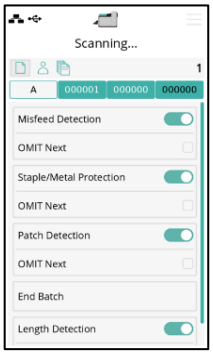
スキャンアプリケーションでオートスタートオプションが無効の場合はこの**画面が表示されます。**

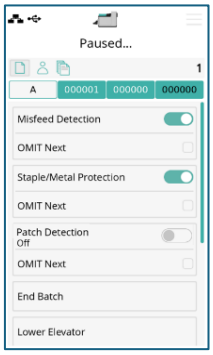


スキャンアプリケーションでインデックスおよびオートスタートオプションが有効の場合はこの画面が表示されます。



スキャンアプリケーションでインデックスおよびオートスタートオプションが無効の場合はこの画面が表示されます。





4. **スキャンジョブ中、または一時停止画面**やスキャン画面から、画面コントロールを押すことで、一部の機能（印字、ホチキス/金属防護、重送検知など）を優先処理することができます。詳細については、「***優先処理***」を参照してください。次を***スキップ***コントロールは、次のドキュメントの機能のみを優先処理します。
5. **スキャンアプリケーションでオートスタートを無効にした場合は、[スタート/再開] ボタンを押**してスキャンを開始します。

スキャンの停止と再開

原稿のスキャン中に手動でスキャナーを停止/一時停止したり、スタート/再開することができます。

- **スキャンを一時的に停止するにはスキャナーの**［**停止/一時停止**］ボタンを **1 回押**します。
- **スキャンを停止する場合は、**［**停止/一時停止**］ボタンを **2 回押**します。
- **一時停止後にスキャンを再開するには、スキャナーの[スタート/再開]ボタンを押**します。

注記： **PC が最小要件を満**たしていない場合、内部バッファメモリに**十分な空**きがあるとスキャンおよびスキャン再開時にスキャナーは自動的**に一時停止する場合があります。**

オペレータコントロールパネルのタッチスクリーンの使用

オペレータコントロールパネルのタッチ画面から、さまざまなオプションを**利用する**ことができます。これは **5 つのセクションに**別れています。



インジケータ領域：*接続、メンテナンス、システムの優先処理情報*

タイトル領域：*スキャナーの状態、イベントまたは機能*

カウンタ：*シーケンシャルカウンタ＋ユーザーカウンタおよびバッチカウンタ（アクティブな場合）*

インデックス：*ホストドライバーで有効な場合に表示*

コンテンツ領域：*関連機能を表示*

これらのオプションの詳細は、以降のセクションを**参照**してください。

タッチ画面を使用するには、目的のオプションを指で触ってください。**指以外の物で触ると、タッチ画面が損傷**する可能性があります。また、**このよう**な**損傷**は保証の対**象**にはなりません。

[準備完了] 画面

[準備完了] 画面には選択可能なオプションのリストが表示されます。さらに、画面の一番上のステータス領域にステータス情報、カウンタ値、イメージア**ドレスが表示されます。以下はステータス領域に表示されるアイコンです。**

53 **カウンタ値は 0 から始まり、スキャンされたページ**ごとに**増加**します。**表示最大値は 999**,999,999 **です。**

[ユーザーカウンタ]または[バッチカウンタ]オプションが有効の場合、カウンタ値の後ろにユーザーカウンタアイコンまたはバッチカ**ウンタアイコンのいずれかが表示され、**どのカウンタ値が表示されて**いるのかを示します。**

Confidential



原稿カウンタは常に有効です。**他**のカウンタも有効になっている場合は、**選択されたカウンタ値が表示されます。**



表示され、選択されている場合、ユーザーカウンタが表示されていることを示します。



表示され、選択されている場合、バッチカウンタが表示されていることを示します。



アプリケーションの優先処理が有効になっていることを示します。



一番上の排紙口が有効になっているとき、用紙がないことを示します。



一番上の排紙口が有効になっているとき、用紙があることを示します。



後部排紙口が有効になっているとき、用紙がないことを示します。



後部排紙口が有効になっているとき、用紙があることを示します。



一部の消耗品の交換または手入れが必要なことを示します。「メンテナンスメーターの表示」を参照してください。



USB が接続されていることを示します。



イーサネットは検出されたが接続されていません。



イーサネット接続がアクティブです。



修正可能なエラー**状態**を示します。**例：*入力エレベータが一杯です、フィードモジュールが見つかりません、または壊れています。***



エラー状態を示します。**例えば**、用紙が搬送路にある、またはイメージングガイドが**正**しく取り付けられていないなどです。



FADGI モード有効インジケータ（FADGI モードが無効の場合は表示されない）。

[設定]画面にアクセスする[アクション]ボタン。

[設定]画面を閉じ、[準備完了]画面に戻る[アクション]ボタン。

[準備完了] 画面が表示されている場合、以下の機能を実行できます。



- **搬送路のクリア ― スキャナーの搬送路から原稿を取り除きます。**
- **エレベータを下げる― 入力エレベータを一番**下まで下げます。

注記：

- **追加**の後部排紙口**や**ソートオプションのセットアップは、**こ**のガイドの「ソート」の**章**で**ご**覧いただけます。

搬送路のクリア

[搬送路のクリア] を選択すると、スキャナーは搬送路内に残った原稿を**排紙します。**

エレベータを下げる

入力エレベータにセットする用紙を追加するため**追加**のスペースを作る必要**がある場合は、**

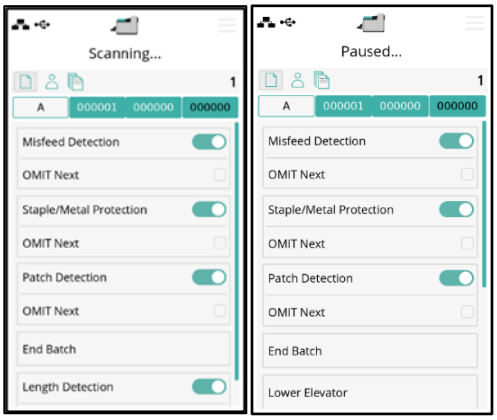
このオプションを使用します。**[エレベータを下げる]を選択すると、入力エレベータが一番**下（**750 枚分）まで下がります。**

バッチカウンタ

ドライバ設定またはジョブセットアップでバッチカウンタが有効に設定されている場合、[バッチカウンタ]アイコンが OCP カウンタコントロールに追加**されます。カウンタは 0 から始まり、スキャンされた原稿のバッチ**ごとに **1 ずつ**増加します。

バッチカウンタがアクティブな場合、[バッチカウントコントロール]アイコンが手動で選択されると、スキャナーはバッチカウンタ値を表示します。これは**[バッチカウンタ]アイコンの**周りの境界線として **OCP 画面に表示されます。**

バッチカウンタが有効に設定されている場合、バッチカウンタオプションとバッチの終了オプションは、[スキャン中]画面または[一時停止]画面から利用できます。

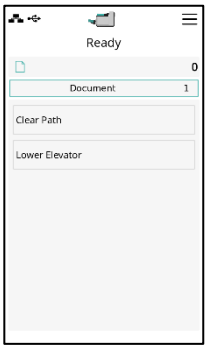


[スキャン中]画面または[一時停止]画面から[バッチの終了]をタッチすると、バッチカウンタは 0 にリセットされ、アイコンは[スキャン中]画面と[準備完了]画面のカウンタコントロール領域のカウンタ値の横に表示され、カウンタ間の切り替えが可能になります。

バッチカウンタが無効に設定されている場合、バッチの終了オプションは、[スキャン中]画面または[一時停止]画面のどちらからも利用できません。ステータス領域に表示されるのは原稿カウンタ値のみです。

スキャンアプリケーションでインデクシングが有効な場合の[準備完了] 画面

インデクシングおよびバッチが有効の場合、S5180 および S5210 の[準備完了]画面には追加のオプションが表示されます。カウンタ領域がステータス領域の下に表示されます。スキャンアプリケーションのインデクシングの選択に応じて、表示されるレベル領域は異なります。例：

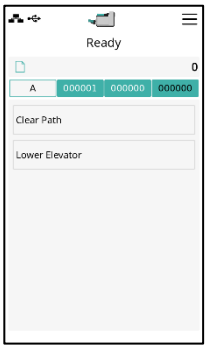


- [シングルページ] または[ベイツスタンプ] が（ドライバで）選択されている場合、以下が表示されます。



- **[マルチページ] が（ドライバで）選択されている場合、以下が表示されます。**
- **[イメージアドレス] が（ドライバで）選択されている場合、以下が表示されます。**

  注記：これらのオプションは、**S5160 および S5180 スキャナーでは利用できません。**



[バッチ] アイコンはバッチが有効の場合にのみ表示されます。あらかじめ定義されたアクションを実行するまでにカウントする原稿数が表示されます

インデクシングが有効な場合、

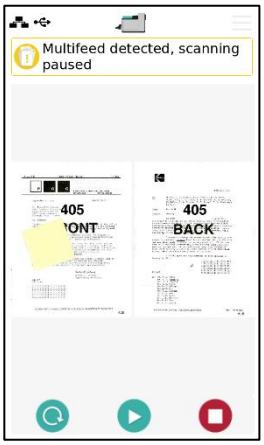
- **3 つのインデクシングレベルボタンがレベル領域に表示されます。[レベル 3]、[レベル 2]、および[レベル 1]です。いずれかのレベルボタンを押すと、インデックスレベルを増やすことができます。**スキャンセッション中**に強調表示されているレベルボタンが、次の原稿のレベルとして割り当てられます。**
- **バッチが有効の場合、[バッチの終了] オプションを利用して手動でバッチを終了できます。**

重送原稿の確認

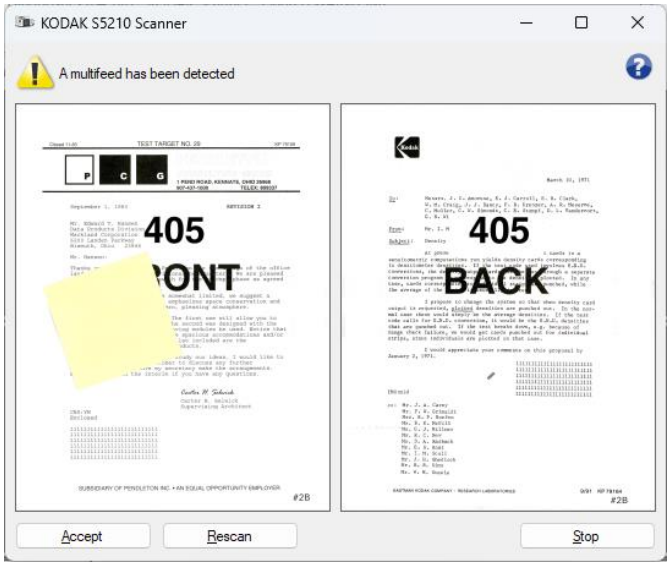
重送が発生し、[重送検知]を有効にしている場合、スキャナーは停止し、以下の画面を表示して表示通りのイメージを許可または再スキャンできます。

[重送検知] が有効で、ドライバで[対話型の重送リカバリ] オプションが選択されている場合、イメージはオペレータコントロールパネルと PC に表示されます。

- **[重送検知] が有効で、ドライバで[スキャン一時停止 - （イメージ生成）] オプションが設定されている場合のみ、イメージはオペレータコントロールパネルに表示されます。**



- **イメージは PC に見やすく表示されます。**



- **表示通りのイメージを許可する場合、[承認] を選択するとスキャナーは引き続きスキャンします。**
- **原稿を再スキャンする場合は、[再スキャン] を選択して入力エレベータに原稿を戻し、原稿を再スキャンします。**

オペレータコントロールパネルの[停止/一時停止] ボタンを押すと、PC に表示されるイメージは無視されてスキャンセッションは終了します。

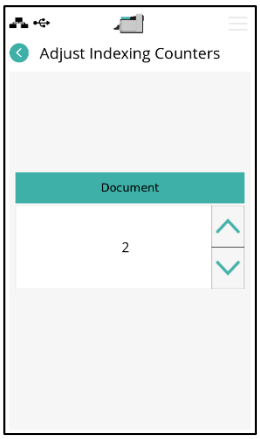
原稿詰まりの対処方法

原稿詰まりの発生時、スキャナーに**[スキャンの停止] または[スキャンの一時停止]を設定できます。**

- **スキャナーに[スキャンの停止] を設定して原稿詰まりが**発生した場合、ス**キャナーは停止します。スキャナーの原稿詰まりを取り除いて、スキャンアプリケーションの[スキャン] ボタンを**押してスキャンを継続できます。
- **スキャナーに[スキャンの一時停止]を設定して原稿詰まりが**発生した場**合、スキャナーは一時停止**状態になります。スキャナーの原稿詰まりを取**り除いて、オペレータコントロールパネルの[スタート/再開] ボタンを**押すことができます。インデクシング、バッチ、印字が有効な場合、スキャナ**ーは一時停止**状態になり、以下の（スキャンアプリケーションのジョブに**設定した内容に**応じた）オプションがオペレータコントロールパネルで利**用できます。**
  - **インデクシングカウンタを調整**
  - **バッチカウンタを調整**
  - **プリンターのカウンタを調整**

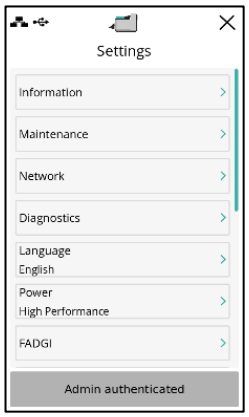
これらの画面が表示されると、オペレータコントロールパネルでカウンタを**調整できます。**

例えば、**インデクシングの場合、スキャンアプリケーションで[シングルページ] を選択して原稿詰まりが**発生した場合、必要に**応**じて上下**矢**印を使用して**インデックスカウントを調整できます。**



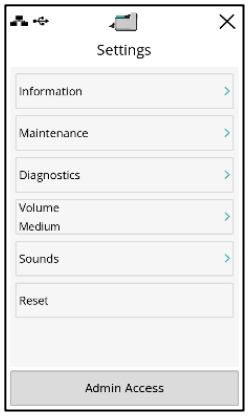
[設定]画面

[設定]画面は、[準備完了]画面の[アクション]ボタンをタッチすることで表示**され、設定頻度の低いスキャナーオプションを表示します。**



管理者認証設定オプション

注記：オプションの下に表示される値が**現**在の設定です。



非認証設定オプション

注記：すべてのユーザーが変更できるのは**星**印のついたオプション（***）のみで、その他**は管理者ユーザーのみが変更できます。

- **情報*** — **スキャナーの操**作情報を表示します。
- **メンテナンス*** — **消耗品のメンテナンスしきい値、クリーニングしきい値、メーター値を表示します。**
- **ネットワーク - 有線**ネットワークアドレス、有線設定、**SSL を使用、共有が表示されます。**
- **診断* - オペレータログ、スキャン履歴、印字テスト、カウントのみ、カウントのみ - 簡易ソート、カウントのみ - パッチソート、カウントのみ - 重**

送、パッチテスト、パッチテスト - ハードウェア、フラットベッドキャリブレーション、および変更を表示します。

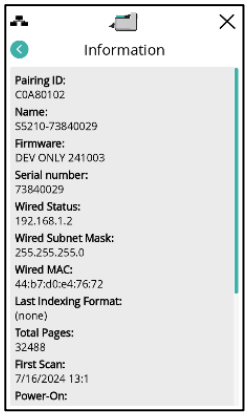
- 言語 - 19 のオプションから OCP 言語を選択できます。
- 電源 - 最小、バランス、高パフォーマンス、カスタム設定オプションから選択できます。
- EasySetup - 構成ドキュメントをスキャンしてスキャナーを設定することができます。
- FADGI — トグルボタンで FADGI スキャンモードの有効/無効を切り替えます。
- エレベータ - トグルボタンで自動エレベータ機能の有効/無効を切り替えます。
- プリンタ - 取り付けている場合、前部プリンタか後部プリンタかを選択できます。
- ユーザカウンタ — 有効にすると、リセットするまで給紙される原稿枚数を全てカウントします。
- 音量* —スキャナーアラームの音量を調整します。
- 音声* — スキャナーが特定の状態になったときにスキャナーから鳴らす音を選択します。
- アプリケーションの優先処理 — 印字、最長サイズ検知、ミスフィードおよびホチキス/金属検知、自動的にスキャンを開始、排紙方法、給紙方法、スキャン後に回転、スキャナー速度、および後部排紙オプションを設定できます。[アプリケーションの優先処理] 画面からアクセスするほとんどの画面にはアプリケーション設定オプションがあります。アプリケーション設定オプションはデフォルトであり、スキャナーではスキャンアプリケーションで規定した通りの設定を使用することを意味します。

  アプリケーションの優先処理に関する詳細については、「*アプリケーションの優先処理*」を参照してください。
- パスワードを変更 - スキャナーのパスワードを更新できます。
- リセット* — すべてのオプションを工場出荷時の設定にリセットします。

情報

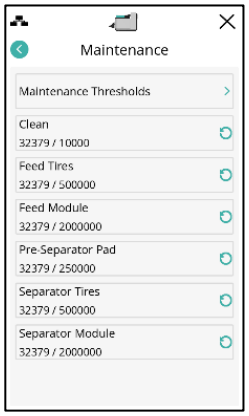
このオプションは、ファームウェアのバージョン番号、スキャナーのシリアル番号、スキャンした原稿の総数、初回スキャン日、フロントランプ、リアラン

プ、搬送、電源オンメーター、ローカルおよび GMT 時間を表示します。イメージアドレッシング機能を持つスキャナーは、イメージアドレスモードと最後のイメージアドレス情報も表示します。



メンテナンス

このオプションを使用すると、消耗品のメンテナンス間隔を追跡し、更新することができます。



メンテナンスメーターの表示

メンテナンス設定を使用してメンテナンスメーター値およびしきい値（消耗品の交換が必要な頻度を示す間隔）の表示または変更、消耗品の交換が必要な場合の監視を行います。



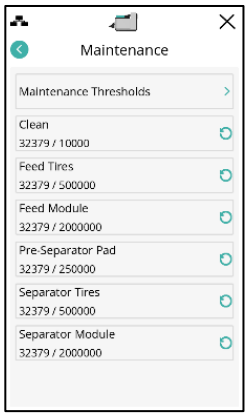
間隔編集ダイアログにアクセスして、メンテナンスしきい値を変更できます。



[メーターをリセット]画面を表示し、消耗品のメーターをリセットできます。例えば、消耗品を交換する場合、このアイコンを選択してメータを 0 にリセットします。

Confidential

1. **[メンテナンス]を選択します。[メンテナンスメーター] 画面が表示されます。**



消耗品のメンテナンスしきい値を変更、または消耗品交換後にメンテナンスメーターをリセットできます。

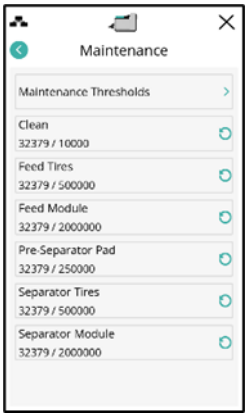
メンテナンスしきい値をリセットする場合：

1. **[メンテナンスしきい値] を選択して [メンテナンスしきい値] 画面を表示します。**
2. **しきい値を変更する消耗品の横の[編集] アイコンを選択します。**
3. **上下の**矢印を使用して値を調整し、**[戻る]ボタンをタッチして前の画面に戻ります。**

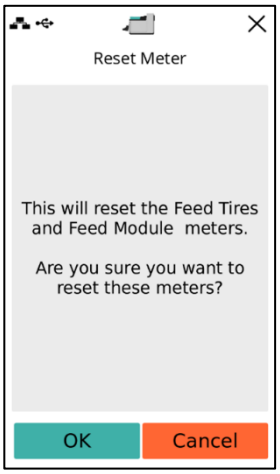
メンテナンスメーターをリセットする場合：

注記：フィードモジュールのカウンタメーターをリセットする**際**、フィー**ドタイヤのメーター**もリセットされます。

1. **値をリセットする消耗品を選択します。**



2. **[メーターをリセット] 画面が表示されます。**



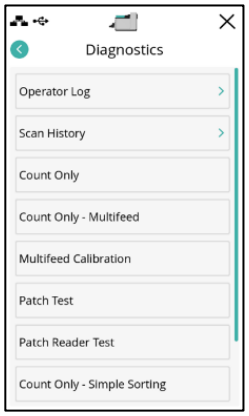
3. **[OK] を選択してメータを 0 にリセットします。**

ネットワーク

このオプションで、イーサネットおよび **SSL 接続の有効化/無効化**、有線ネットワーク機能の更新、単一または複数のコンピュータの共有設定を行うことができます。詳細については、「*スキャナーをオンにする手順*」を参照してください。

診断

このオプションで、オペレータログ、スキャン履歴、ならびに印字テストの実行、カウントのみ、カウントのみ - 簡易ソート、カウントのみ - パッチソート、カウントのみ - 重送、パッチテスト、パッチテスト - ハードウェア、フラットベッドキャリブレーションを表示できます。



オペレータログの表示

[オペレータログ]を選択すると、[オペレータログ]画面が表示されます。この画面には、時刻、メッセージコード、およびメッセージの詳細が表示されます。



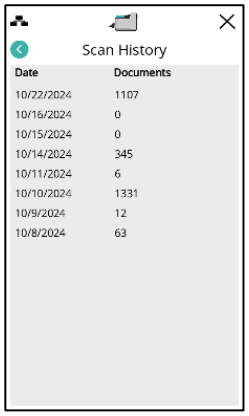
ログに表示されるメッセージは、スキャナーの電源投入後に発生したメッセージのみです。電源を切るか、スキャナーが待機モードまたは省電力モードになると、オペレータコントロールパネルのタッチスクリーンに表示されたオペレータログが消去されます。

オペレータコントロールパネルのタッチスクリーンから消去されたメッセージを表示するには、セクション 9 の「*トラブルシューティング*」を参照してください。

- オペレータログを表示した後、[閉じる]ボタンをタッチして[設定]画面を閉じ、[準備完了]画面に戻ります。

スキャン履歴の表示

1. [スキャン履歴]を選択します。過去 7 日間のスキャンのスキャン履歴が表示されます。



2. 終了する場合、[閉じる]ボタンをタッチして[設定]画面を閉じ、[準備完了]画面に戻ります。

印字テストの実行

印字テストを実行すると、オプションのプリンタのインクジェットが適切に機能しているかを確認できます。

注記：このオプションはプリンタの前部と後部両方に機能します。

1. **[印字テスト]を選択します。[印字テスト]画面が表示されます。**



2. **入力エレベータに**白紙をセットします。
3. **[スタート/再開]ボタンを押**します。出力トレイの原稿をスキャンし、印**字テストの結果**を表示します。
4. **出力トレイから原稿を取り出して、テストパターンの品質を**評価します。
   - **パターンが完全な場合は、スキャンが可能です。**
   - **パターンにムラがある場合は、インクカートリッジが正**しくセットさ**れているか確認し、プリント**ヘッドをクリーニングするかインクカー**トリッジを交換します。**



許容できる



許容できない： パターンにむらがある

注記： **インクカートリッジホルダからプリントヘ**ッドを取り外し、湿らせ**た布**でプリントヘッドを**軽く拭**いてクリーニングします。インクカ**ートリッジの取り外し**や交換の手順は、セクション **4 の**「***印字***」を**参照**してください。

5. **[OCP を一時停止/停止]ボタンをタッチして、[診断]画面に戻ります。**

カウントのみ

スキャンせずに、搬送される原稿の枚数を数えたい場合に、この機能を利用**します。**

1. **[カウントのみ]を選択します。[カウントのみ] 画面が表示されます。**



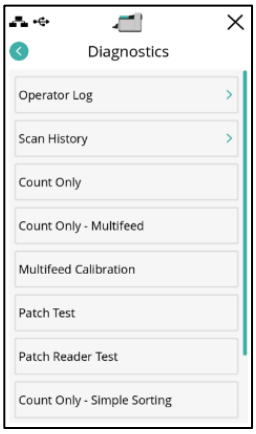
2. **入力エレベータに、数えたい原稿をセットします。**
3. **[スタート/再開]ボタンを押**します。すべての原稿がスキャンされると、**合計**枚数が表示されます。
4. **[一時停止/停止]をタッチして[診断]画面に戻ります。**

注記：

- **[一時停止/停止] ボタンを押**すと、フィーダと搬送路が停止します。**[スタート/再開] ボタンを押**してカウントのみテストを続行できます。
- **カウントのみモードでは、排紙方法はデフォルトで[サイズ混在]に設定されます。**
- **カウントのみモードでは、重送検知は有効にできません。**

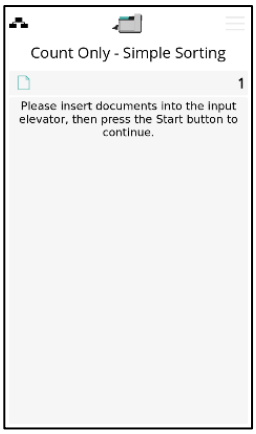
カウントのみ - ソートオプション

カウントのみはソートオプションで実行でき、原稿セットまたはスキャナーの問題の診断に役立ちます。



カウントのみ - 簡易ソート

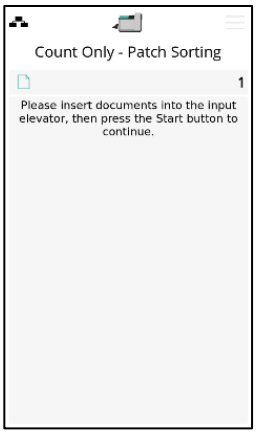
1. **[カウントのみ - 簡易ソート]を選択します。[簡易ソートテスト]画面が表示されます。**



2. **入力エレベータにテスト用の原稿をセットします。**
3. **[スタート/再開]ボタンを**押します。**1 ページ目は上段**トレイ、次のページ**は下段**トレイ、**そ**の次のページは後部トレイに排紙されます。**残**りのページ**も**同様に **3 つのトレイに**引き続き排紙されます。
4. **[一時停止/停止] を**押してスキャンを停止し、**[診断] 画面に戻ります。**

カウントのみ - パッチソート

1. **[カウントのみ - パッチソート]を選択します。[パッチソートテスト]画面が表示されます。**



2. **入力エレベータにテスト用の原稿をセットします。**
3. **[スタート/再開]ボタンを押**します。サポートするパッチコードが**ハードウェアのパッチリーダによ**って読み取られた（表面のみ）ページは、**上段トレイに排紙されます。他**のページはすべて**下段**トレイに排紙されます。
4. **[一時停止/停止] を押**してスキャンを停止し、**[診断] 画面に戻ります。**

カウントのみ - 重送

[カウントのみ - 重送]オプションによりスキャンせずに原稿をカウントできますが、重送を検出するとスキャナーは停止します。

1. **[カウントのみ - 重送]を選択します。[カウントのみテスト]画面が表示されます。**



2. **入力エレベータに、数えたい原稿をセットします。**

3. **[スタート/再開]ボタンを押**します。スキャナーが重送原稿を検出する**と、以下の画面が表示されます。**



4. **[停止] を押**してスキャンを停止し、**[診断] 画面に戻ります。**

パッチテストの実行

パッチテストを使用してカメラのパッチリーダをテストし、パッチシートが検出できることを確認します。

1. **[パッチテスト]を選択します。[パッチテスト]画面が表示されます。**



2. **パッチのある原稿を入力エレベータにセットします。**

3. **[スタート/再開]ボタンを押**します。原稿がスキャンされたら、タッチ画面**にパッチテストの結果**が表示されます。**結果**には、スキャナーが認**識したパッチの枚数とパッチタイプが表示されます。**



4. **[一時停止/停止]をタッチして[診断]画面に戻り、[X]ボタンをタッチして[設定]を**閉じ**[準備完了]画面に戻ります。**

パッチリーダテストの実行

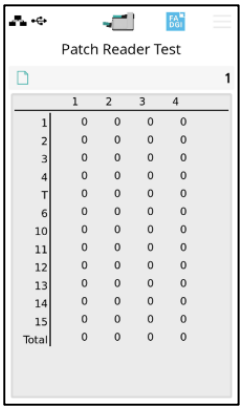
パッチリーダテストを使用してハードウェアのパッチリーダをテストし、パ**ッチシートが検出できる**ことを確認します。

1. **[パッチリーダテスト]を選択します。[パッチテスト]画面が表示されます。**



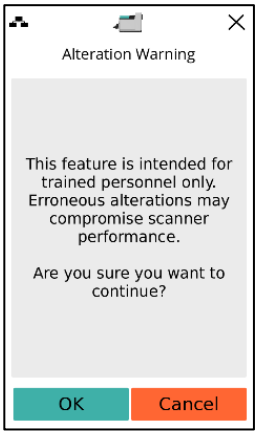
2. **パッチのある原稿を入力エレベータにセットします。**

3. **[スタート/再開]ボタンを押**します。原稿がスキャンされたら、タッチ画面に**パッチテストの結果**が表示されます。**結果**には、スキャナーが認**識**した**パッチの枚数とパッチタイプが表示されます。**



変更

Kodak Alaris テクニカルサポートの指示がある場合のみこのオプションを使**用します。**



言語

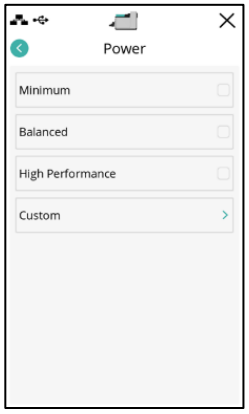
このオプションで **OCP 言語を選択できます。**



Confidential

電源

このオプションは、省電力と電源オフの設定を有効にし、カスタマイズすることができます。



EasySetup

EasySetup バーコード文書をスキャンすることで、スキャナーのネットワーク設定を行うことができます。

1. **[EasySetup]を選択し、**起動画面を表示します。

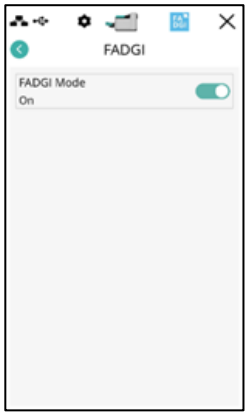


2. **構成ドキュメントをまだお持**ちでない場合は、**EasySetup の Web サイト https**://easysetup.kodakalaris.com **にアクセスして作成できます。[次へ]を押**します。
3. **EasySetup 構成ドキュメントをスキャナーの入力トレイに置き、[次へ]を押**します。設定後、ドキュメントがスキャンされます。

4. **セットアップが進むにつれて、設定中、スキャン中、処理中の画面が順番に表示されます。**
5. **「EasySetup の設定に成功しました」というメッセージが表示されたら、[次へ]をクリックします。**
6. **[戻る]ボタンを選択して[設定] 画面に戻ります。または[閉じる]ボタンを選択し、変更内容を保存せずに[設定]画面に戻ります。**

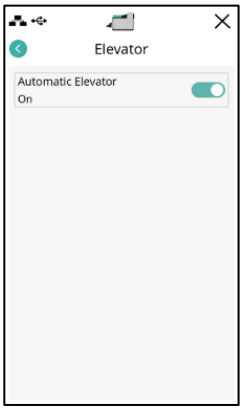
FADGI

このオプションで、**FADGI スキャンを有効または無効にできます。詳細については、「S5000 シリーズ FADGI 補足ユーザーズガイド」を参照してください。**



自動エレベータ

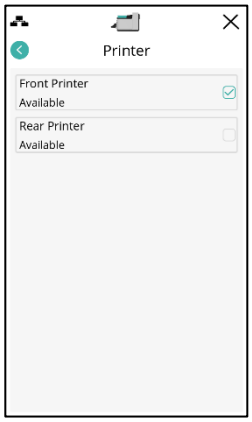
このオプションを**有効にすると、空**の入力エレベータに原稿をセットしたと**きに入力エレベータが自動的に給**紙位置まで上がります。



プリンタ

このオプションにより、スキャナーにインストールされているオプションに**応じて、前部プリンタまたは後部プリンタのいずれかを選択する**ことができます。

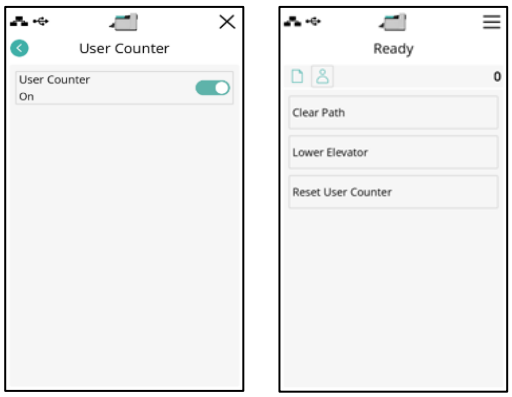
Confidential



ユーザカウンタ

このオプションは制御可能なカウンタを有効にします。一旦有効にすると、カウンタは 0 になり、用紙 1 枚毎にカウントアップします。カウンタはいつでもリセットできます。

ユーザーカウンタが有効に設定されている場合、[ユーザーカウンタ]アイコン がカウンタコントロールに表示され、[ユーザーカウンタをリセット]オプションが[準備完了]画面で利用できます。



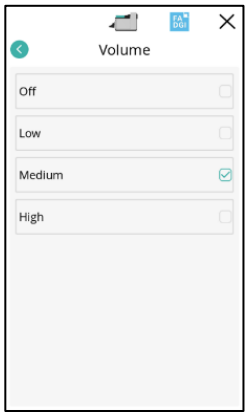
- **[ユーザーカウンタをリセット]を選択すると、ユーザーカウンタが 0 にリセットされます。カウンタを切り替えるには、関連するカウンタのアイコンを押**して、そのカウンタの値を表示します。デフォルトで原稿カウンタ**が常**に表示されています。

ユーザーカウンタが無効に設定されている場合、[ユーザーカウンタをリセット]オプションは[準備完了]画面と[スキャン中]画面で利用できません。ステータス領域に表示されるのは原稿カウンタ値のみです。

アラーム音量の変更

[音量]画面でスキャナーの音量を調整できます。音量は、大（最も大きい）から**小（最**も小さい)、または**オフ（サウンドなし）に設定できます。デフォルトは中です。**

1. **[設定] 画面の[音量]を選択すると、[音量]画面が表示されます。**

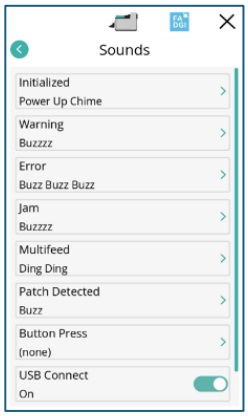


2. **最適**な音量を選択します。オプションを選択すると、トーンが**鳴**ります。
3. **[戻る]ボタンを選択して[設定] 画面に戻ります。次に**[閉じる]**ボタンを選択し、[準備完了]画面に戻ります。**

音声の選択

紙詰まりや重送など、スキャナーの**状態**に**応**じて**鳴**らす音声を選択できます。

1. **[音声]を選択して、[音声]画面を表示します。**



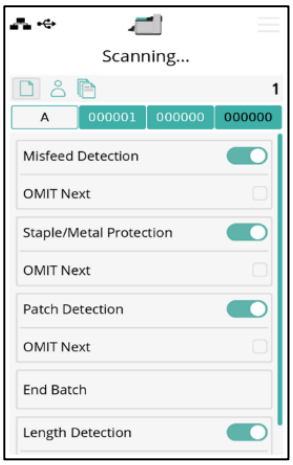
2. **トーンを**鳴らすイベントを選択します（警告、エラーな**ど**）。イベントを**選択すると、音声のリストが表示され、ここ**から**適**切な音声を選択します。
3. **選択したイベントが発**生した時に**鳴**らす音声を選択します。オプションを**選択すると、トーンが**鳴ります。
4. **他**のイベントで**鳴**らす音声を設定する場合は、**[音声]画面に戻っ**てステップ **2 と 3 を**繰り返します。
5. **[戻る]ボタンを選択して[設定] 画面に戻ります。次に**[閉じる]**ボタンを選択し、[準備完了]画面に戻ります。**

優先処理

スキャン中に実行される優先処理には 2 種類あります。

- **ジョブの優先処理：**これらの優先処理は、オペレーターコントロールパネルからトグルボタンを使用してアクティブスキャン中に実行され、印字、最長サイズ検知（デフォルトは*有効*）、ミスフィード検出（重送と IDP の両方）、およびホチキス/金属防護が含まれます。

ジョブの優先処理機能は、次を*スキップトグル*も有効になっている場合にのみ、次の原稿に対して無効にすることができます。

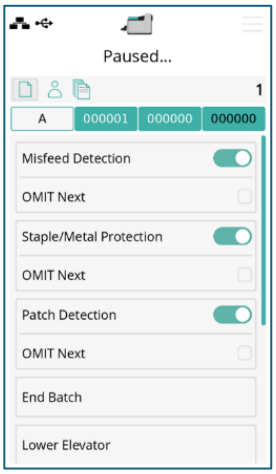


- **一時停止中のジョブの優先処理：**これらの優先処理は、オペレータコントロールパネルの[一時停止/停止]ボタンを押すことで実行され、現在のバッチ文書に対してのみ有効です。優先処理オプションにより、排紙方法と後部排紙機能のみスキャンジョブの設定を優先処理することができます。

  スキャンジョブの開始時に[設定]画面にアクセスするには、スキャンアプリ ケーションの[自動的にスキャンを開始]設定を無効にする必要があります。「*原稿のスキャン*」を参照してください。

優先処理の使用方法：

1. **[一時停止]画面から、優先処理したい設定を表示します。**



注記：OCP を上下にスクロールすると、すべてのオプションが表示されます。

2. **優先処理したいオプションをタッチし、[戻る]ボタンをタッチして[一時停止]画面に戻り、[スタート/再開]ボタンをタッチしてスキャンを続行します。**

- **アプリケーションの優先処理：**これらは設定オプションで変更できます。**アプリケーションの優先処理は変更するまで持続します。利用可能なアプリケーションの優先処理は、印字（プリンタがインストールされている場合）、最長サイズ検知、ミスフィード検出、ホチキス/金属防護、自動的にスキャンを開始、排紙方法、スキャン方法、スキャン後に回転、速度、後部排紙です。詳細については、「*アプリケーションの優先処理*」**を参照してください。

アプリケーションの優先処理

アプリケーションの優先処理により、スキャナーの設定をすばやく更新できます。

注記：アプリケーションの優先処理が設定されている場合、優先処理は再び変**更するまで有効です。**

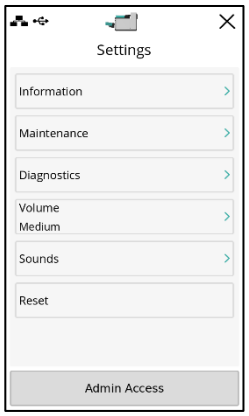
アプリケーションの優先処理オプションにアクセスするには以下のようにします。

Confidential

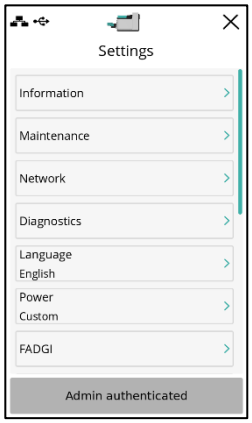
1. **[準備完了]画面の[アクション]ボタンを**押します。



2. **[設定] 画面が表示されます。**



3. **すべてのアプリケーションの優先処理にアクセスするには、管理者認証が必要です。**



4. **変更するオプションを選択します。**

5. **選択した優先処理を有効または無効にし、[戻る]ボタンをタッチして[設定]画面に戻ります。アプリケーションの優先処理オプションの説明は以下のセクションを**参照してください。

6. **[設定]画面の[閉じる]ボタンをタッチして[準備完了]画面に戻ります。**

印字

スキャンアプリケーションで印字または電子アノテーションを有効にしている**場合、現**在のスキャンジョブの原稿に対して一時的に無効にできます。すでに**印字された原稿を再スキャンする際に便**利です。

[印字] を一旦無効にすると、**[印字]オプションが有効になるまで原稿は印字（または画像のアノテーション）されません。**

最長サイズ検知

このオプションでは、スキャンジョブのスキャンアプリケーションで設定し**た最長サイズ検知に対して優先処理を実行します。最長サイズ検知は可変で、出力解像度や**フォーマット**など各種**の要**因**によ**って異**なります。

以下の表は圧縮出力での**両**面スキャンを前**提**にしたガイドラインです。

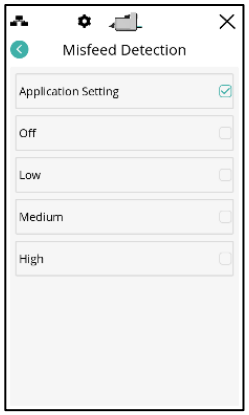
解像度（DPI）	出力モデル	最長サイズ検知（インチ）	
		圧縮	*非圧縮*
200未満	白黒	400	400
	グレースケール	320	400
	カラー	320	400
300	白黒	400	400
	グレースケール	214	400
	カラー	214	400
400	白黒	400	400
	グレースケール	160	400
	カラー	160	198
600	白黒	338	338
	グレースケール	107	338
	カラー	107	110

注記：

- **必要以上に最長サイズ検知を長く設定すると、処理速度が低下する場合があります。**
- **最長サイズ検知よりも**長い原稿を**給**紙すると、紙詰まりエラーになります。

ミスフィード検出

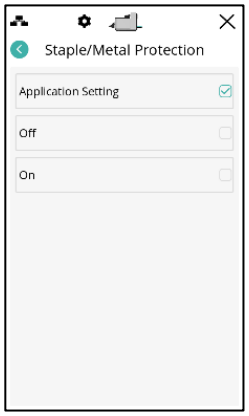
このオプションではスキャナーの**複**数の重送検知機能が**併**用され、**これには重送検知感**度、スキャナーに**正**しく入っていない原稿を、スキャナーが**どの程度積極**的に検出するかを決定するインテリジェントドキュメントプロテクション**など**があります。



[低]、[中]、[高]のいずれかを選択すると、重送検知は対話型の重送アクション**ととも**に有効になり、中央の **3 つのセンサが起**動します。またインテリジェント**ドキュメントプロテクション機能**も有効になります。

ホチキス/金属防護

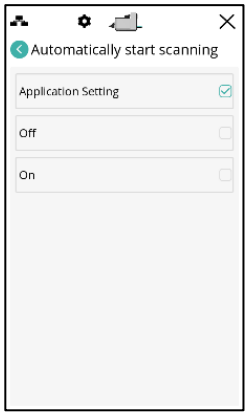
このオプションを**有効にすると、スキャナーは原稿にホチキス、ペーパークリップなど**があるか検知します。**これ**により原稿とスキャナーの**損傷**を防**ぎます。スキャナーが原稿で金属を検知すると、スキャナーは停止し、原稿から金属を取り除いてスキャンを継**続できます。



自動的にスキャンを開始

このオプションでは **TWAIN データソース、ISIS ドライバで設定した[オートスタート] オプションに対して優先処理を実行します。詳細については、*TWAIN の『スキャンセットアップガイド』*を参照**してください。

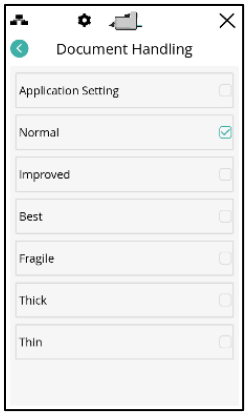
このオプションが**無効の場合、スキャナーは一時停止モードになりますが、オペレータコントロールパネルの[スタート/再開] ボタンを**押すとスキャンを**開始できます。**



排紙方法

排紙方法では、スキャナーによる原稿の排紙方法を選択できます。これによ**り、原稿をスキャナーにフィードする方法、スキャナーに通**す速度、および**出力トレイに配**置する方法に**影響**が及**びます。

この画面に表示されるオプションは、**現**在のスキャンジョブに対してスキャン**アプリケーションで設定された内容によ**って**異**なります。オプションは、**[標準]、[サイズ混在]、[サイズ混在： ベスト]、[厚紙]、[薄紙]、[デリケート]です。**



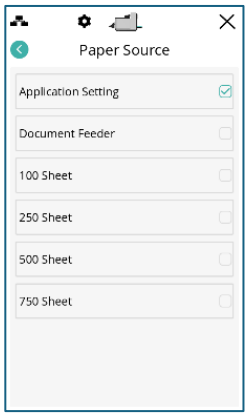
- **標準 - 追加**処理はありません。**こ**のオプションは、すべての原稿のサイズが**ほぼ**同じ場合に**適**しています。標準モードでスキャンする場合は、サイド**ガイドと原稿ストッパーの使用をお**勧めします。

Confidential

- **サイズ混在 - サイズが混在する原稿セット用の出力トレイで、ドキュメントを積み重ねる／並べる方法を制御するのに役立ちます。これは、一般的なサイズ混在原稿のセットに使用します。**
- **サイズ混在： ベスト — 原稿にさまざまなサイズがある場合、このオプションにより、出力トレイで原稿を最適にスタックする/並べることが制御できます。**
- **厚紙 — 厚い原稿をスキャンする場合に選択します。**
- **薄紙 — 薄め**の原稿をスキャンする場合に選択します。
- **デリケート — 遅**いペースで搬送路に**給**紙する**こ**とで、**脆**くなった原稿の**給紙が可能になります。非常**に品質の低い原稿を**給**紙する場合に**こ**のオプション**を選択します。**

スキャン方法

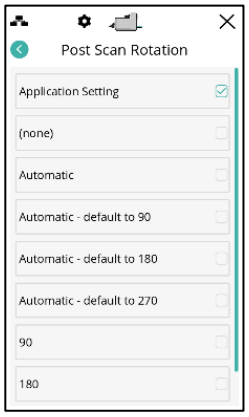
スキャン方法オプションにより入力エレベータの高さに対して優先処理を実行できます。



- **ドキュメントフィーダ - 入力エレベータは一番**高い位置にあります。
- **100 枚**
- **250 枚**
- **500 枚**
- **750 枚**

スキャン後に回転

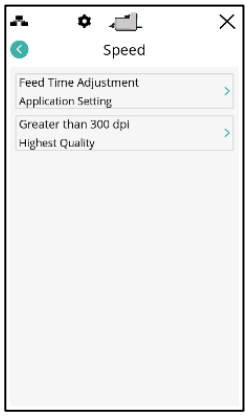
スキャン後に回転オプションにより電子イメージのスキャン後にイメージに**適用される回転オプションを選択できます。**



- **（なし）**
- **自動**
- **自動 - デフォルト値 90 度**
- **自動 - デフォルト値 180 度**
- **自動 - デフォルト値 270 度**
- **90 度、180 度、または 270 度**

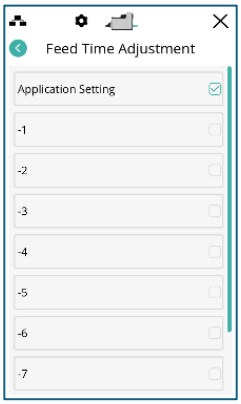
速度

速度オプションにはスキャンするページの速度を制御するオプションのメニューが表示されます。



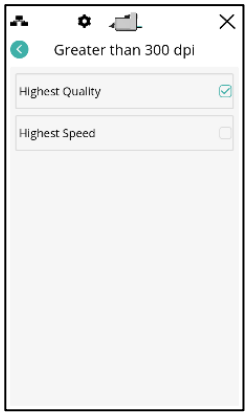
- **フィード調整 - こ**のオプションではスキャナーの処理速度を調整して**好**みの**スキャンペースに合わせるこ**とができます。

Confidential



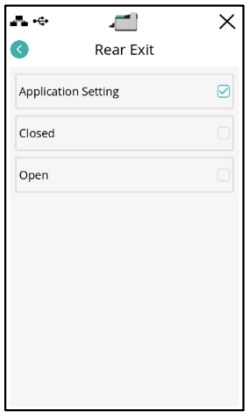
- **-1 から-9（最も遅い）**を選択してスキャナーに給紙するページの速度**を調整します。**

- **300dpi 以上 ― 以下のオプションの 1 つを選択できます。**
  - **最高品質：スキャナーの動作速度は**遅くなりますが、出力解像度は**400、500、600dpi で、600dpi の最高品質の画像を生成する**ことが**できます。**
  - **最高速度：スキャナーの動作速度は速くなりますが、400、500、または 600 の出力解像度にアップスケール可能な高品質の 300 dpi 画像を生成します。**



後部排紙口

特別な処理を必要とする原稿（**破損しや**すい原稿、梱包**材料など**）がある場**合に**このオプションを使用します。**こう**したタイプの原稿のスキャン時に、**後部排紙口により原稿が搬送路を容易に通過**するストレートパス搬送が可能**になります。**このオプションを使用する場合、チェックボックスを選択して後**部排紙口を開きます。タッチ画面に後部排紙口が[開]であるこ**とが示されま**す。**

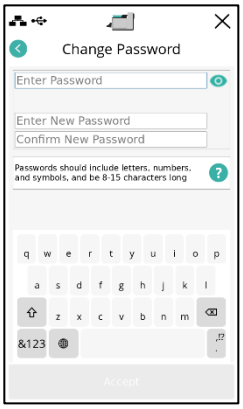


パスワードを変更

この設定により、文字が以下の条件を満たしたときにパスワードを更新することができます。

- **以下の 5 つのカテゴリのうち 3 つを使用して 8 文字以上：**
  - **大文字 A～Z（ギリシャ文字、キリル文字を含む）**
  - **小文字 a～z（ギリシャ文字、キリル文字を含む）**
  - **0～9 の数字**
  - **特殊**文字：‘-!"#$%&()*,./:;?@[]^_`{|}~+<=>
  - その他の **Unicode アルファベット文字（アジアの言語を含む）。**

新しいパスワードを入力したら、[戻る]ボタンを選択して[設定]画面に戻ります。



すべての設定をリセット

選択すると、スキャナーのすべての設定を出荷時状態にリセットします。[リセットの確認]画面が表示されます。



- **[OK]を選択すると、設定をエ**場出**荷**時の設定にリセットします。
- **[OK]を押**した後、スキャナー設定を行**う**ため**に**セットアップが実行されま**す。**

4 印字

この章では、オプションの **Kodak プリンタアクセサリの使用について説明します。**このプリンタオプションを使用するには、***Kodak* プリンタアクセサリ**を購入し、インストールする必要があります。プリンタアクセサリに付属して**いる説明書**を読んで、**このアクセサリのインストール手順を確認してください。**

スキャンしたすべてのページの表面と裏面に印字できます。ポストスキャンま**たは裏**面印字は、ページがイメージングされてから行います。スキャン前に表**面で印字されるため**、スキャンイメージに印字内容が**反映**されます。前部プリ**ンタと後部プリンタの両**方がインストールされている場合で**も**、一度に使用**できるプリンタは 1 台（前部または後部）のみです。**

拡張プリンタは、スキャナーの最高速度で動作します。プリンタは、日付、時**刻**、ドキュメント順次カウンタ、固定文字**列**を**追加**する**こと**ができます。

印字文字列はバッチ名、オペレータな**ど**、**ど**の原稿に対して**も**同じになる固定**情報とドキュメント順次カウンタなど**、スキャンするページ**ご**とに**異**なる可**変情報の両**方を**組**み合わせて設定できます。

印字の有効化および印字文字**列**の設定の詳細については、オンライン（**https**://www.kodakalaris.com/scanners）**で入手可能な *TWAIN データソースの『スキャンセットアップガイド』*、またはご**使用のスキャンアプリケーションのマニュアルを参照**してください。

注記：

- **スキャンセッションを開始する前に印字を有効にして、インクカートリッジを取り付けておく必要があります。**
- **プリンタの使用時には、スキャナーの搬送路を毎**日クリーニングしてくだ**さい。**
- **前部プリンタと後部プリンタの両**方が取り付けられている場合は、**OCP 設定から使用するプリンタを選択してください。**
- **印字が有効にな**っているジョブセットアップでスキャンを**試**み、プリンタ**アクセサリまたはジョブセットアップで指**定されたプリンタが取り付けら

れていない場合、システムは取り付けられているプリンタを基準にします。

- このセクションの図は S5160 スキャナーを表します。特に指示のない限り、プリンタのすべての調節は 5160、S5180、S5210 スキャナーに対しても同じです。
- *Kodak* S5000 シリーズスキャナーはデジタル印刷機能も備えており、追加購入は必要ありません。デジタル印刷機能は物理印刷と同じオプションすべてを備えていますが、実際の書類に印字せず、情報はイメージファイルへ反映されます。デジタル印刷に関する詳細については、「ISIS ドライバ」を参照してください。

プリンタの仕様

以下の仕様の詳細については、*TWAIN データソースの『スキャンセットアップガイド』*を参照してください。

特性	説明
最大行数	**1**
最大文字数	**40 文字（スペースを含む）**
印字位置（横方向）	**表面は39まで手動設定、裏面は24まで手動設定**
印字位置（垂直方向）	**スキャンアプリケーションで設定。**
印字方向	**0度、90度、180度、および270度**
フォントスタイル	**標準、太字、極太、デジタルプリンタ用フォント** = Roboto **Slab、物理プリンタ用フォント** = **固有** **注記**：半角カナなど、太字フォントがサポートされていない場合もあります。
フォントサイズ	**最小（-5）～最大（+5）の範囲**
印字面	**表面（スキャン前）、** 裏面（スキャン後）
原稿の先端からの最小印字開始位置	**0.64 cm**
インクカートリッジ	黒：**HP-C6602A** 赤：**HP-C6602R** 緑：**HP-C6602G** 青：**HP-C6602B**
インクカートリッジ1個あたりの印字可能文字数	**1**,500,000～**2**,000,000（**使用するフォントサイズ等**に依存）。
使用可能な固定文字フィールド	**スキャンアプリケーションを使用したユーザー**指定のメッセージ。
使用可能な可変フィールド	**時間フォーマット5種類** **日付フォーマット9種類** **連続カウンタ1種類**：最大**9桁**

	S5160：インデックスカウンタ2種類 **S5180：インデックスカウンタ3種類**
サポートされる言語	**すべての表音言語に対応**します。**例**：オランダ**語、英**語、フランス語、ドイツ語、イタリア**語、ポルトガル語、スペイン語、日本語**（半角カナ）。

インクカートリッジの取り付け/交換

プリンタを使用する前に、インクカートリッジを取り付けてください。注文情報については、サポート Web サイトで入手可能な「消耗品カタログ」を参照してください。

取り付け後、以下の状況が**発**生した場合は、インクカートリッジを交換する**必要があります。**

- **印字が薄か**ったり、濃度が**不均**一な場合
- **文字が欠落**している場合
- **印字テストで印字品質が不均**一の場合
- **クリーニングを実施**しても印字品質が向上しない場合

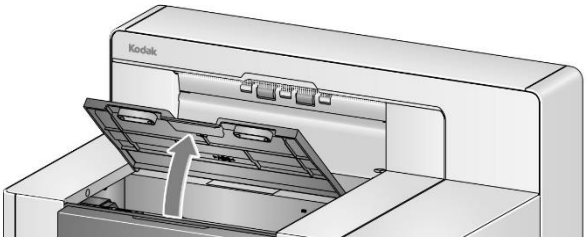
重要： ***国/地域の規定に準拠したプリンタ消耗品のリサイクルや、空のインクカートリッジの廃棄***については、***Hewlett-Packard のWeb サイトを参照***してください。

前部プリンタへのアクセス

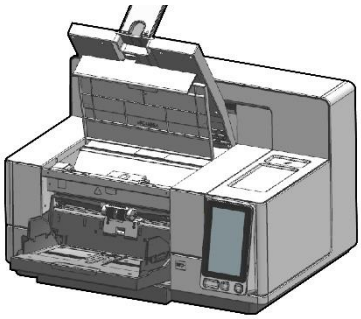
1. **出力トレイを取り外し、プリンタアクセスカバーを開けます。**



次のページの*カートリッジの取り付け*に進んでください。

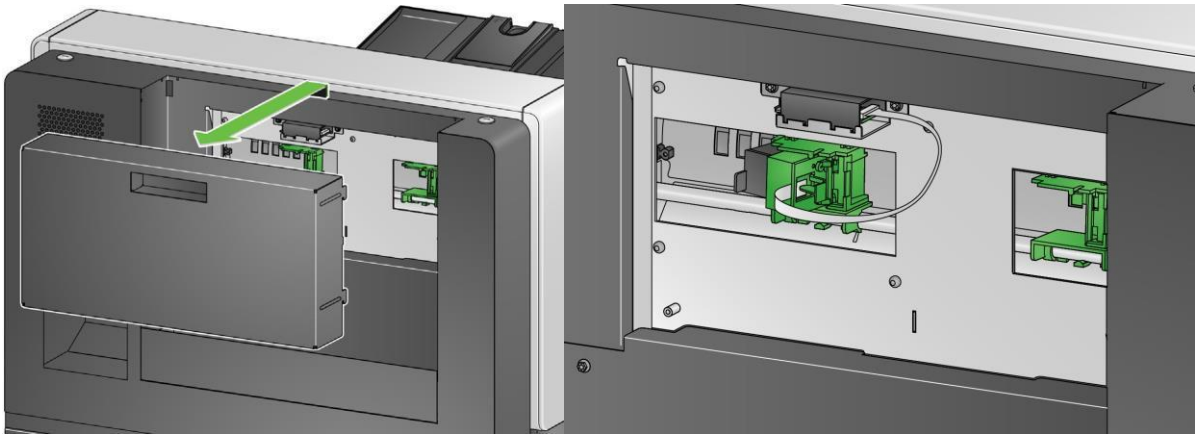


注記： **出力トレイを取り外さない場合は、出力トレイの前面部を持**ち上げ**てから、プリンタアクセスカバーを高さ調節タブの*後ろ*に来るように持**ち上げます。



後部プリンタへのアクセス (S5210)

1. **出荷**用ネジが外されていない場合、ネジを外します。
2. **後部アクセスプリンタドアを所定の位置から持**ち上げて取り外します。

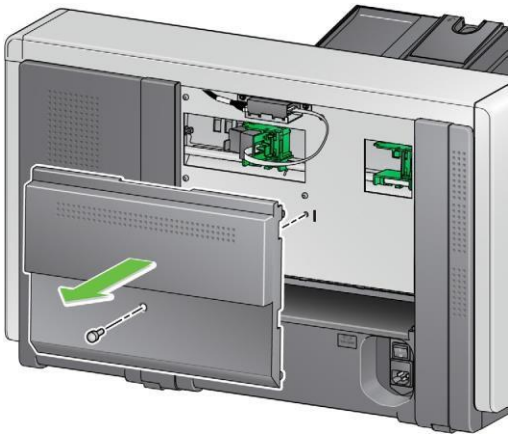


3. **カートリッジの取り付け**に進みます。

後部プリンタへのアクセス (S5160/S5180)

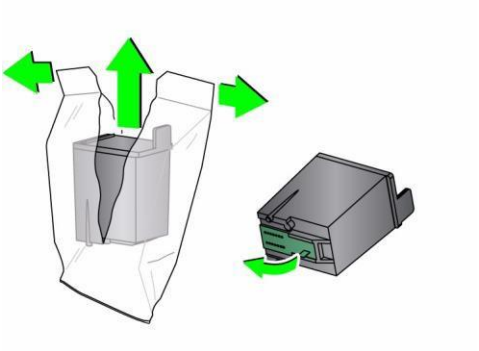
S5000 の卓上スキャナーモデルの場合：

1. **出荷**用ネジが外されていない場合、ネジを外します。
2. **後部アクセスプリンタドアを所定の位置から持**ち上げて取り外します。

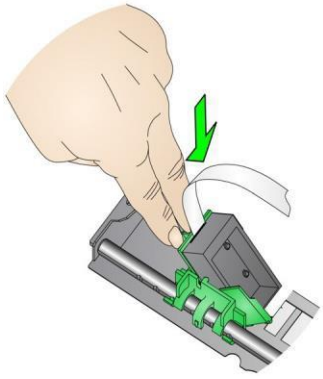


インク カートリッジの取り付け

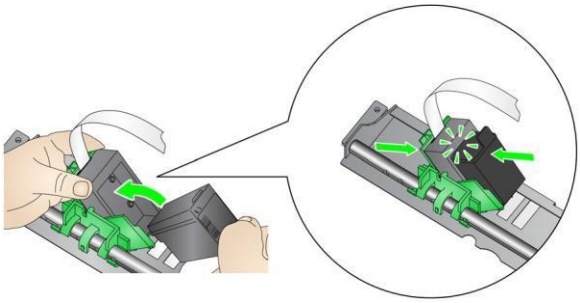
1. **インクカートリッジのパッケージを開き、新しいインクカートリッジからシールをはがします。**



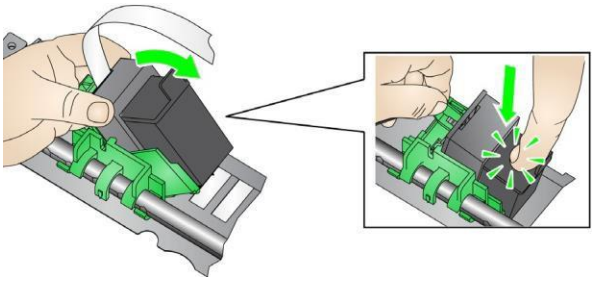
2. **インクカートリッジホルダを押**し下げて、インクカートリッジホルダを**若干倒**します。



3. 図の様にインクカートリッジをインクカートリッジホルダに挿入します。



4. **インクカートリッジホルダを起こして、適切な位置にはめ込みます。**



5. **インクカートリッジホルダを適切な位置にスライドさせます。***「印字位置の変更」*を参照してください。

6. **プリンタアクセスカバーを閉めて、出力トレイを取り付けます。後部プリンタを使用している場合は、後部アクセスプリンタドアを取り付けます。**

7. **印字テストを実行します（**「*印字テストの実行*」を参照）。

印字位置の変更

水平方向の印字位置は手動で変更する必要があります。

注記：上記の指示は前部および後部プリンタで同じです。図は前部プリンタです。

1. **出力トレイを取り外します（前部プリンタのみ）。**

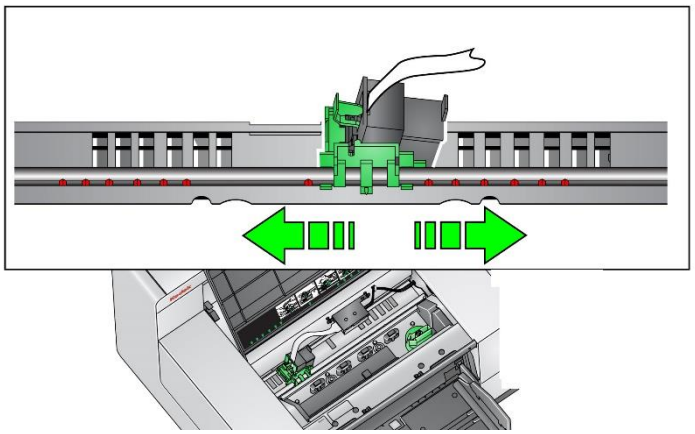
2. **プリンタアクセスカバーを開けます。**

注記：

- 水平方向の印字位置は、プリンタレール上の小さなつめで確認できます。**前部プリンタには 39 か所の印字位置があり、後部プリンタには 24 か所の印字位置があります。**
- **情報がすべて印字されていなくても、印字は原稿の後端から約 1.27cm のところで自動的に停止します。**

3. **インクカートリッジホルダを所定の印字位置にスライドさせ、インクカートリッジホルダの溝を適切な印字位置に揃うようにします。**

注記：前部プリンタ： 入力エレベータ先端の印字位置インジケータを見て、水平方向の印字位置を確認できます。



注記：後部プリンタ： 印字位置はプリンタレールの下部に位置しているため、見えにくくなっています。

4. **前部プリンタアクセスカバーを閉め、出力トレイを取り付けるか、後部プリンタアクセスドアを取り付けます。**

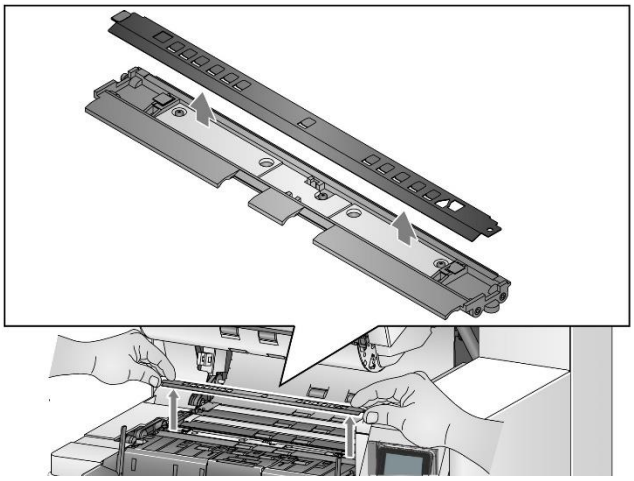
インクブロッタストリップの取り付け/交換（前部プリンタのみ）

スキャナーの搬送路に 3 ヶ所のインクブロッタストリップがあり、プリンタからあふれたインクを吸収できるようになっています。ストリップは、プリンタ取り付け時にインクブロッタチャネルに付けられています。取り付けられていない場合は、次の手順を実行して、このストリップを取り付けてください。

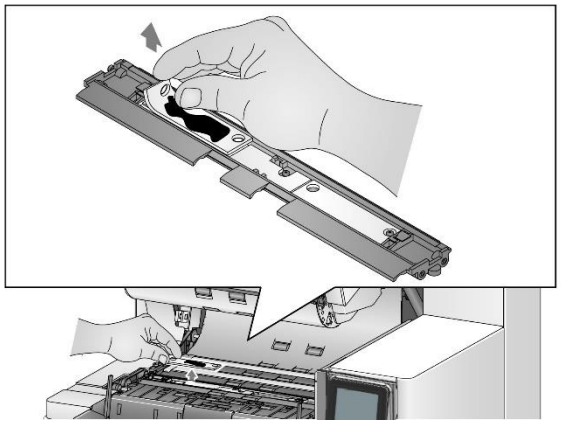
ブロッタからあふれたインクを吸収したストリップは交換してください。プリンタの位置によっては、同時にすべてのストリップを交換する必要はありません。追加のインクブロッタストリップを注文するには、サポート Web サイトで入手可能な「消耗品カタログ**」を参照してください。**

注記：インクブロッタは後部プリンタには必要ありません。

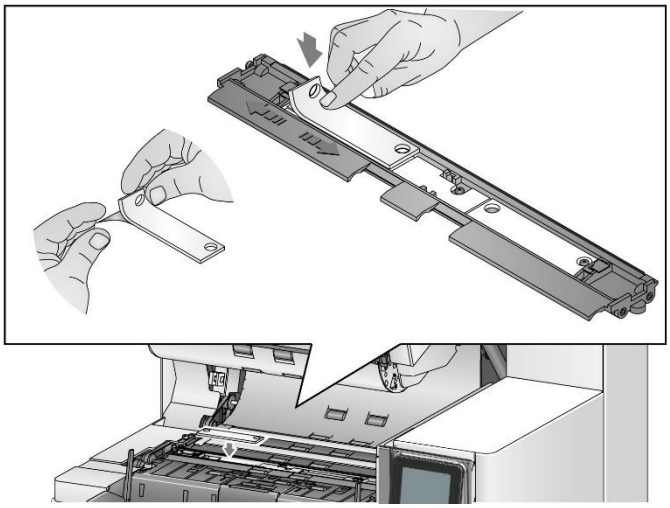
1. **スキャナーカバーリリースラッチを手前に**引いて、スキャナーカバーを解**除して持ち**上げます。
2. **インクで汚**れたストリップを搬送路から**剥**がします。



3. **ブロッタストリップチャネルを確認します。**これらのチャネルでブロッタ**ストリップを取り付けまたは交換します。**
4. **ブロッタストリップを交換する場合は、ステップ 5 に進**みます。ブロッタ**ストリップを初め**て取り付ける場合は、ステップ **6 に進**みます。
5. **交換が必要なブロッタストリップを確認し、チャネルから慎**重に**剥**がし**ます。地**域の規定に**従っ**て、使用**済**みのストリップを**廃棄**してください。



6. **新しいブロッタストリップの台紙をはがします。**
7. **チャネルにブロッタストリップを並**べます。



注記：ブロッタストリップを**正**しく**並**べないと、紙詰まりの原**因**になります。

8. **ブロッタストリップの糊**の付いている面をチャネル内にし**っ**かりと**押**しつ**けます。**
9. **別**のストリップ**も**交換する必要がある場合は、ステップ **5～8 を繰**り返し**ます。**
10. **汚**れたストリップを交換します。
11. **スキャナーカバーを閉**めます。

5 FADGI スキャン

FADGI（連邦機関デジタルガイドラインイニシアチブ）スキャン

KODAK **S5000 シリーズスキャナーは、3 つ星の FADGI 2023 ガイドライン文書**（非製本）：一般的なコレクション***と MTR 基準に準拠**しています。

FADGI の詳細については、以下を参照してください。

https://www.digitizationguidelines.gov/

重要：*S5160、S5180、S5210 モデルのスキャナーは、ADF を使ってスキャンする場合のみ **FADGI に準拠**します。*統合フラットベッドから生成された**画像は準拠**しません。*

FADGI スキャンを行う方法について詳しくは、以下の **FADGI スキャン補足ガイドを参照**してください。

https://www.kodakalaris.com/scanners

Confidential

6 ソートとスタッキング

出力トレイの調整

この章では、ソートオプションに出力トレイを使用するための情報を提供します。

スキャナーの出力トレイは最大 17 インチまでの原稿のスキャン/ソートの必要に応じるよう調整できます。調整またはメンテナンスにはトレイを取り外して再び取り付ける必要がある場合があります。

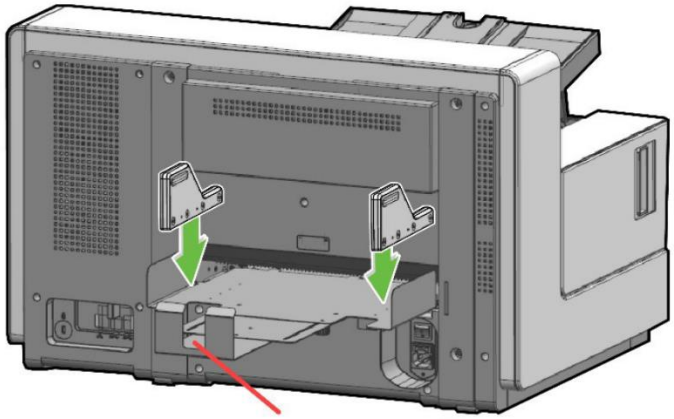
特別に識別される（ソート/スタックされる）原稿は例外原稿と呼ばれます。TWAIN データソース、ISIS ドライバまたはスキャンアプリケーションには、ソート/スタッキングオプションを使用し、通常の出力トレイ（トレイ 1）または後部排紙トレイに例外原稿をソートできるようにすることで原稿の出力方法（例えばサイズ、パッチシート、重送を基準）を変更する設定があります。詳細については、スキャンセットアップガイドかオンラインヘルプを確認してください。

- **トレイ 1：原稿がスキャナーから排出されるデフォルトの位置です。**この場所は出力トレイで最大数の原稿を許容します。例外原稿または非例外原稿のいずれにも使用できます。スキャンされる原稿のほとんどが例外原稿が場合、例外用トレイにトレイ 1 を選択してください。スキャンアプリケーションで原稿のソート/スタッキングオプションを選択していない場合、原稿はこのトレイに出力されます。このトレイを取り外す、または調整する必要がある場合は、「*出力トレイの調整*」を参照してください。



トレイ 1

- **後部排紙トレイ：スキャナーの後部にあります。**

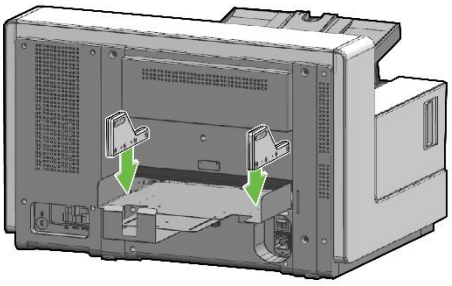


後部排紙トレイ

後部排紙トレイのサイドガイドの調整

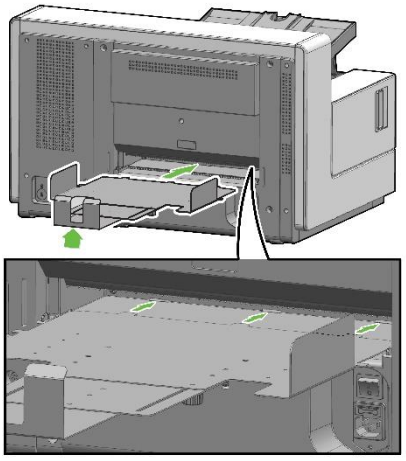
サイドガイドを使用すると、原稿は出力トレイでより適切にスタックされる**よう**になります。原稿を最**適**にスタックする**よう**にするには、サイドガイドの**位置変更が必要になる場合があります。**

すべてのモデルの後部排紙トレイ用サイドガイドには磁石があるので、ガイド**を左右にスライドさせて原稿のサイズに調整できます。**



後部排紙トレイの取り外し

後部排紙トレイを取り外す必要がある場合、トレイを少し上に**傾**け、持**ち**上**げてスキャナーから外します。**



ダングラーの使用方法

スキャナーにはサイズの異なる 3 種類のダングラーが付属し、スキャンする原稿セットに応じて簡単に交換できます。

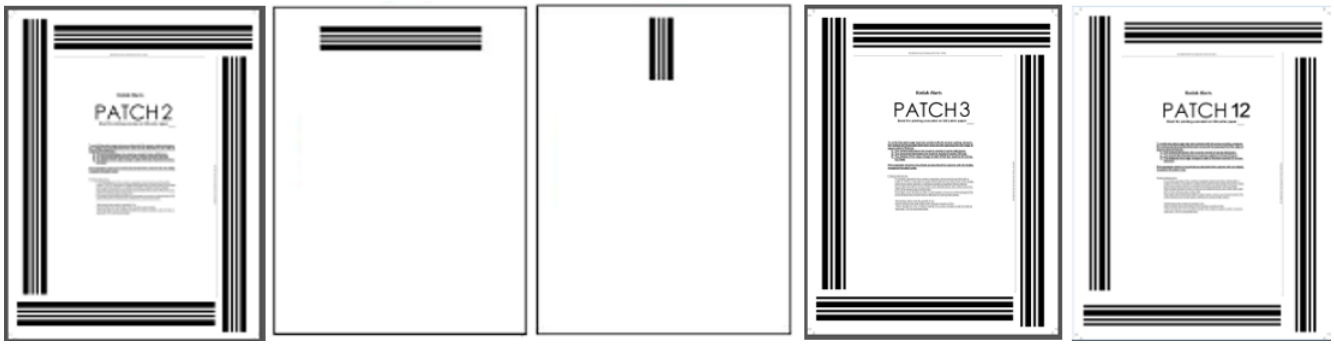
必要に応じ、ダングラーをスキャナー上部に取り付けます。（ダングラーは下段トレイと後部排紙トレイにも取り付けられます。）ダングラーは出力トレイに積み重なる原稿を合わせるのに役立ちます。スキャンする原稿セットに応じ、最適なサイズのダングラーを取り付けます。ダングラーをお好みの長さにカットすることもできます。



7 パッチ読み込み

パッチページとは

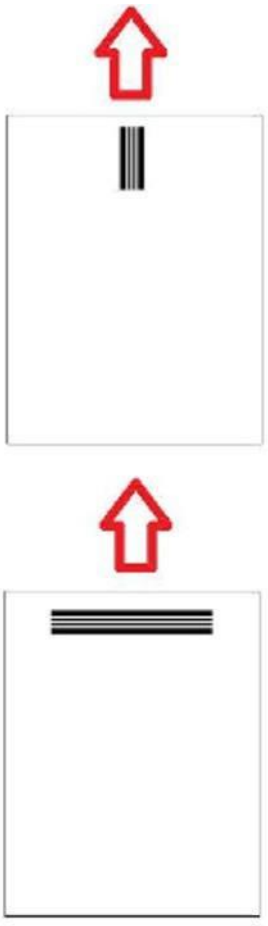
パッチページにはスキャン時に通常原稿区切りとして使用するパッチコードが**含まれます。パッチコードは、黒**いバーとスペースが交互に**並んだ平**行パターンであり、**原稿に印刷されます。スキャンすると、パッチページからスキャナーまたはスキャンアプリケーションに**それぞれの機能を作動させるよう**指示されます。パッチページにはさまざ**まなパターンのバーとフォーマットがあります。**



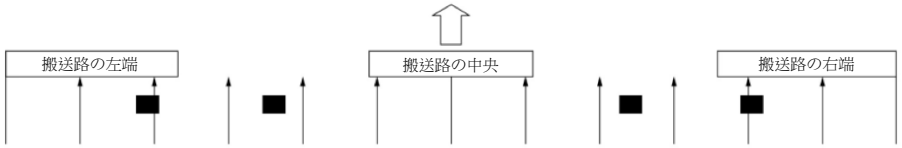
パッチページのサンプル PDF ファイルは、Kodak Alaris の Web サイト：[**https**://www.kodakalaris.com/scanners](https://www.kodakalaris.com/scanners) **からダウンロードできます。**

注記：これらの **PDF 版**は **A4 用紙と US レターサイズ用紙での印刷用にサイズ調整されています。パッチを独**自にカスタマイズできる **TIFF ソースファイルも**あります。手順に**従**い、**そ**のページがお使いのプリンターに**正**確に印刷さ**れるこ**とを確認してください。

パッチページの読み込み場所



- **方法 1： カメラを使用して、垂直にパッチを読み込みます。**このドキュメントでの垂直とは、パッチパターンのバーをスキャナーへの原稿の給紙方向に合わせることです。この方法でパッチを読み込むと、パッチは原稿の上端と原稿の表面または裏面のどこでも可能です。この方法の欠点は、（前面、プレスキャンプリンターで）パッチを読み込む前にパッチパターン付きのページが印刷されるため、ページ上のパッチの有無に基づいて印刷の修正ができないことです。
- **方法 2： カメラを使用して、**水平にパッチを読み込みます。このドキュメントでの水平とは、パッチパターンのバーがスキャナーへの原稿の給紙方向と直角に交わることです。水平方向にパッチを読み込む場合は、スキャナーがカメラを使用して 4 つの物理的パッチリーダと同じ位置に 4 つの仮想パッチリーダを作成します。パッチは、**4 つの物理的パッチリーダと同じ位置で搬送路を通過**するページ上に配置されなければなりません。



この方法でパッチを読み込むと、パッチは横のバーになりページの表面または裏面のパッチを読み込めます。この方法の欠点は、パッチを読み込む前にパッチパターン付きのページがすでに印刷されているため、ページ上のパッチの有無に基づいて印刷の修正ができないことです。

- **方法 3：** ハードウェアパッチリーダを使用して、水平にパッチを読み込みます。**パッチは、4 つの物理的パッチリーダと同じ位置で搬送路を通過**するページ上に配置されなければなりません。この方法の利点は、イメージアドレス/インデックス機能付きのスキャナーでページ毎に正しいドキュメント位置表示番号を印刷できることです。パッチパターンがページの表になるようにします。

パッチリーダはスキャナーの搬送路の中央から以下の距離にあります。

左	**- 4.125 インチ**
左中央	**- 2.4375 インチ**
右中央	**+ 2.4375 インチ**
右	**+ 4.125 インチ**

***Kodak* S5000 スキャナーはお使いのスキャナーモデルと有効な機能に応じて異なる方法でパッチパターンを読み込みます。**

S5160 スキャナー

- **インテリジェントプリンタ – パッチカウント：パッチ 1、2、3、5、6 はスキャナーのハードウェアのパッチリーダで水平方向のみ読み取り可能です。**
- **カラー切替：カラー切替パッチはスキャナーのハードウェアのパッチリーダのカメラで垂直または水平方向に読み込まれ、パッチページへの印字を防ぎます。**
- **スキャナーコントロール： パッチ 10、11、12、13、14、15 はスキャナーのハードウェアのパッチリーダで水平方向のみ読み取り可能です。**

S5180 キャナー

- **インテリジェントプリンタ – パッチカウント：パッチ 1、2、3、5、6 はスキャナーのハードウェアのパッチリーダで水平方向のみ読み取り可能です。**
- **インテリジェントプリンタ – インデクシング：パッチ 1、2、3、5、6 はスキャナーのハードウェアのパッチリーダで水平方向のみ読み取り可能です。**
- **カラー切替：カラー切替パッチはスキャナーのハードウェアのパッチリーダのカメラで垂直または水平方向に読み込まれ、パッチページへの印字を防ぎます。**
- **スキャナーコントロール：パッチ 10、11、12、13、14、15 はスキャナーのハードウェアのパッチリーダで水平方向のみ読み取り可能です。**

S5210 スキャナー

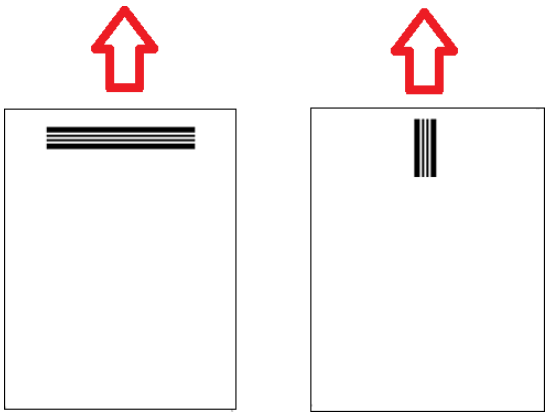
- **インテリジェントプリンタ – パッチカウント：パッチ 1、2、3、5、6 はスキャナーのハードウェアのパッチリーダで水平方向のみ読み取り可能です。**

- **インテリジェントプリンタ – インデクシング：パッチ 1、2、3、5、6 はスキャナーのハードウェアのパッチリーダで水平方向のみ読み取り可能です。**
- **インテリジェントプリンタ – イメージアドレス：パッチ 1、2、3、5、6 はスキャナーのハードウェアのパッチリーダで水平方向のみ読み取り可能です。**
- **カラー切替：カラー切替パッチはスキャナーのハードウェアのパッチリーダのカメラで垂直または水平方向に読み込まれ、パッチページへの印字を防ぎます。**
- **スキャナーコントロール：パッチ 10、11、12、13、14、15 はスキャナーのハードウェアのパッチリーダで水平方向のみ読み取り可能です。**

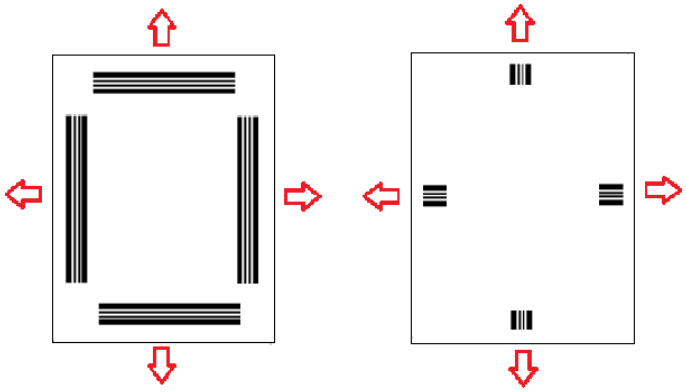
パッチコード要件

パッチパターンのサイズと位置には特殊な要件があるため、パッチページが正しく作成されたこと確認する際には注意してください。

注記：パッチページで使用される有効なスキャナー機能に関する情報は、***TWAIN および ISIS の『スキャンセットアップガイド』*、またはお使いのスキャンアプリケーションのマニュアルを参照**してください。

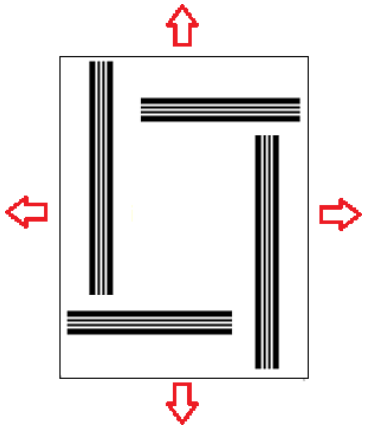


どのような方向にも給紙をできるようにするために、ページの各エッジにパッチパターンを持つパッチページを作成するのが一般的です。



カラー切替パッチ

また、どの **Kodak スキャナーでも**使用可能で、カメラパッチ読み込みまたはハードウェアパッチ読み込みで一貫性のある読み込みが行われるバーパターン**を持つパッチページを作成する**ことも可能です。



パッチパターンの詳細

パッチは次の 3 種類に分類されます。

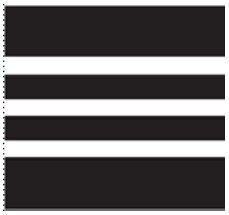
原稿/バッチ区切りパッチ（別称、イメージアドレスパッチ） — これらのパッチ**は、多くの種類**の原稿を一度にスキャンする**際**に、区切りのパッチページ**として以前から使用されています。**これらには、タイプ **2（原稿区切り）、タイプ 3（バッチ区切り）、タイプ T（原稿またはバッチ区切り）のパッチがあります。**

タイプ 2

垂直



水平



タイプ 3

垂直



水平



タイプ T（5）

垂直



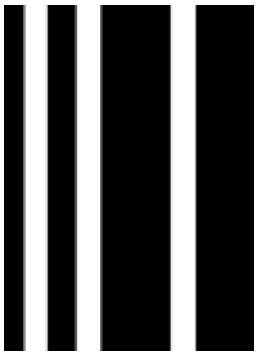
水平



機能パッチ ― **従来**から**こ**れらのパッチページは原稿区切りには使用されません。**こ**れらのパッチは、スキャナーの機能（カラー切替**や**重送検知コントロール）**や**ソフトウェアの機能を作動させるた**め**に使用される場合があります。これらには、タイプ **1、タイプ 4（カラー切替）、タイプ 6 のパッチがあります。**

タイプ 6

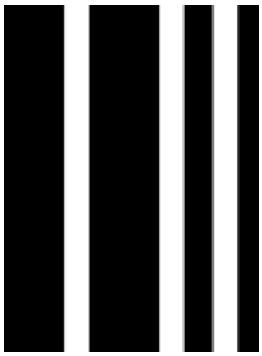
垂直



水平

タイプ 1

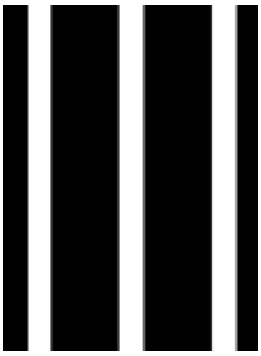
垂直



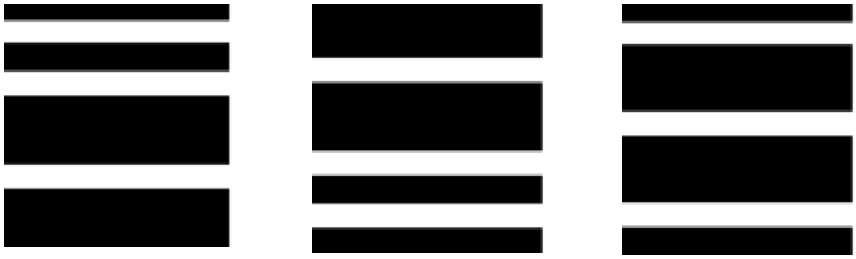
水平

タイプ 4（カラー切替）

垂直



水平



注記：スキャナーで使用する場合、上**記**のパッチパターンは印刷しないでく**ださい。**これらは一**例**であり、サイズは**正**確ではなく、実**際**の使用には**適**して**いません**。印刷可能な **PDF 版**は、**Kodak Alaris の Web サイトからダウンロードできます。**

- **スキャナーコントロールパッチ** — このパッチページは ***Kodak*** **S5000 スキャナーに追加**された新しいパッチで、スキャナー機能の制**御**に使用するため作成されました。

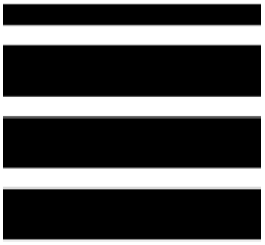
パッチには、タイプ 10、タイプ 11、タイプ 12、タイプ 13、タイプ 14、タイプ 15 があります。

タイプ 10

垂直



水平



タイプ 11

垂直

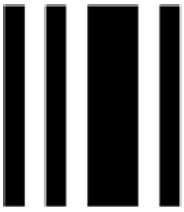


水平



タイプ 12

垂直



水平

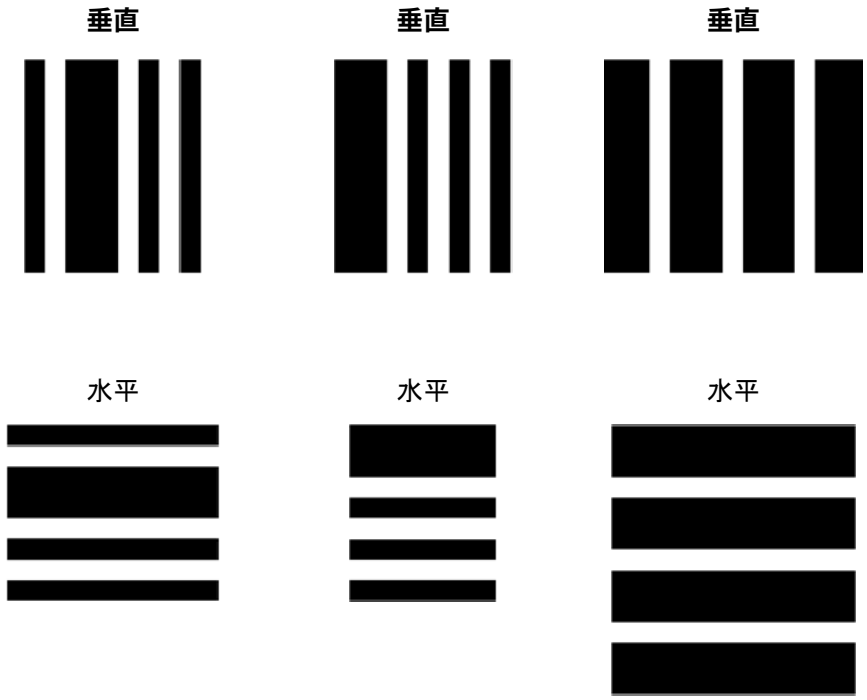


タイプ 13

タイプ 14

タイプ 15

Confidential



注記：スキャナーで使用する場合、上記のパッチパターンは印刷しないでください。これらは一例であり、サイズは正確ではなく、実際の使用には適していません。印刷可能な **PDF** 版は、**Kodak Alaris の Web サイトからダウンロードできます。**

バーパターンの詳細

パッチは、黒いバーとスペースが交互に並んだ平行パターンであり、**原稿に印刷されます。スキャナーは正**しくフォーマットされたバーパターン**のみをパッチとして認識**し、これ以外の原稿のデータをパッチとして検出しない**ようにしています。**バーとバーの間のスペースの幅は、スキャナーがバーパ**ターンを確実に検出できるよう**に、極めて厳密に管理しておく必要があります。

- **太いバーは、5 mm + 0.25 mm の幅にする必要があります。**
- **細いバーとスペースの幅は、2.03 mm + 0.25 mm にする必要があります。**
- **パッチコードの最大幅は特定のパッチパターンの太いバーと細いバーの数によ**って異なります。
- **パッチバーの最小全長は、50 mm です。**

以下の表に Kodak スキャナーで使用するパッチコードのパターンをまとめます。

パッチコードのタイプ	グラフィックパターン	説明	最大幅
0	コードの検出なし		
1	WWnn	Kodakパッチコード #1	0.8 +/- 0.01
2	WnnW	Kodakパッチコード #2	
3	WnWn	Kodakパッチコード #3	
4	nWWn	Kodakパッチコード #4	
5	nWnW	Kodakパッチコード #5	
6	nnWW	Kodakパッチコード #6	
7	WWWn	Kodakパッチコード #7	0.92 +/- 0.01
8	WWnW	Kodakパッチコード #8	
9	WnWW	Kodakパッチコード #9	
10	nWWW	Kodakパッチコード #10	
11	nnnW	Kodakパッチコード #11	0.68 +/- 0.01
12	nnWn	Kodakパッチコード #12	
13	nWnn	Kodakパッチコード #13	
14	Wnnn	Kodakパッチコード #14	
15	WWWW	Kodakパッチコード #15	1.04 +/- 0.01

例えば、パッチ **1 が WWnn の場合、**



太いバー、スペース、太いバー、スペース、細いバー、スペース、細いバーの順になります。

インデックス、イメージアドレスのパッチコード

パッチ2 **インテリジェントプリンタの使用** 	**・パッチカウント：パッチのインクリメントまたはリセットに使用できます。** **・インデックス：インデックスに使用できるパッチはパッチ2のみです。** **・フルイメージアドレス：*現在の*原稿にイメージレベル2を**割り当てます。
パッチ3 **インテリジェントプリンタの使用**	**・パッチカウント：パッチのインクリメントまたはリセットに使用できます。** **・インデックス：インデックスに使用できるパッチはパッチ2のみです。**

[redacted]	• **フルイメージアドレス：*現在の*原稿にイメージレベル3を**割り当てます。
パッチT/トランスファーパッチ/パッチ5 **インテリジェントプリンタの使用** [redacted]	• **パッチカウント：パッチのインクリメントまたはリセットに使用できます。** • **インデックス：インデックスに使用できるパッチはパッチ2のみです。** • **フルイメージアドレス：*次の*原稿にイメージレベル2または3を**割り当てます。

機能パッチコード

パッチ1 **インテリジェントプリンタの使用** [redacted]	**スキャンアプリケーション固有の機能を作動させるのに使用できます。** • **パッチカウント：パッチのインクリメントまたはリセットに使用できます。** • **インデックス：使用しません。** • **フルイメージアドレス：使用しません。**
カラー切替パッチ/パッチ4 **インテリジェントプリンタの使用** [redacted]	**スキャンアプリケーション固有の機能を作動させるのに使用できます。** • **パッチカウント：パッチのインクリメントまたはリセットに使用できます。** • **インデックス：使用しません。** • **フルイメージアドレス：使用しません。**
パッチ6 **インテリジェントプリンタの使用** [redacted]	**スキャンアプリケーション固有の機能を作動させるのに使用できます。** • **パッチカウント：パッチのインクリメントまたはリセットに使用できます。** • **インデックス：使用しません。**

	• **フルイメージアドレス：使用しませ**ん。

スキャナーコントロールパッチコード

スキャナーの機能の制御に使用できます。 **インテリジェントプリンタの** **使用：パッチカウント：使用** **しませ**ん。**インデックス：使** **用しませ**ん。 **フルイメージアドレス：使用しませ**ん。	
パッチ10 	**パッチ11** 
パッチ12 	**パッチ13** 
パッチ14 	**パッチ15** 

パッチの位置決定

パッチコードが縦と横に**ど**のよ**う**に**配**置されているかは、パッチを確実に読**み込む際**の決**め**手になります。パッチコードが原稿上で**正**しく**配**置されていな**ければ**、スキャナーはパッチの読み込みに**失敗**する場合があります。

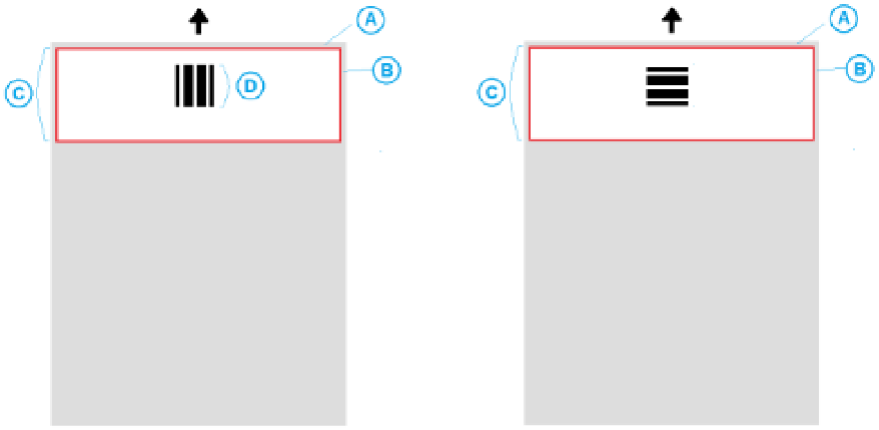
A　垂直パッチを、ページの先端（スキャナーに最初に挿入する部分）と印刷されるバーパターンの始めとの間の白いスペースが少なくとも 12.7mm になるように配置します。

水平パッチを、ページの先端（スキャナーに最初に挿入する部分）と印刷されるバーパターンの始めとの間の白いスペースが少なくとも 6.35mm になるように配置します。

B　パッチコードと原稿の端との間のスペースは少なくとも 6mm 必要です。

C　パッチ読み込みウィンドウは、原稿の先端から 50.8 mm が終端です。水平パッチがパッチウィンドウを超えないようにしてください。

D　垂直パッチの場合は、パッチ読み込み領域内には少なくとも 19 mm のパッチコードが表示される必要があります。



用紙の詳細

- **用紙のカラー -** 白紙はパッチコード読み込みのために最も信頼できる選択になります。オペレータやスキャンする原稿を準備する人たちが、パッチページを見分けられるようにする場合、用紙ストックに明るい色を使用することができます。淡い黄色や淡いパステル色の用紙は、光源の反射率が 65%以上であるため、問題ありません。暗い色や蛍光色の用紙ストックをパッチページに使用すると、パッチの読み込みが確実に行われない場合があります。
- **印刷** — パッチバーは常に黒で印刷する必要があります。印刷した黒のバーにより、光源の反射率を 20%未満にしておく必要があります。パッチをコピーする場合は注意してください。コピー機は、黒のバーと白のスペースのサイズに影響する原稿を自動的に縮小、拡大する傾向があるため、印刷仕様を変えてしまいます。拡大を 100%に設定したコピー機を使用してください。

- **用紙サイズ — パッチページの長さと幅は、最低 139.7 mm にする必要があります。**
- **紙厚** — **選別**後に**そ**のパッチページを再利用する場合、用紙重量はスタック #2 **に届**く**ほど**の**十**分な**堅**さである必要があります。

8 メンテナンス

この章では、***Kodak* S5000 スキャナーに必要なクリーニングとメンテナンスの手順について説明します。**これらの手順の頻度はスキャン環境、用紙、イメージ処理の要件によって異なります。スキャンの量が多い場合は、スキャナーの清掃および消耗品の交換の頻度も多くなります。スキャンの量が少ない場合、これらの作業の頻度も少なくなります。下記の「***クリーニング頻度チャート***」を参照して、クリーニングの目安にしてください。ただし、最良の方法はご自身で判断してください。**Kodak は、スキャンが実際**に使われている現場に長年立ち会ってきました。その経験から、スキャナーの正しいクリーニングとメンテナンスによって、より少ない時間でより多くの原稿をスキャンでき、問題も防止できることが確認されています。正しくメンテナンスをすれば、**S5000 スキャナーを長期間に渡って**問題なく使用できます。

スキャナー消耗品（タイヤ、プリセパレーションパッド等）およびクリーニング用サプライは、スキャナー販売代理店から入手できます。消耗品はさまざまなサイズのキットとして販売されています。これらのキットではタイヤ、ローラ、プリセパレーションパッドなどが適切に組み合わされているため、推奨頻度で簡単に交換できます。たとえば、タイヤを交換してもセパレーションローラを交換しなければ、スキャナーの処理能力は必然的に低くなります。消耗品を推奨頻度で交換することで、処理能力を最大化することができます。

注記：このセクションの図は **S5160 スキャナーを表します。特に**指示のない限り、すべての調節は 5160、S5180、S5210 スキャナーに対しても同じです。

クリーニング頻度チャート

推奨するクリーニング手順では、スキャナーの搬送路を掃除機で掃除し、フィードモジュールタイヤ、セパレーションローラタイヤおよびドライブローラのゴミを取り除き、イメージングガイドをクリーニングします。

スキャナーのクリーニング頻度については、以下のチャートで確認してください。

手順	業務開始時	作業中	休憩中(新規作業前)
出力トレイと入力部（入力エレベータと搬送路）を掃除機で清掃	x		
全ローラを清掃	x		x
搬送路を掃除機で清掃	x	x	x
イメージングガイドを清掃	x	x	x
超音波原稿検出センサ（**UDDS**）**を清掃**	x		x
トランスポートクリーニングシートを使用	x		x

クリーニング用品

スキャナーの日常的なメンテナンスを行**う**ときには、以下のクリーニング用**品のみを使用してください。**他のクリーニング用品を使用すると、スキャナー**に損傷**を**与**える場合があります。

- ***Kodak* デジタルサイエンストランスポートクリーニングシート**
- ***Kodak* デジタルサイエンスローラクリーニングパッド**
- ***Kodak* スキャナー用静電クリーニングクロス（*静電クリーニングクロスは*一部の国で使用できない場合があります）**
- ***Kodak* スキャナー用イメージングガイドクリーニングセット**
- **掃除機およびツール**
- 綿棒

スキャナーカバーの開け方

1. **入力エレベータ、出力トレイから原稿を取り除きます。**
2. **スキャナーカバーのリリースラッチを手前に**引きます。スキャナーカバー**が少**し開きます。カバーを持**ち**上げて、内部コンポーネントにアクセスで**きるよう**完全に開きます。

Confidential



3. **スキャナーの清掃**や消耗品の交換が終わったら、スキャナーカバーを**両手で閉**じます。

清掃手順

最適な画質を保つには、定期的にスキャナーを清掃して予防的なメンテナンスを施す必要があります。

原稿の種類によっては紙粉やゴミが通常より多く発生するため、より頻繁に清掃する必要があります。

スキャナーの清掃や消耗品を交換する前に、以下を参照してください。

- フィードモジュールおよびセパレーションローラのゴムタイヤに付着するゴミは問題ありません。タイヤのカスは必ずしもタイヤの磨耗や損傷を意味するものではありません。清掃後、タイヤを点検して必要があれば交換し、必要に応じてセパレーションローラまたはフィードモジュールを交換してください。
- ローラやタイヤを清掃した場合は、ローラやタイヤが完全に乾いてからスキャンしてください。
- 推奨するクリーニング用品以外は使用しないでください。未承認の洗浄液や溶剤を使用すると、ゴムタイヤに損傷を与える場合があります。
- 密閉された場所でクリーナを使用しないでください。適切な換気が必要です。
- 高熱面にクリーナを使用しないでください。クリーニング前に、表面温度が室温になるまで待ってください。
- スプレーや圧縮空気は使用しないでください。圧縮空気を使用すると、紙粉がスキャナーのイメージングシステムに入り込んで画質の問題を引き起こし、カメラを取り外さない限りクリーニングできません。
- スキャナーの近くで可燃性スプレーを使用しないでください。
- 推奨されるクリーニング用品のほかに、掃除機を使用してスキャナーのゴミを取り除くこともできます。
- 静電クリーニングクロスには、目に刺激を与え、肌の乾燥の原因となるイソプロパノールが含まれています。メンテナンス作業が終わったら、石鹸と水で手を洗ってください。詳細については、安全データシート（SDS）を参照してください。SDS は Web サイト（https://corporate.kodakalaris.com/about-us/environment,-health-and-safety/safety-data）で入手できます。

Confidential

注記：**SDS にアクセスするには、消耗品のカタログ番号**またはキーワードが**必要です。カタログ番号**については、サポート **Web サイトで入手可能な**「消耗品カタログ」を参照してください。

- **ローラクリーニングパッドには、目に刺激を与**える可能性のあるラウリル硫酸エーテルナトリウム、およびケイ酸ナトリウムが含まれています。詳細**については、SDS を**参照してください。

出力トレイと入力エレベータの掃除

1. **スキャナーの電源を切ります。**
2. **出力トレイを取り外します。**

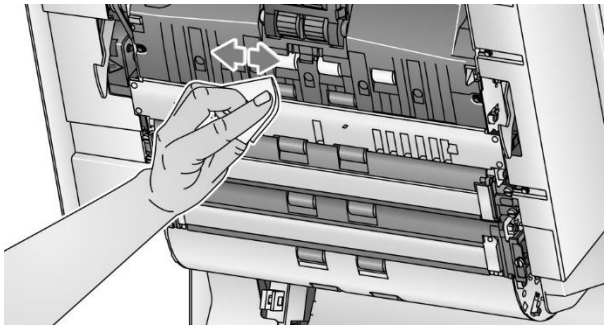


3. **出力トレイ、出力トレイおよび入力エレベータの付近**を掃除機で完全に**掃除します。**

ローラの清掃

ローラを清掃する場合、搬送路のすべてのローラ、セパレーションローラタイヤ、フィードモジュールのタイヤを清掃します。

1. **スキャナーカバーを開きます。**
2. **ローラクリーニングパッドを使用して、ローラを手で回しながら**汚れを**拭き取ります。**



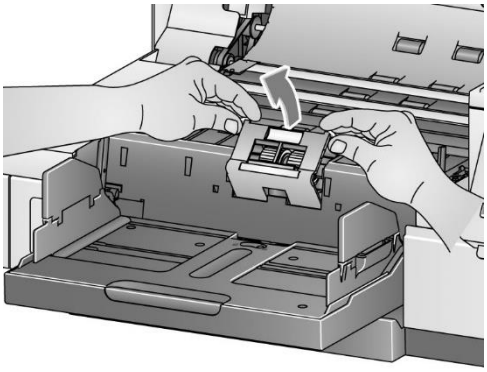
注記：ローラのクリーニングに**静電**クリーニングクロスまたはイメージングガイド **クリーニング セットを使用しないでください。**

3. **糸**くずの出ない**布**でローラを**乾拭**きします。

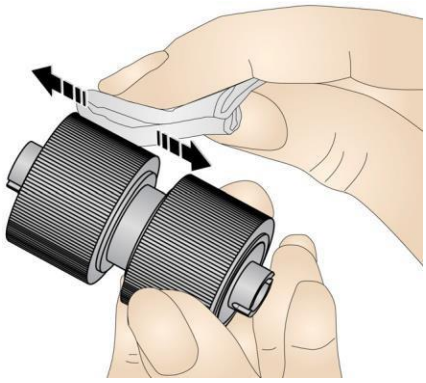
セパレーション
ローラタイヤの清掃

1. **セパレーションローラのカバーを手前に**引き、セパレーションローラを**取り外します。**

注記：セパレーションローラのカバーはスプリングで**留め**られています。セパ**レーションローラのカバーを**引き上げ、セパレーションローラを取り外してか**ら、セパレーションローラのカバーを**ゆっくりと元に戻します。

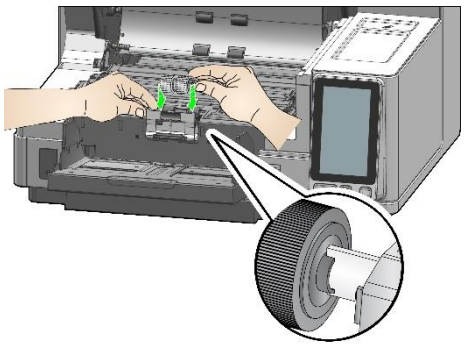


2. **セパレーションローラタイヤを手で回しながら、ローラクリーニングパッドで拭**いてください。**溝**の間にあるゴミを取り除くように、**溝**に**沿って拭**くことがポイントです。



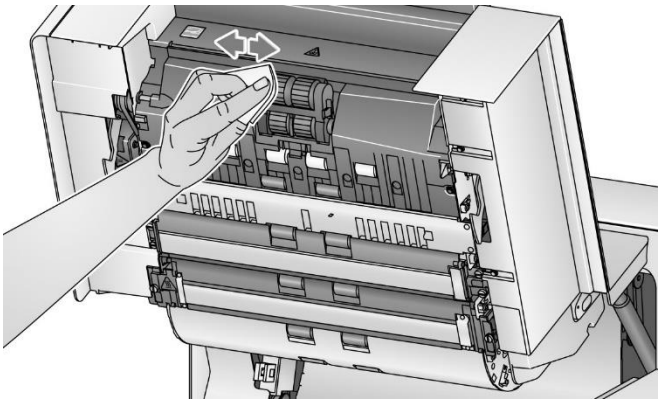
3. **タイヤを点**検します。タイヤに**磨**耗または**破損**の**兆候**が**見**られる場合は、**タイヤを交換します。**「***交換手順***」を**参照**してください。

4. **セパレーションローラの溝**とホルダを合わせて、ローラを取り付けます。



フィードモジュールタイヤの清掃

1. **フィードモジュールタイヤを手で回しながら、ローラクリーニングパッドで拭きます。溝の間にあるゴミを取り除くように、溝に沿って拭くことがポイントです。タイヤを清掃するときに、フィードモジュールを取り外す必要はありません。**

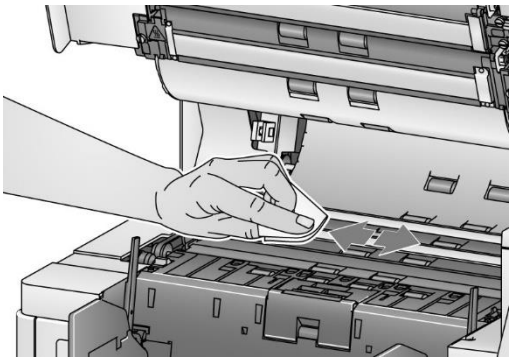


注記：フィードモジュールのタイヤのクリーニングに静電クリーニングクロス**またはイメージングガイド クリーニング セットを使用しないでください。**

2. **タイヤを点検します。タイヤに磨耗または破損の兆しが見られる場合は、フィードモジュールタイヤを交換します。**「***交換手順***」を参照してください。

切替式ホワイトバックグラウンドストリップの清掃方法

1. 静電クリーニングクロス、または「ステップ **1**」のイメージガイドクリーニングセットを使用して上下のバックグラウンドストリップを拭きます。

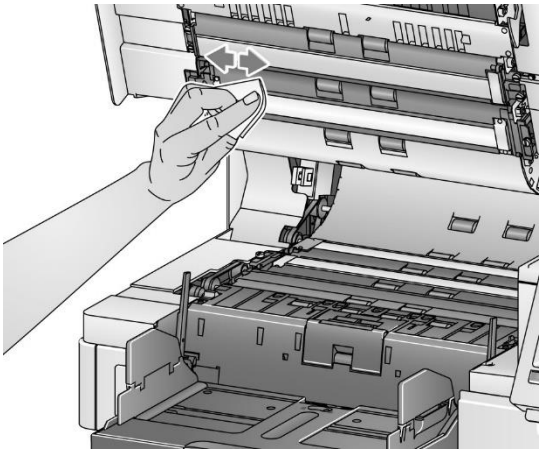


注記：搬送路のローラに触れないように注意してください。

2. 乾いた静電ワイプか「ステップ **2**」のイメージングガイドクリーニングセットを使って、上下のバックグラウンドストリップを乾拭きし、縞状の汚れを拭き取ります。

イメージングガイドの清掃

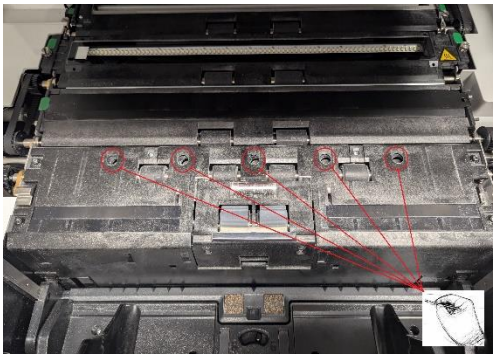
1. 静電クリーニングクロス、または「ステップ **1**」のイメージガイドクリーニングセットを使用して上下のイメージングガイドを拭きます。



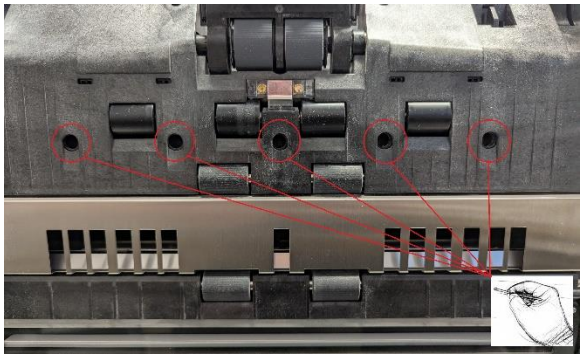
2. 乾いた静電ワイプか「ステップ **2**」のイメージングガイドクリーニングセットを使って、上下のイメージングガイドを乾拭きし、縞状の汚れを拭き取ります。

原稿検出センサーの清掃

1. **下部搬送路にある 5 つのセンサー開口部の位置を確認します。**
2. 清潔な綿棒を最初の開口部に挿入し、静かに回転させてセンサー表面を**清掃します。**
3. 残りの **4 つの下部搬送路センサー**それぞれについて、新しい綿棒を使用**してステップ 2 を**繰り返します。



4. **上部搬送路にある 5 つのセンサー開口部の位置を確認します。**
5. 清潔な綿棒を最初の開口部に挿入し、静かに回転させてセンサー表面を**清掃します。**
6. 残りの **4 つの上部搬送路センサー**それぞれについて、新しい綿棒を使用**してステップ 5 を**繰り返します。



7. **スキャナーカバーを閉**めます。
8. **すべての清掃手順を完了したら、スキャナーを起**動します。

搬送路クリーニングシートによる清掃

搬送路は、搬送路クリーニングシートを数回通してクリーニングする必要があります。

1. **搬送路クリーニングシートの台紙を外します。**
2. **入力エレベータと出力トレイサイドガイドを、最大幅まで広**げます。
3. **入力エレベータの中央に搬送路クリーニングシートを横向きにセットします。こ**のとき、**粘着**面を上にしてください。
4. **搬送路クリーニングシートのスキャンを行います。**
5. **出力トレイから搬送路クリーニングシートを取り出し、入力エレベータの中央に横向きにセットし、粘着**面を下にして再スキャンします。
6. **ローラがきれいになるまで、ステップ 3～5 を繰**り返します。

注記：このシートが**汚**れたり**粘着**力が低下したら、**廃棄**して新しいシートを使**用します。**

清掃の最終手順

搬送路クリーニングシートによる清掃が完了したら、次の作業を実行してください。

1. **スキャナーカバーを開きます。**
2. **糸**くずの出ない**布**を使用して上下のイメージングガイドの**汚**れを**拭**き取り**ます。**
3. **スキャナーカバーを閉**じて、テスト用原稿をスキャンして、画質を確認し**ます。**

交換手順

このセクションでは、次の部品の交換手順について説明します。交換頻度につ**いては、以下の説明を参考**にしてください。

Confidential

- **フィードモジュールタイヤとセパレーションローラタイヤ（Kodak 薄紙専用フィードモジュールを含む）- タイヤの寿命**は、用紙の種類、環境、汚れ具合によって異なります。タイヤ寿命はおよそ原稿 **500**,000 **枚ですが、実際**は条件によって異なります。フィーダの性能の低下や、重送、紙詰まりなどが発生する場合は、タイヤを交換する必要があります。セパレーションローラタイヤは、フィードモジュールタイヤよりも早く磨耗します。フィードモジュールタイヤの交換時には、4 つすべてのタイヤを同時に交換する必要があります。セパレーションローラタイヤの交換時には、両方のタイヤを同時に交換する必要があります。

- **フィードモジュールとセパレーションローラ(Kodak 薄紙専用フィードモジュールとセパレーションローラを含む) ― タイヤを 4 回交換する**毎に、新しいフィードモジュールとセパレーションローラに交換することをお勧めします。新しいフィードモジュールとセパレーションローラは同時に交換してください。

- **プリセパレーションパッド(Kodak 薄紙専用プリセパレーションパッドを含む) ― フィードモジュールとセパレーションローラのタイヤを変更する**毎に一度はプリセパレーションパッドを変更することをお勧めします。

- **イメージングガイド ― イメージングガイドに傷**が付き、イメージに異常がみられる場合は、イメージングガイドを交換してください。

注記：このセクションの図は、交換する消耗品によって若干異なる場合があります。たとえば、薄紙専用フィードモジュールは、標準のフィードモジュールと外観が若干異なります。ただし交換手順は同じです。

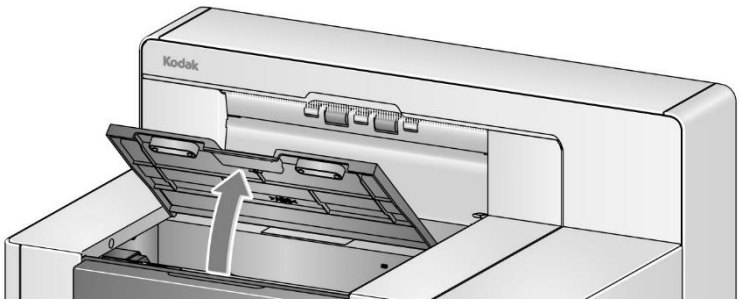
メーターはオペレータがメンテナンスし、消耗品を交換したらリセットする必要があります。消耗品を交換しても、メーターは自動的にリセットされません。メーターにはスキャンしたページ数が示されます。メンテナンスメータの表示と使用についての詳細は、「*メンテナンスメーターの表示*」を参照してください。

注記：部品の交換時は、スキャナーの電源を切ってください。

フィードモジュール、フィードモジュールタイヤの交換手順

最初にフィードモジュールを取り外します。

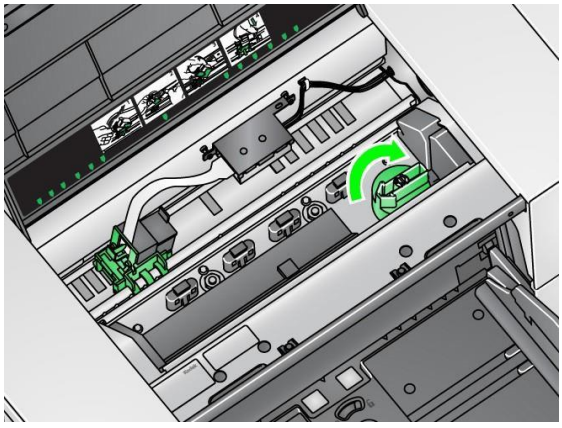
1. **出力トレイを取り外します。**
2. **プリンタアクセスカバーを持**ち上げて開きます。



注記：出力トレイを取り外さない場合は、出力トレイの前面部を持ち上げてから、プリンタアクセスカバーを高さ調節タブの後ろに来るように持ち上げます。

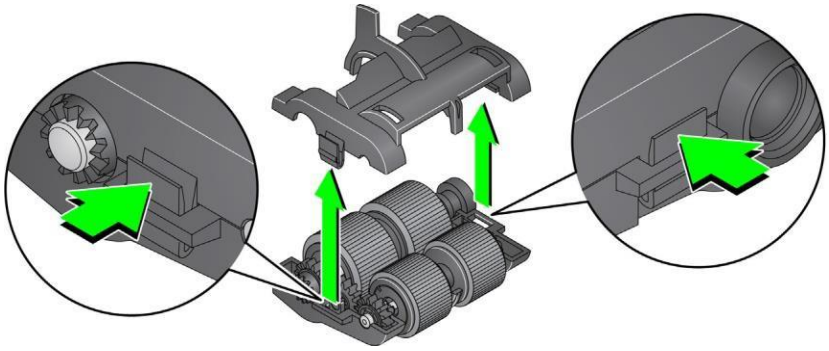


3. フィードモジュールのリリースノブを[ロック解除]記号まで回転し、フィードモジュールを取り外します。



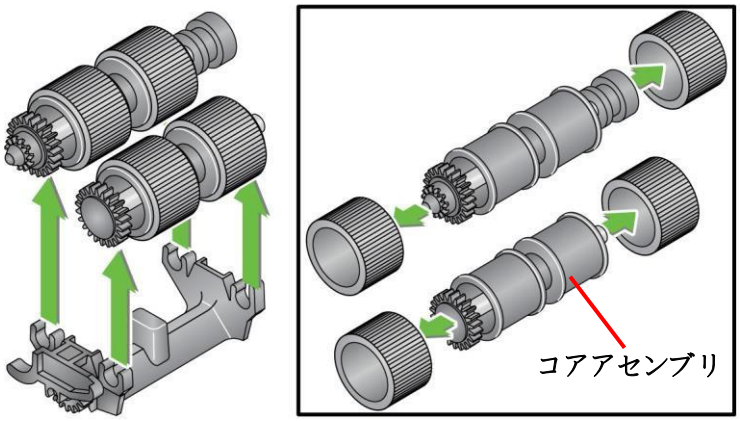
4. フィードモジュールを交換する場合は、ステップ 11 に進んでください。
   タイヤを交換する場合は、ステップ 5～10 に進んでください。

5. 片手で固定用のタブ（両側に 1 つずつあります）を押しながら、もう一方の手で下部のカバーを押さえます。上部のカバーを引き上げて、ローラーから取り外します。



6. 両方のローラを外します。

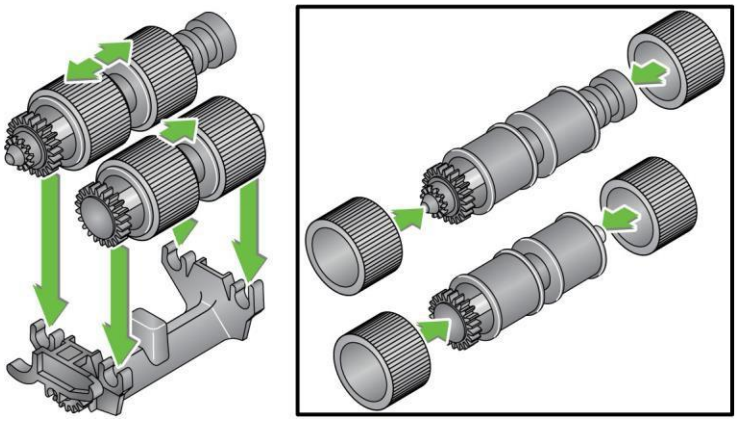
7. 各タイヤをずらしてコアアセンブリから外します。



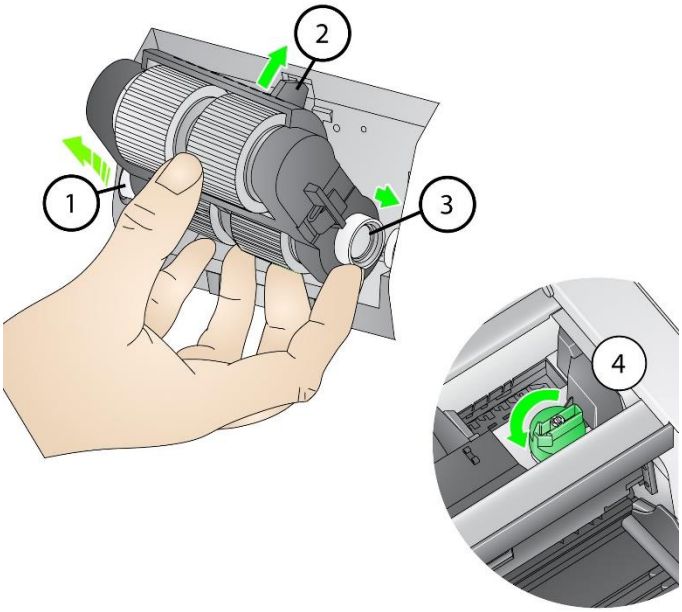
8. 新しいタイヤを軽く引き伸ばしながらコアアセンブリに取り付けます。タイヤの取り付け時に、向きを気にする必要はありません。

   重要：タイヤを引き伸ばし過ぎないでください。ちぎれる場合があります。

9. フィードモジュール下部カバーの各ローラーを交換し、上部カバーのタブを下部カバーの溝へ合わせます。



10. **所定の位置にカチッと収**まるまで、上下のカバーを同時に**押**し込みます。
11. **フィードモジュールの左側**のピンをロッドに**差**し込み**(1)、上部タブを溝に合わせます(2)。フィードモジュールの右側**のピンをロッドに合わせ**(3)、緑色**のフィードモジュールのリリースノブを左**側**の**[*ロック済み*]記号**まで回して（**4）フィードモジュールを取付けます。フィードモジュールが正**しい位置に**収**まり、取り付け後にスムーズに動く**こ**とを確認してく**ださい。**

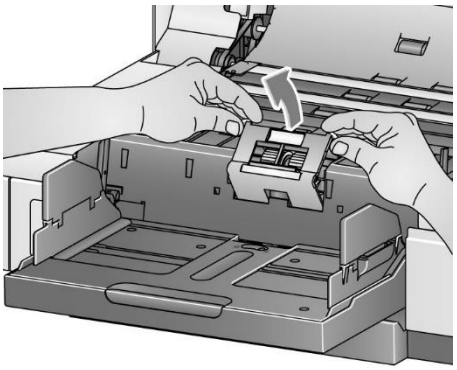


12. **スキャナーカバーとプリンタアクセスカバーを**閉めます。
13. **出力トレイを取り付けます。**

14. **完了したら、オペレータコントロールパネルのメンテナンスメーターにアクセスし（「*メンテナンスメーターをリセットする場合*」を参照）、[リセット]アイコンをタッチしてフィードタイヤ/フィードモジュールメーターをリセットします。**

セパレーションローラ、セパレーションローラタイヤの交換手順

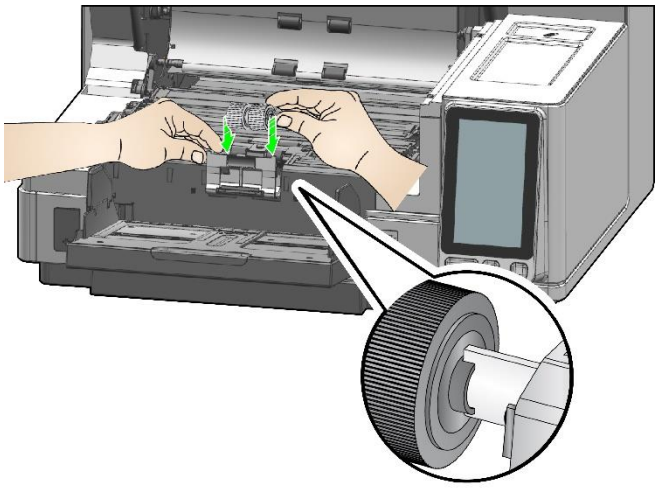
1. **スキャナーカバーを開きます。**
2. **セパレーションローラのカバーを手前に**引き、セパレーションローラを**取り外します。**



注記：セパレーションローラのカバーはスプリングで**留め**られています。セパ**レーションローラのカバーを**引き上げ、セパレーションローラを取り外してか**ら、セパレーションローラのカバーを**ゆっくりと元に戻します。

セパレーションローラを交換したい場合は、ステップ 3 と 4 を完了します。セパレーションローラタイヤを交換する場合は、ステップ 5 に進んでください。

3. **新しいセパレーションローラを**挿入します。セパレーションローラの**溝とホルダの位置を合わせてください。**



4. **セパレーションローラのカバーをゆっくりと元に戻し、スキャナーカバーを閉じます。**

タイヤを交換するには、以下の手順に従います。

5. **タイヤを軸から外し、各タイヤを交換します。**
6. **新しいタイヤを軽く引き伸ばしながら軸に取り付けます。**

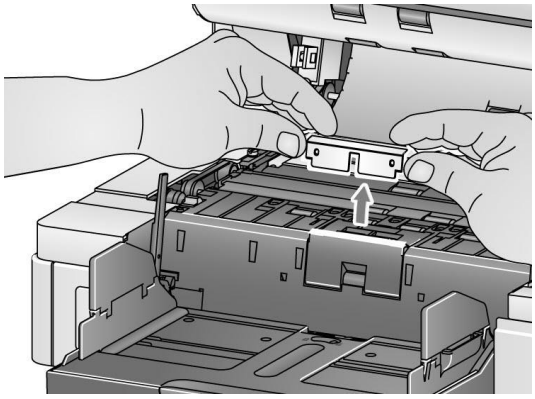
   重要：タイヤを引き伸ばし過ぎないでください。ちぎれる場合があります。
7. **セパレーションローラを取り付けます。セパレーションローラの溝とホルダの位置を合わせてください。**
8. **セパレーションローラホルダを元の位置に下げます。**
9. **スキャナーカバーを閉めます。**
10. **完了したら、オペレータコントロールパネルのメンテナンスメーターにアクセスし（「*メンテナンスメーターをリセットする場合*」を参照）、[リセット]アイコンをタッチしてセパレーションローラタイヤ/セパレーションローラメーターをリセットします。**

プリセパレーションパッドの交換手順

原稿の重送の頻度が増えてきた場合は、プリセパレーションパッドを交換してください。

1. **スキャナーカバーを開きます。**
2. **プリセパレーションパッドを所定の位置から持ち上げて取り外します。**

注記：プリセパレーションパッドはぴったりと収まっているため、取り外しには多少、力が必要な場合があります。



3. **新しいプリセパレーションパッドを取り付けます。カチッと音がして所定の位置に収まったことを確認してください。**

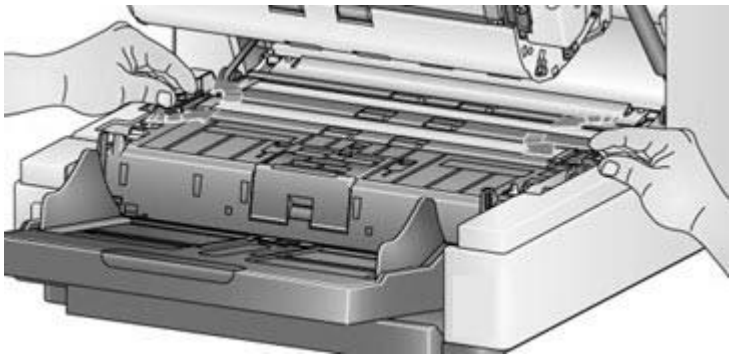
4. スキャナーカバーを閉めます。
5. 完了したら、オペレータコントロールパネルのメンテナンスメーターにアクセスし（「*メンテナンスメーターをリセットする場合*」を参照）、[リセット]アイコンをタッチしてプリセパレーションパッドメーターをリセットします。

イメージングガイドの交換手順

イメージングガイドに傷が付き表示されたイメージに異常がみられる場合は、イメージングガイドを交換する必要があります。

注記：イメージングガイドに指紋がつかないように注意してください。

1. スキャナーカバーを開きます。
2. 下部イメージングガイドの両端にあるネジを回し、イメージングガイドを取り外します。

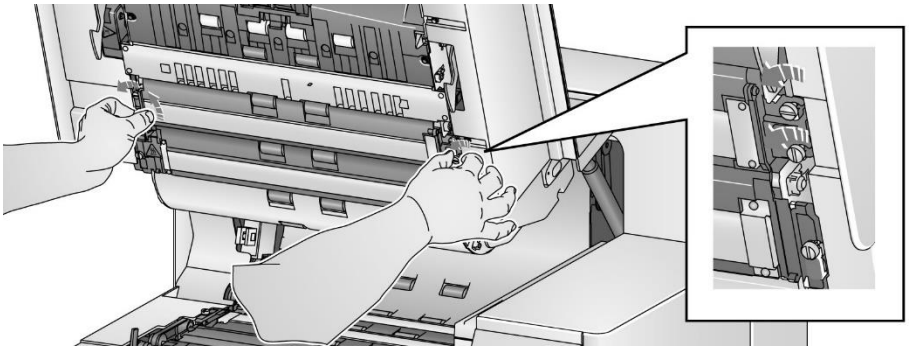


3. 新しいイメージングガイドを取り付け、ネジを締めてイメージングガイドを固定します。
4. ステップ 2~3 を繰り返して、上部イメージングガイドを交換します。
5. スキャナーカバーを閉めます。

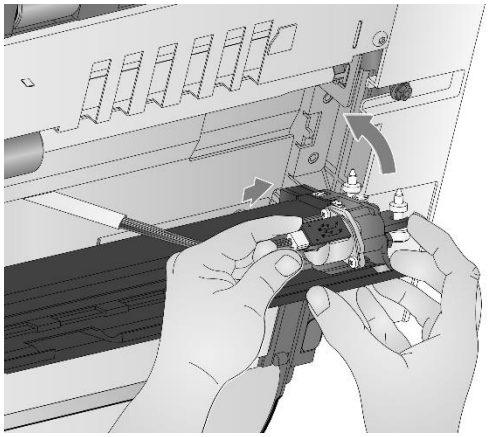
切替式ホワイトバックグラウンドストリップの交換方法

切替式ホワイトバックグラウンドストリップを交換するする必要がある場合は、以下の手順に従ってください。

1. スキャナーの電源をオフにします。
2. スキャナーカバーを開きます。
3. 指で上部バックグラウンドストリップの両側にある 2 本のネジを緩め、外します。



4. **バックグラウンドストリップ のコネクタを取り外します。**



5. **新しいバックグラウンドストリップ コネクタ をケーブルで接続します。**
   正しく取り付けられている**こ**とを確認してください。

6. **新しいバックグラウンドストリップを取り付けて、両側**のネジを手で**締めてバックグラウンドストリップを固定します。**

注記：スプリングをスキャナーフレーム内のタブの上に**揃**えます。バックグラ**ウンドがスプリングで反発**する**こ**とを確認します。

7. **ステップ 3～6 を繰**り返して、下部のバックグラウンドストリップを交換**します。**

8. **スキャナーカバーを閉**めます。

9 トラブルシューティング

問題を自身で解決する

KODAK S5160/S5180/S5210 スキャナーの使用時に発生する可能性のある問題の解決策については、オンライン上のトラブルシューティングページ（https://www.kodakalaris.com/scanners/S5180-scanner/support/faqs）を参照してください。

ソフトウェアのアップグレード

Kodak Alaris では問題の修正と新機能の追加のため、ドライバとファームウェアを頻繁にアップデートしています。たとえば、エラーメッセージが繰り返し表示される場合は、サービスセンターに連絡する前に最新のドライバにアップグレードしてください。https://www.kodakalaris.com/scanners/S5180-scanner/support/drivers-software にアクセスして最新のアップグレードをダウンロードします。

Confidential

サービスセンターへの問い合わせ

1. **https**://www.kodakalaris.com/contact-us **にアクセスして、お住**まいの**国の最新の電話番号**を入手してください。
2. **お電話**の**際**は、次の情報をお手元に**ご**用意ください。
   - **問題の内容**
   - **スキャナーのモデルとシリアル番号**
   - **コン**ピューターの構成
   - **お使いのスキャンアプリケーション**

付録 A 規制に関する情報

注

このセクションの未翻訳の情報は、その地域のお客様にのみ適用されます。

***KODAK* S5160/S5180/S5210 スキャナーは、業務用/**商業用です。

環境に関する情報

- ***KODAK* S5160/S5180/S5210 スキャナーは、**世界規模の環境要件を満たすように設計されています。
- この機器の廃棄は、環境への配慮から規制されている場合があります。廃棄またはリサイクルの詳細については、地域の自治体にお問い合わせください（米国の場合は **AlarisWorld.com/go/scannerrecycling にアクセスしてください)。**
- **メンテナンスまたは保守**時に交換した消耗品の**廃棄**については、ガイドラインを**参照**してください。詳細については、**地域の規定に従う**か、最寄りの **Kodak Alaris** 代理店にお問い合わせください。
- 製品パッケージはリサイクル可能です。
- ***KODAK* S5160/S5180/S5210 スキャナーは、エネルギースターに適**合しており、出荷時には **15 分に設定されています。**
- ***KODAK* S5160/S5180/S5210 スキャナーは、業務用/**商業用です。

欧州連合（EU）



このマークは、この製品を廃棄する際に、回収とリサイクルを行う適切な施設への送付が義務付けられていることを表します。本製品の収集/回収プログラムの詳細については、最寄りの **Kodak Alaris** 代理店にお問い合わせいただくか、**kodakalaris.com/go/recycle を参照**してください。

REACH 規則（（EC）No. 1907/2006）第 59（1）条の対照リストに含まれる物質に関する情報については、**kodakalaris.com/go/REACH を参照**してください。

Confidential

製品情報開示一覧 - *KODAK* S5160/S5180/S5210スキャナー

有毒有害物质或元素名称及含量标识表

有害物質の名前および濃度の一覧

部件名称 Component name	有毒有害物质或元素 hazardous substances' name									
	铅 (Pb) 0.1%	汞 (Hg) 0.1%	镉 (Cd) 0.01%	六价铬 (Cr6+) 0.1%	多溴联苯 (PBB) 0.1%	多溴二苯醚 (PBDE) 0.1%	邻苯二甲酸二丁酯(DBP) 0.1%	邻苯二甲酸苄丁酯 (BBP) 0.1%	邻苯二甲酸二(2-乙基己基)酯 (BEHP) 0.1%	邻苯二甲酸二异丁酯 (DIBP) 0.1%
适配器 (AC Adapter)	X	O	O	O	O	O	O	O	O	O
电路板 Circuit Board	X	O	O	O	O	O	O	O	O	O

O: 该有毒有害物质在该部件所有均质材料中的含量均在 GB 26572-2025规定的限量要求以下。

X: 该有毒有害物质至少在该部件的某一均质材料中的含量超出 GB 26572-2025 规定的限量要求。

O: indicates hazardous substance concentration lower than MCV

X: indicates hazardous substance concentration higher than MCV

环保使用期限（EFUP）

在中国大陆，该值表示电子信息产品中含有的有毒有害物质或元素在正常使用的条件下不会发生外泄或突变，用户使用此产品不会对环境造成严重污染或对人身、财产造成严重损害的期限（以年计）。
该值根据操作说明中所规定的产品正常使用条件而定

Environment-Friendly Use Period (EFUP)

In mainland China, this number indicates the time period (calculated by year) within which any hazardous substances present in the product are not expected to be released such that there is risk to human health, property, or the environment.

This value is assigned based on normal use of the product as described in the operating instructions.

台湾：

設備名稱：掃描器 **ナー /** 装置名	型號（型式）： ***KODAK*S5160スキャナー / *KODAK*S5180スキャ 型式指定（型式） ***KODAK*S5210スキャナー /**					
單元単位	**限用物質**及其化學符號 **規制物質およびその化学記号**					
	鉛 鉛 **(Pb)**	**汞** 水銀 **(Hg)**	鎘 **カドミウム** **(Cd)**	**六**價鉻 **6価** **クロム (Cr^{+6})**	**多溴**聯苯 **ポリ**臭化 **ビフェニル** **(PBB)**	**多溴二苯**醚 **ポリ**臭化 **ジフェニルエーテル (PBDE)**
AC適配器 **AC アダプタ**	—	○	○	○	○	○
離合器 **クラッチ**	—	○	○	○	○	○
內存模塊 **モーター**	—	○	○	○	○	○
鏡片 **レンズ**	—	○	○	○	○	○
電阻 抵抗器	—	○	○	○	○	○
壓鑄框架 **ダイキャストフレーム**	—	○	○	○	○	○
電路板組件 **回路**基板 **アセンブリ**	—	○	○	○	○	○
輸入/輸出托盤 給紙 **/ 排紙トレイ**	○	○	○	○	○	○
塑料蓋和零件 **プラスチックカバーおよび** **部品**	○	○	○	○	○	○
控制面板 **コントロールパネル**	○	○	○	○	○	○
傳感器 **センサ**	○	○	○	○	○	○
進料和分離模塊 給紙およびセパレーション **モジュール**	○	○	○	○	○	○
紙張傳感器 **紙センサー**	○	○	○	○	○	○

Confidential

端口 **ポート**	○	○	○	○	○	○
打印機**附**件 **プリンタアクセサリ**	○	○	○	○	○	○

備考 1.〝超出 0.1 wt %〞及〝超出 0.01 wt %〞係指限用物質之百分比含量超出百分比含量基準值。

注記 1：「Exceeding 0.1 wt %」および「exceeding 0.01 wt %」は、存在する条件の基準含有率の値を超えた規制物質の含有率を示しています。

備考 2.〝○〞係指該項限用物質之百分比含量未超出百分比含量基準值。

注記 2：「○」は、規制物質の含有率が存在の基準値の含有率を超えていないことを示しています。

備考 3.〝—〞係指該項限用物質為排除項目。

注記 3：「–」は、規制物質が適用除外に該当することを示しています。

KODAK S5160/S5180スキャナーのEMC 声明

米国：本機器は、**FCC規則**のパート**15に準拠**しています。**操**作は次の**2つの条**件を前**提**にしています。

1. **本機器**は有害な**干渉**を**引き起こ**さない。
2. **本機器**は、**望**ましくない動作を**引き起こ**す**干渉も含め**、任意の**干渉**を許容する必要がある。

法令遵守に責任のある**当**事者により明**白**に承認されていない変更または**修正**を行**う**と、**装**置を**操**作する**権**限が無効になる場合があります。

注記：この**装**置は、**FCC 規則**のパート**15に従**ったクラス**Bのデジタル装**置に対する制限に**適**合していること**が検査**され、証明さ**れています。**

韓国：この機**器**は**家庭**で使用するため**のEMC登**録を取**得**しており、**住宅**で**ご**利用いただけます。

이 기기는 가정용으로 전자파적합등록을 한 기기로서 주거지역에서는 물론 모든 지역에서 사용할 수 있습니다.

日本：この**装**置は、クラス**B機器**です。この**装**置は、**住宅**環境で使用すること**を目的**としていますが、この**装**置がラジオ**や**テレビジョン**受信**機に**近**接して使用されると、受**信障**害を**引き起こ**すことがあります。取**扱**説明**書**に**従って正**しい取り**扱**いをしてください。

この装置は、クラスB機器です。この装置は、住宅環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。 VCCI-B

EMC 声明 - Kodak S5210 スキャナー

米国：本製品は、**FCC規定のパート15に準拠**するクラス**Aのデジタル**製品の規定に**適**合していることが検**査**によって確認されています。**これらの制限は、商**業環境で使用した場合に、有害な電**波干渉**から**適正**に保護することを目的としています。本**製**品は高**周波**エネルギーを**発**生させ、**使用し、また放射**することもあります。取**扱**説明**書**に**従**って設置および使用されない場合は、無**線通信**に有害な**障**害をもたらす可能性が**あります。住宅地**区でこの**装**置を使用すると、有害な**干渉**を**引き起こ**す可能性があります。**そ**の場合には、ユーザー**側**の**負担**で**干渉**防止**措**置**を講**じる必要があります。

ヨーロッパ連合：警告：この**装**置はクラス**Aの製**品です。この**装**置を**家庭**環境で使用すると、電**波妨**害を**引き起こ**すおそれがあります。この場合には使**用者が適**切な対**策**を**講**ずるよう要**求**されることがあります。

日本：この**装**置は、クラス**A情報技術装**置です。この**装**置を**家庭**環境で使用すると電**波妨**害を**引き起こ**すことがあります。この場合には使用**者が適**切な対**策**を**講**ずるよう要**求**されることがあります。

この装置は、クラスA情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。 VCCI－A

台湾：警告：この**装**置はクラス**Aの製**品です。この**装**置を**家庭**環境で使用すると、電**波妨**害を**引き起こ**すおそれがあります。
この場合には使用者が**適**切な対**策**を**講**ずるよう要**求**されることがあります。

警告：為避免電磁干擾，本產品不應安裝或使用於住宅環境。

中華人民共和国：警告：この**装**置を**住宅**環境で**操**作すると、電**波妨**害を**引き起こ**す可能性があります。

警告：
在居住环境中，运行此设备可能会造成无线干扰。

韓国：この**装**置は、業務用の**EMC登**録規格を取**得**しています。**誤って販売**または**購**入された場合は、**家庭**用の**装**置と交換してください。

이 기기는 업무용으로 전자파적합등록을 한 기기이오니 판매자 또는 사용자는 이점을 주의하시기 바라며, 만약 잘못 판매 또는 구입하였을 때에는 가정용으로 교환하시기 바랍니다.

仕様

仕様	S5160	S5180	S5210
読み取り速度	160 ppm / 320 ipm	180 ppm / 360 ipm	210 ppm / 420 ipm
フィーダー容量	80 g/m² の用紙で最高750枚	80 g/m² の用紙で最高750枚	80 g/m² の用紙で最高750枚
接続	10/100/1000イーサネット USB 3.2 Gen 1x1互換 (USB 3.2 Gen 1x1 = USB 3.1 Gen 1 = USB 3.0 (5Gbps))	10/100/1000イーサネット USB 3.2 Gen 1x1互換 (USB 3.2 Gen 1x1 = USB 3.1 Gen 1 = USB 3.0 (5Gbps))	10/100/1000イーサネット USB 3.2 Gen 1x1互換 (USB 3.2 Gen 1x1 = USB 3.1 Gen 1 = USB 3.0 (5Gbps))
最大原稿サイズ	305 mm x 4.06 m （スキャナーは連続スキャンモードに対応しています。）	305 mm x 4.06 m （スキャナーは連続スキャンモードに対応しています。）	305 mm x 4.06 m （スキャナーは連続スキャンモードに対応しています。）
騒音レベル	オフまたは待機モード：44 dB(A)未満 スキャン中：70 dB(A)未満	オフまたは待機モード：44 dB(A)未満 スキャン中：70 dB(A)未満	オフまたは待機モード：44 dB(A)未満 スキャン中：70 dB(A)未満
寸法および重量	直立位置でのトレイのサイズ： 高さ：436.4 mm 幅：693.5 mm 奥行き：554.2 mm 重量：62kg未満	直立位置でのトレイのサイズ： 高さ：436.4 mm 幅：693.5 mm 奥行き：554.2 mm 重量：62kg未満	直立位置でのトレイのサイズ： 高さ：1056.3 mm (下げられた台座 - ホイール) 高さ：1088.3 mm （下げられた台座 - 完全に展開された高さ調整脚） 高さ：1310.3 mm （上げられた台座 - ホイール） 高さ：1342.3 mm （上げられた台座 - 完全に展開された高さ調整脚） 幅：693.5 mm 奥行き：826.5 mm(ワークシェルフ有り) 奥行き：620.2 mm（ワークシェルフ無し） 重量：205kg未満
電源	100～240 V（海外対応）、50～60 Hz	100～240 V（海外対応）、50～60 Hz	100～240 V（海外対応）、50～60 Hz
環境保証	2013 EuP ENERGY STAR認証 EPEATゴールド	2013 EuP ENERGY STAR認証 EPEATゴールド	2013 EuP ENERGY STAR認証 EPEATゴールド
出力ファイル形式 (スキャナーおよびソフトウェア)	BMP JPEG シングルページTIFF Microsoft Excel Microsoft Word マルチページTIFF PDF サーチャブルPDF PNG RTF LZW	BMP JPEG シングルページTIFF Microsoft Excel Microsoft Word マルチページTIFF PDF サーチャブルPDF PNG RTF LZW	BMP JPEG シングルページTIFF Microsoft Excel Microsoft Word マルチページTIFF PDF サーチャブルPDF PNG RTF LZW
画像出力解像度オプション（DPI）	50、75、100、150、200、240、250、260、300、400、500、600	50、75、100、150、200、240、250、260、300、400、500、600	50、75、100、150、200、240、250、260、300、400、500、600
オペレーティングシステムの互換性	WINDOWS 11 (64ビット) (Proバージョン) WINDOWS 10 (32および64ビット) WINDOWS Server 2016 X64 Editions WINDOWS Server 2019 X64 Editions WINDOWS Server 2022 X64 Editions	WINDOWS 11 (64ビット) (Proバージョン) WINDOWS 10 (32および64ビット) WINDOWS Server 2016 X64 Editions WINDOWS Server 2019 X64 Editions WINDOWS Server 2022 X64 Editions	WINDOWS 11 (64ビット) (Proバージョン) WINDOWS 10 (32および64ビット) WINDOWS Server 2016 X64 Editions WINDOWS Server 2019 X64 Editions WINDOWS Server 2022 X64 Editions
動作時の温度および湿度	動作温度：15～35° C 動作湿度：15%～80% RH	動作温度：15～35° C 動作湿度：15%～80% RH	動作温度：15～35° C 動作湿度：15%～80% RH
消費電力	稼働時：240W未満 スリープモード：23W未満 スタンバイ/電源オフ時：0.3W未満	稼働時：240W未満 スリープモード：23W未満 スタンバイ/電源オフ時：0.3W未満	稼働時：240W未満 スリープモード：23W未満 スタンバイ/電源オフ時：0.3W未満
1日の推奨処理枚数	制限なし	制限なし	制限なし
推奨PC構成	i7、8GB RAM、512 GB SSD	i7、8GB RAM、512 GB SSD	i7、8GB RAM、512 GB SSD
スキャンテクノロジー	デュアル白色LED照明CCD（CMOS） グレースケール出力階調は256レベル（8 ビット）、カラー出力階調は24ビット（8 x 3）、カラー読み取り階調は48ビット（16 x 3）	デュアル白色LED照明CCD（CMOS） グレースケール出力階調は256レベル（8 ビット）、カラー出力階調は24ビット（8 x 3）、カラー読み取り階調は48ビット（16 x 3）	デュアル白色LED照明CCD（CMOS） グレースケール出力階調は256レベル（8 ビット）、カラー出力階調は24ビット（8 x 3）、カラー読み取り階調は48ビット（16 x 3）
標準ソフトウェアおよびドライバ	ISISドライバ LINUX (TWAINおよびSANE) ドライバ TWAINドライバ WIAドライバ Kofax認定	ISISドライバ LINUX (TWAINおよびSANE) ドライバ TWAINドライバ WIAドライバ Kofax認定	ISISドライバ LINUX (TWAINおよびSANE) ドライバ TWAINドライバ WIAドライバ Kofax認定
高度	2000 m未満	2000 m未満	2000 m未満

Confidential

付録 B 保証 - 米国、カナダ限定

***KODAK* スキャナーをご購入いただきありがとうございます。*KODAK* スキャナーは、お客様に最高レベルのパフォーマンスと信頼性をお届けします。すべての *KODAK* スキャナーは次の限定保証の対象となります。**

KODAK スキャナーの限定保証

Kodak Alaris 社は、Kodak Alaris または Kodak Alaris 認定小売チャネルを通じて販売された、*KODAK* スキャナー（部品および消耗品を除く）に次の限定保証を適用します。

Kodak Alaris 社は、販売時から製品に適用される限定保証期間内において、*KODAK* スキャナーの材料および製造上の欠陥がなく、特定の *KODAK* スキャナーに該当するパフォーマンス仕様に準拠することを保証します。

すべての *KODAK* スキャナーには以下の保証除外規定が適用されます。欠陥がある、または製品仕様に準拠していない *KODAK* スキャナーは、Kodak Alaris の判断により、修理、新製品または代替製品と交換いたします。

購入者は、以下にアクセスして、購入した ***KODAK* スキャナーに適用される限定保証期間を決定できます。**

KodakAlaris.com/go/IMsuppor

保証によるサービスを受けるには、購入を証明する書類が必要となります。

保証の除外

Kodak Alaris の限定保証は、災害、事故、不可抗力、輸送などの原因によって、購入後に *KODAK* スキャナーが被った物理的損害には適用されません。これには、次の場合が含まれます。（a）保証サービスのために Kodak Alaris にスキャナーを送り返す際に、その時点で有効な Kodak Alaris の梱包材と輸送のガイドラインに従ってスキャナーを適切に梱包および輸送しなかったために損害が生じた（発送前に梱包材を交換しなかった、または使用前に梱包材を取り外さなかった場合を含む）。（b）ユーザーのオペレーティングシステムまたはアプリケーションソフトウェアのインストール、システム統合、プログラミング、または再インストール、システムエンジニアリング、移動、データの再構築、製品またはコンポーネントの取り外し（コネクタ、カバー、ガラス、ピン、トレイ、シールの破損を含む）によって損害が生じた。（c）Kodak Alaris、または Kodak Alaris の正規修理店以外によって保守、変更、または修理が行われた、または、製品の改造、Kodak Alaris 製品の模造コンポーネントや Kodak Alaris 社製以外のコンポーネント、アセンブリ、アクセサリ、モジュールの使用によって損害が生じた。（d）誤用、妥当な範囲外の製品の扱いやメンテナンス、手荒な扱い、使用者の誤動作、適切な監督やメンテナンスを行わなかった（Kodak Alaris の承認しないクリーニング用品やその他のアクセサリの使用や、推奨されている手順や仕様に従わない使用を含む）ことによって損害が生じた。（e）環境的な条件（過度な高温や、その他の不適切な物理的稼働環境）、腐食、しみ、製品外での電気配線、静電気放電（ESD）保護を行わなかったことによって損害が生じた。（f）製品に対して提供されているファームウェアのアップデートやリリースをインストールしなかったために損害が生じた。（g）その他の随時追加される除外項目（オンライン KodakAlaris.com/go/IMsupport 確認可能）。

Kodak Alaris では、米国およびカナダ以外の国で購入された製品に対しては、限定保証を提供していません。米国外の流通経路から製品を購入した場合は、購入元によって保証が行われます（該当する場合）。

Kodak Alaris では、サードパーティの製品、コンピューターシステム、またはその他の電子機器の一部として購入された製品に対しては、限定保証を行いません。

これらの製品に対する保証は、**OEM（Original E**quipment Manufacturer）**により、**このメーカーの製品やシステムの一部として提供されます。

製品を交換した場合の限定保証の期間は、欠陥のあった元の製品に適用される期間か、

30 日のうち、長い方となります。

設置に関する警告と免責事項

Kodak Alaris では、原因のいかんを問わず、この製品の販売、設置、使用、修理、または機能障害に起因する結果的または偶発的な損害について、いかなる責任も負いません。これらの Kodak Alaris が保証責任をもたない損害には、収入や利益の損失、データの損失、ダウンタイムの費用、製品の使用の損失、当製品を置換する製品のコスト、設備やサービス、およびお客様によるこれらの損害に対する要求を含み、またこれに限られたものではありません。

この付録の条項と、限定保証の条項間に矛盾がある場合は、限定責任の条項が優先されます。

限定保証によるサービスを受けるには

KODAK スキャナーには、開梱、セットアップ、設置、操作に関する情報が付属しています。『ユーザーズガイド』を注意して読むことで、製品の適切な設置、使用、メンテナンスに関し、ほとんどの技術的情報が得られます。ただし、『ユーザーズガイド』を参照してもまだ疑問がおありの場合は、当社の Web サイト KodakAlaris.com/go/IMsupport にアクセスしていただくか、以下までお問い合わせください。Kodak Alaris サポートセンター：(800) 822-1414

サポートセンターは、休日を除く月曜日から金曜日の午前 8 時から午後 5 時まで営業しています。

お問い合わせになる前に、該当する購入者は *KODAK* スキャナーのモデル番号、パーツ番号、シリアル番号、購入を証明できるものをご用意ください。また、問題について説明できるように、情報を整理しておいてください。

サポートセンターの担当者は、ユーザーが問題を解決できるように、電話でサポートします。場合によっては、いくつかの簡単な自己診断テストを実行して、結果のステータスやエラーコードのメッセージを伝えるように求められることがあります。これは、問題が *KODAK* スキャナーにあるか、または別のコンポーネントにあるのか、問題を電話で解決できるかについて、サポートセンターでの判断に役立てるためです。サポートセンターが、ハードウェア障害が限定保証や購入されたサービス保守契約の範囲であると判断する場合は、必要に応じて RMA 番号（返品認証番号）が発行されます。その後、サービスのリクエストが発行され、修理または交換が行われます。

梱包と輸送のガイドライン

購入者は、保証が適用される製品を返送する場合、製品が輸送中に損傷しないように、十分な梱包を行ってください。梱包が十分でなかった場合、*KODAK* スキャナーの保証が無効になります。製品の保管や輸送のために、元の箱や梱包を保管しておくことをお勧めします。Kodak Alaris では、輸送中の損傷に関連する問題については責任を負いません。購入者は *KODAK* スキャナーのみを返品してください。発送の前に、すべての追加の品目（アダプタ、ケーブル、ソフトウェア、マニュアルなど）を取り外して、保管しておいてください。Kodak Alaris はこれらの品目について責任を負わず、修理または交換した *KODAK* スキャナーと一緒に返送はいたしません。すべての製品は、元の梱包、または返品するユニットに対して承認された梱包を使用して、Kodak Alaris に返送してください。購入者は *KODAK* スキャナーを発送する前に、梱包材を取り付けてください。元の梱包がない場合は、Kodak Alaris のサポートセンター（電話：800-822-1414）に、新しい梱包用品のパーツ番号と注文方法を問い合わせてください。

返送の手順

本限定保証の対象となる *KODAK* スキャナーのサービス利用資格を持つ購入者は、(800) 822-1414 に連絡して返品認証番号（RMA）を取得し、RMA の発行から 10 営業日以内に Kodak Alaris の現行の梱包と輸送のガイドラインに従い、*KODAK* スキャナーをエンドユーザー自身の送料および保険料負担で RMA が指定する宛先まで発送するものとします。

Kodak Alaris が交換した製品や部品は、Kodak Alaris の所有となります。

Confidential

お客様の責任

サービスの要求を行うことによって、限定保証の対象となる購入者は、限定保証の条件（免責事項と限定保証の条項を含む）に合意したものとみなされます。サービスを受ける前に、ユーザーは損傷を受ける、または損失される恐れのあるデータやファイルをすべてバックアップしてください。Kodak Alaris では、失われた、または損傷を受けたデータやファイルに対し、何ら責任を負いません。

保証サービスの説明

Kodak Alaris は限定保証をサポートし、*KODAK* スキャナーの使用および取り扱い（サービス方法）を支援する様々なサービスプログラムを提供しています。*KODAK* スキャナーは重要な投資です。*KODAK* スキャナーは、競争力を維持するために必要な生産性を発揮します。たとえ一時的であっても、この生産性を失うと、ビジネスに支障が生じる場合があります。ダウンタイムは修理費だけでなく、時間を失ったという意味でも、非常に高額なものになりえます。これらの問題を避けるために、Kodak Alaris では限定保証の遂行にあたり、製品タイプによって以下に挙げるサービス方法のいずれかを使用します。

保証、サービスプログラム情報、および制限など、製品に関する情報は KodakAlaris.com/go/IMsupport にアクセスすることによりオンラインで入手できます。

サービスの遅延を回避するために、Kodak Alaris はエンドユーザーに対し、KodakAlaris.com/go/IMsupport でオンラインの限定保証登録プロセスを完了することを推奨します。

登録プロセスを完了するには、製品モデルと製品シリアル番号が必要です。

Kodak Alaris は、*KODAK* スキャナーの使用と取り扱いを支援するために購入できるサービスプログラムも提供しています。

Kodak Alaris では、限定保証によってお客様に、品質、パフォーマンス、信頼性、そしてサービスをお届けするべく努力しています。

当社は、製造終了後、最低 5 年間はスペア部品と消耗品を供給いたします。

AUR（アドバンスユニット交換）

AUR は、業界で提供されているサービスの中で、もっとも簡単で、包括的なものといえるでしょう。万が一製品に欠陥があった場合、特定の *KODAK* スキャナーの該当する購入者に対し、Kodak Alaris は 2 営業日以内に製品を交換します。

AUR では特定の障害または破損のある *KODAK* スキャナーについて、事前に交換を行います。製品が製造元の仕様に適合して動作していないと Kodak Alaris が判断した場合、Kodak Alaris は宅配サービスの利用可能性次第では翌日に AUR を提供します。交換製品は最新の製品の最小仕様で動作しますが、全く同じメーカーおよび型式でない場合があります。交換製品は再生機器である場合があります。AUR サポートが必要な場合、Kodak Alaris は交換製品をお客様の所在地へ輸送費前払いにて発送します。交換製品の配達時に、お客様は限定保証で保証されないすべてのオプションおよびアクセサリ（電源コード、ドキュメンテーション等を含む）を取り外して、故障した機器全体を輸送箱に入れ、同梱のラベルを貼り、AUR を受け取ってから 5 営業日以内に運送業者に集荷を依頼する必要があります。Kodak Alaris は、返却輸送料を支払います。返却していただいた機器の部品が紛失している場合、お客様は実勢価格で部品の料金を請求される場合があります。お客様が不具合のある機器を 10 営業日以内に返却されなかった場合、お客様は機器の定価で請求され、その料金について責任を負うことになります。

デポサービス

KODAK スキャナーが AUR またはオンサイトサービスの対象外の場合、該当する購入者はデポ修理サービスを利用できます。対象となる購入者は、最寄りの正規デポ修理センターに製品を送るように指示されます。修理センターまでの輸送の費用は購入者が負担し、輸送中の破損などについては購入者が責任を持つものとします。製品を修理センターに返送する前に、限定保

証で対象外のすべてのオプションやアクセサリ（電源コードやマニュアルを含む）を取り外してください。すべての製品は、元の梱包、または推奨されている梱包箱を使用して、Kodak Alaris に返送してください。*KODAK* スキャナーには、発送前に梱包材を取り付けてください。元の梱包がない場合は、Kodak Alaris のサポートセンター（電話：800-822-1414）に、新しい梱包資材の注文方法を問い合わせてください。*KODAK* スキャナーのサービス利用資格を持つ購入者は、(800) 822-1414 に連絡して返品認証番号（「RMA」）を取得し、RMA の発行から 10 営業日以内に Kodak の現行の梱包と輸送のガイドラインに従い、*KODAK* スキャナーをエンドユーザー自身の送料および保険料負担で RMA が指定する宛先まで発送するものとします。故障した製品が適切に受理されるように、RMA（Return Material Authorization）番号を箱の外側にはっきりと書いてください。

製品の受理後、修理センターは製品を 10 営業日以内に修理します。修理された製品は、2 日以内に配送されるエクスプレス便で購入者に返送されます。購入者はこの送料を負担する必要はありません。

重要な制限

利用資格：アドバンス交換プログラムおよびデポ修理サービスは、Kodak Alaris 認定小売店から購入された製品について、米国の 50 州にお住まいの該当する購入者にご利用いただけます。*KODAK* スキャナーは、購入者が Kodak Alaris のその時点で有効な梱包および発送のガイドラインに従って欠陥のある製品を返送しなかった場合など、製品が Kodak Alaris のその時点で有効な保証除外規定を満たさない場合、保証内のいかなるサービスも受けられません。購入者は、*KODAK* スキャナーを個人またはビジネス目的で購入し、再販目的ではない場合に「該当する購入者」または「エンドユーザー」とみなされます。

消耗品：消耗品は、通常の使用において消費され、必要に応じてエンドユーザーによって交換される品目です。消耗品や備品、および、『ユーザーズガイド』でユーザーの責任であると述べられているアイテムは、限定保証の対象とはなりません。

Kodak Alaris が交換した製品や部品は、Kodak Alaris の所有となります。

Confidential

Kodak Alaris へのお問い合わせ

***KODAK* スキャナーに関する情報：**

Web サイト： **https**://www.kodakalaris.com/scanners

米国の技術サポートの電話連絡先：

電話によるテクニカルサポートは、休日を除く**月曜**日から金**曜**日まで、**午**前 **5 時から午**後 **5 時まで営**業しています。

電話：**(800) 822-1414**

24 時間ご利用可能な**技術**文**書**と **FA**Q：

Web サイト： **https**://www.kodakalaris.com/support

サービスプログラムに関する情報

Web サイト：KodakAlaris.com

電話：**(800) 822-1414**

使用されているすべての商標および商品名は、各権利保持者の所有物です。

Kodak の商標およびトレードドレスはイーストマンコダック社の許可のもとに使用しています。

© 2025 Kodak Alaris LLC
TM/MC/MR：Alaris
4/25

Confidential